

インクジェット複合機

LX-10000F / LX-7000F

システム管理者ガイド

目次

商標	5
----------	---

マニュアルの見方	6
----------------	---

マークの意味	6
マニュアル記載の前提	6
OS表記	6
マニュアルのご注意	7

はじめに	8
------------	---

マニュアルの構成	8
マニュアルで使用する用語	9
用語	9
ネットワーク環境の例	10
プリンター接続のタイプ	13

プリンターの設定と管理	15
-------------------	----

プリンター設定、管理の流れ	15
プリンターのネットワーク接続	16
印刷機能設定	16
サーバー、共有フォルダー設定	16
アドレス帳設定	16
スキャン設定	17
ファクス設定	17
セキュリティ設定	17
運用・管理	17

ネットワーク接続編	18
-----------------	----

ネットワーク接続の前に	18
接続設定情報の収集	18
IPアドレスの割り当て	19
DNSサーバー、プロキシサーバーについて	19
操作パネルでネットワークに接続する	20
IPアドレスを設定する	20
LANに接続する	25

機能設定編	30
-------------	----

設定に使うソフトウェア	30
Web Config（デバイスのウェブページ）	30
印刷機能を使う	31
サーバークライアント型接続での印刷設定	31
ピアツーピア型接続での印刷設定	35
印刷の基本設定	37
サーバーや共有フォルダーを設定する	41
サーバーと各機能の関連	41
メールサーバーを設定する	42
共有フォルダー設定	46
アドレス帳を使う	67
宛先設定の概要	67
アドレス帳の設定	67
アドレス帳のバックアップとインポート	72
LDAPサーバーと利用者を連携する	72
スキャン機能を使う	77
コンピューターからスキャンするには	77
操作パネルを使ってスキャンするには	78
Document Capture Pro Serverを使う	79
システムの詳細を設定する	80
操作パネルの動作を設定する	80
無操作時の省電力設定をする	81
音の設定をする	81
タイムサーバーと日付/時刻を同期する	82
スキャン、コピーの標準値を設定する（ユーザー デフォルト設定）	82
Epson Connectサービスを使う	83
Epson Open Platformを利用する	83
Epson Open Platformの概要	83
Epson Open Platformを設定する	84
認証装置を設定する	84

本体のセキュリティ編	85
------------------	----

本体のセキュリティ機能の紹介	85
管理者パスワードの設定	86
操作パネルから管理者パスワードを設定する	86
Web Configから管理者パスワードを設定する	87
パネル操作を制限する	88
本体設定メニューの管理者ロック項目	88
その他の管理者ロック項目	93
表示や機能を個別に制御する	93

利用できる機能を制限する	94
利用制限を設定する	95
外部インターフェイスを無効にする	96
保存データの処理設定	97
ハードディスクの逐次消去を設定する	98
内蔵ハードディスクをフォーマットする	98

運用・管理編 99

管理者としてプリンターにログオンする	99
操作パネルからプリンターにログオンする	99
Web Configで管理者としてログオンする	99
プリンターの情報を確認する	100
操作パネルから情報を確認する	100
Web Configから情報を確認する	100
イベント発生時にメール通知を受け取る	101
メール通知の概要	101
メール通知を設定する	101
ファームウェアのアップデート	103
操作パネルを使ってプリンターのファームウェアをアップデートする	103
Web Configでファームウェアをアップデートする	104
プリンターをインターネットに接続しないでファームウェアをアップデートする	104
お気に入りに登録する	105
設定のバックアップ	105
設定をエクスポートする	106
設定をインポートする	106

トラブルを解決する 107

トラブルを解決するための糸口	107
プリンターの状態を確認する	107
エラーメッセージを確認する	107
ネットワーク接続診断レポートを印刷する	114
通信状態を確認する	119
接続テストをする	124
設定の初期化	126
トラブル事例	127
Web Configにアクセスできない	127
操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない	129

付録 131

ネットワーク関連のソフトウェア	131
Epson Device Admin	131
EpsonNet Config	131
EpsonNet Print (Windowsのみ)	132
EpsonNet SetupManager	133
ツールを使ったアドレス帳のエクスポートや一括登録	133
操作パネルを使って無線LANに接続する (WPS)	135
プッシュボタンで自動設定する (AOSS/WPS)	135
PINコードで設定する (WPS)	136
Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続を使う	137
操作パネルから Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続を有効にする	137
Wi-Fi Direct (シンプルAP) の設定を変更する	137
接続方法を変更する	138
有線LANから無線LANへの接続変更	138
無線LANから有線LANへの接続変更	139
プリンターが使用するポート	140
設定メニューの説明	142
本体設定メニューの説明	142
印刷ページ数の確認メニューの説明	154
消耗品情報メニューの説明	154
プリンターのお手入れメニューの説明	154
言語選択/Languageメニューの説明	155
情報確認/印刷メニューの説明	155
アドレス帳管理メニューの説明	155
ユーザー設定メニューの説明	156
認証システムメニューの説明	156

ファクス設定編 157

ファクスを使う前に	158
電話回線に接続する	158
使用できる電話回線	158
プリンターを電話回線に接続する	159
電話機とプリンターを接続する	160
ファクスを使えるようにする (ファクス設定ウィザード)	162
項目を選んでファクスの機能を設定する	163
受信モードを設定する	163
外付け電話機接続時の設定をする	166
受信ファクスの印刷設定をする	167
受信ファクスの保存と転送を設定する	168
迷惑ファクスの受信拒否を設定する	175
コンピューターからのファクス送受信を設定する	176

ファクス設定メニューの説明	177
ユーザー設定メニュー	178
基本設定メニュー	178
送信設定メニュー	180
受信設定メニュー	181
レポート設定メニュー	186
セキュリティ設定メニュー	187
ファクス診断	187
ファクス設定ウィザード	188
困ったときは	188
ファクス送受信のトラブル	188
ファクス時のその他のトラブル	194

エンタープライズセキュリティ設定 編 195

セキュリティ設定と防止できる脅威	196
セキュリティ機能の設定	197
プリンターとのSSL/TLS通信	197
使用できる電子証明書	197
CA署名証明書の取得とインポート	198
CA署名証明書を削除する	202
相手サーバー検証用CA証明書を設定する	202
利用するプロトコルを制御する	206
プロトコルを制御する	206
有効・無効が設定可能なプロトコル	206
プロトコルの設定項目	207
IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する ...	210
IPsec/IPフィルタリングの概要	210
基本ポリシーを設定する	211
個別ポリシーを設定する	215
IPsec/IPフィルタリングの設定例	222
IPsec/IPフィルタリングで使用する証明書を 設定する	223
IEEE802.1X環境にプリンターを接続する ...	224
IEEE802.1Xを設定する	224
IEEE802.1Xで使用する証明書を設定する	226
プリンターのIEEE802.1X状態表示	227
トラブルを解決する	228
セキュリティ設定の初期化	228
セキュア環境への接続時のトラブル	229
電子証明書使用時のトラブル	231

商標

- Epson Scan 2 software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- EPSONおよびEXCEED YOUR VISIONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Chrome、Chrome OS、AndroidはGoogle Inc.の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac OS、OS X、Bonjourは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

マニュアルの見方

マークの意味

⚠ 注意 この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

! 重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、本製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足情報や参考情報を記載しています。

関連情報

➡ 関連したページにジャンプします。

マニュアル記載の前提

- プリンタードライバーとEpson Scan 2 (スキャナードライバー) の画面は、Windows 10またはOS X El Capitanでの表示画面を使用しています。表示内容は機種や状況によって異なります。
- イラストは一例です。機種によって多少異なりますが操作方法は同じです。
- 画面の設定項目は機種や設定状況によって異なります。
- QRコードは専用アプリで読み取れます。

OS表記

Windows

本書では、以下のOS (オペレーティングシステム) をそれぞれ「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Vista」「Windows XP」「Windows Server 2019」「Windows Server 2016 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」「Windows Server 2003 R2」「Windows Server 2003」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 10 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system日本語版

- Microsoft® Windows® XP operating system日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2019 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system日本語版

Mac OS

本書では、「macOS Mojave」「macOS High Sierra」「macOS Sierra」「OS X El Capitan」「OS X Yosemite」「OS X Mavericks」「OS X Mountain Lion」「Mac OS X v10.7.x」「Mac OS X v10.6.8」の総称として「Mac OS」を使用しています。

マニュアルのご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

© 2019 Seiko Epson Corporation

はじめに

本書はシステム管理者向けに、複合機を使用するための設定や運用、管理方法を記載した機種共通のマニュアルです。共通マニュアルのため、機種によっては使用できない機能や表示されないメニューがあります。差分の情報は設定項目やメニューなどの近くで説明します。それぞれの機能を使用する方法は『ユーザズガイド』をご覧ください。

マニュアルの構成

プリンターの設定と管理

プリンターのネットワーク設定～管理・運用までの流れを簡単な図で表します。

接続編

デバイスをネットワークに接続する方法を説明しています。プリンターが使用するポートやDNS、プロキシサーバーの設定も説明しています。

機能設定編

印刷、スキャン、ファクスなどプリンターの各機能を使用するための設定を説明しています。

本体のセキュリティ編

管理者パスワードの設定や利用者制限などプリンター本体に設定する、基本的なセキュリティのことを説明しています。

運用・管理編

プリンターの情報確認や、イベント発生時の通知設定など、使用開始後の運用、管理を説明しています。

トラブルを解決する

設定の初期化とネットワークのトラブルシューティングを説明しています。

ファクス設定編

プリンターを電話回線に接続し、送受信や転送の設定をして、ファクスを使用できるようにします。

エンタープライズセキュリティ設定編

SSL/TLS通信やIPsec/IPフィルタリングなど、ネットワークで機能する高度なセキュリティ機能を説明しています。

マニュアルで使用する用語

用語

本書では以下の用語を使用しています。

システム管理者

企業や組織などでデバイスやネットワークに関して設置や設定をする権限を持つ人を指しています。小規模な組織ではネットワーク管理者、デバイス管理者を兼ねているケースがあります。大規模な組織では、部や課といった組織のグループ内のネットワークや機器に関しての権限を持つ人を指していて、インターネットなど組織外への通信設定の権限はネットワーク管理者が担います。

ネットワーク管理者

企業や組織などでネットワーク通信の制御を担当している人を指しています。ルーターやプロキシサーバー、DNSサーバー、メールサーバーなど、インターネットやネットワーク間の通信を制御している人です。

ユーザー（利用者）

プリンターやスキャナーなどのデバイスを使用するエンドユーザーを指しています。

サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）

プリンターをWindowsサーバーにネットワークまたはUSBケーブルなどで接続し、サーバーで設定したプリントキューを共有する接続を指しています。プリンターとコンピュータの通信はサーバーを経由し、プリンターの制御をサーバーで行います。

ピアツーピア型接続（直接印刷）

プリンターとコンピュータがハブやアクセスポイントなどでネットワークに接続されていて、コンピュータから直接プリンターに印刷を実行する接続を指しています。

Web Config（デバイスのウェブページ）

デバイスに内蔵しているウェブサーバーです。Web Config（ウェブ コンフィグ）と表記しています。ネットワークからブラウザを使ってデバイスの情報確認や設定ができます。

プリントキュー

Windowsの場合、[デバイスとプリンター]にあるプリンターのポートごとに作られるアイコンを指しています。1台のプリンターでもStandard TCP/IPやWSDなどネットワークに接続しているポートにそれぞれのアイコンが作成されます。

ツール

Epson Device Admin（エプソン デバイス アドミン）やEpsonNet Config（エプソンネット コンフィグ）、EpsonNet SetupManager（エプソンネット セットアップマネージャー）など、デバイスの設定や管理を行うソフトウェアの総称として使用しています。

ブッシュスキャン

デバイスのパネル操作を起点としたスキャンの総称です。スキャン結果をフォルダーに保存、メール添付、クラウドサービスへ保存する機能を指します。

ASCII（アスキー、American Standard Code for Information Interchange）

標準的な文字コードの一つです。アルファベット（a-z、A-Z）やアラビア数字（0-9）、記号、空白文字、制御文字などを収録した128文字が規定されています。本書で「ASCII文字」と表記している場合、下表にある0x20～0x7E（16進数）を指し、制御文字は含みません。

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F
20	SP*	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

* 空白文字（スペース）です。

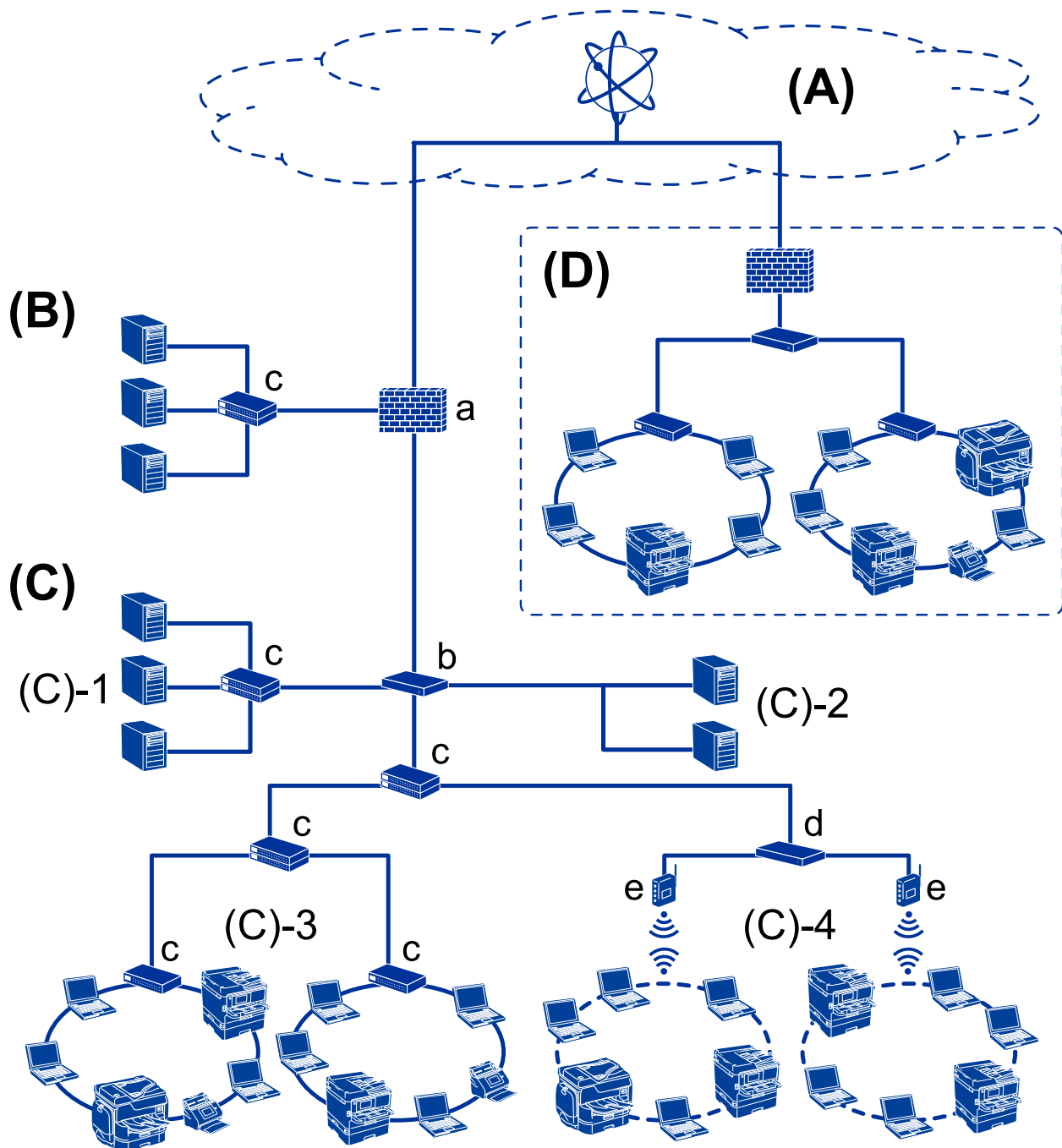
Unicode (UTF-8)

国際的な文字コード規格です。世界中の主な言語で主に使われる文字をカバーしています。「UTF-8」とある場合、UTF-8形式で符号化した文字を指します。

ネットワーク環境の例

製品を接続するネットワーク環境の例です。お使いの製品で利用できない機能やサービスが含まれている場合があります。

企業向けネットワークの例（中～大規模）



(A) : インターネット

プリンターがインターネットに接続できると、以下のようなサービスを利用できます。

- Epson Connect
メールプリント、リモートプリントなど
- クラウドサービス
Googleクラウドプリント、Evernoteなど
- エプソンのサイト
ドライバーやアプリケーションソフトのダウンロード、ファームウェアのアップデートなど

はじめに

(B) : DMZ (非武装地帯)

内部ネットワーク (イントラネット) と外部ネットワーク (インターネット) の中間にあって、どちらからもファイアウォールで隔離されたセグメントです。一般的に外部へ公開するサーバーを配置します。外部からの脅威を内部ネットワークへ拡散することを防止できます。また、内部から公開サーバーへの不正アクセスも防止できます。

- DNSサーバー
- プロキシサーバー
- メール転送サーバー
- ウェブサーバー
- FTPサーバー

(C) : トラストゾーン (イントラネット)

ファイアウォールやUTM (総合脅威管理) で守られた信頼性のあるネットワークです。

- (C) -1 : イントラネット内サーバー
組織内のコンピューターに対してそれぞれのサービスを提供します。
 - DNSサーバー
 - DHCPサーバー
 - メールサーバー
 - Active Directoryサーバー / LDAPサーバー
 - ファイルサーバー
- (C) -2 : アプリケーションサーバー
組織内のコンピューターに以下のようなサーバーアプリケーションの機能を提供します。
 - Epson Print Admin
 - Document Capture Pro Server
- (C) -3 : 有線LAN (Ethernet) 、 (C) -4 : 無線LAN (Wi-Fi)
プリンターやスキャナー、コンピューターなどをLANケーブルや無線でLANに接続します。

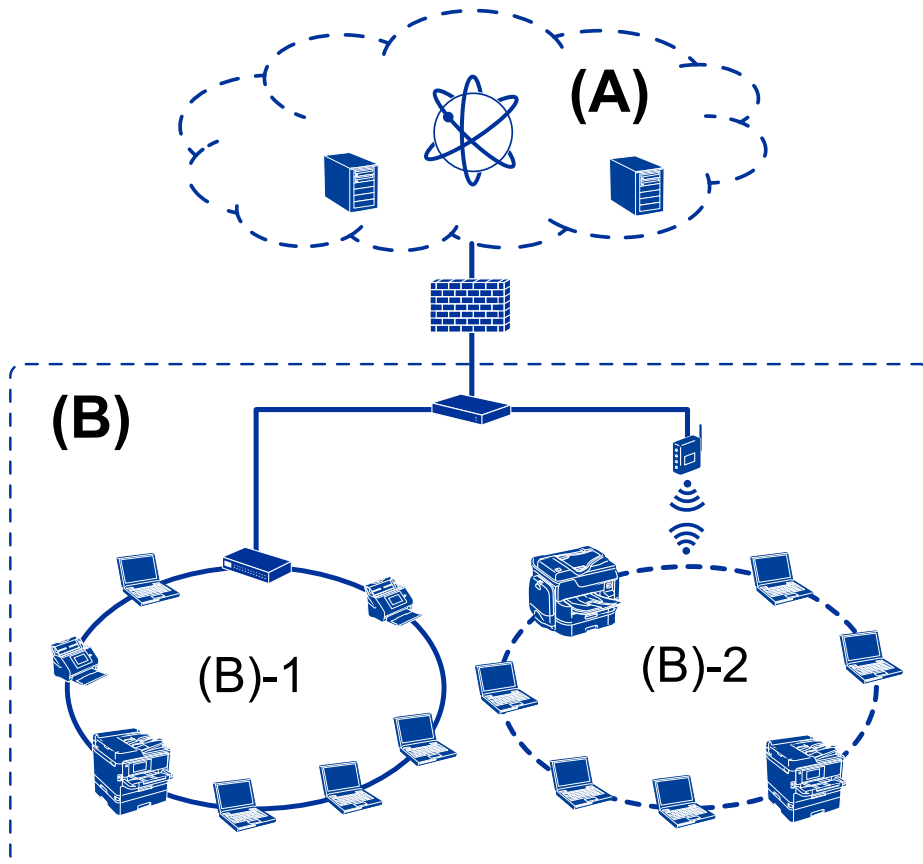
(D) : 他の拠点

他の拠点のネットワークです。インターネットや専用線などで拠点同士が接続されます。

ネットワーク装置

- a : ファイアウォール、UTM
- b : ルーター
- c : LANスイッチ
- d : 無線LANコントローラー
- e : アクセスポイント

企業向けネットワークの例（小規模）



(A) : インターネット

- Epson Connect
- クラウドサービス
- メールサーバー、FTPサーバー

(B) : トラストゾーン（イントラネット）

- (B) -1 : 有線LAN (Ethernet)
- (B) -2 : 無線LAN (Wi-Fi)

プリンター接続のタイプ

プリンターのネットワーク接続は主に以下の2つのタイプがあります。

- サーバクライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）
- ピアツーピア型接続（直接印刷）

サーバークライアント型接続設定

サーバーになるコンピュータがプリンターを共有する接続です。プリンターにサーバー経由以外の通信を遮断すると、セキュリティを強化できます。

USBで接続するとネットワーク機能がないプリンターも共有できます。

接続方法：

プリンターをLANスイッチやアクセスポイントを介して直接ネットワークに接続します。

プリンターとサーバーをUSBケーブルで直接接続することもできます。

プリンタードライバー：

Windowsサーバー上に、クライアントコンピュータのOSにおけるシステムの種類に対応したドライバーをインストールします。

Windowsサーバーにアクセスしてプリンターをリンクすると、クライアントコンピュータにインストールされて使用できるようになります。

特徴：

- プリンターやプリンタードライバーを一括管理できます。
- 全ての印刷データはサーバーを経由するため、サーバーの能力によっては印刷開始までに時間がかかることがあります。
- Windowsサーバーが停止していると印刷できません。

関連情報

➡ [「用語」 9ページ](#)

ピアツーピア型接続設定

プリンターとネットワーク上のコンピュータが直接通信する接続です。ネットワーク対応プリンターのみ接続できます。

接続方法：

プリンターをハブやアクセスポイントを介して直接ネットワークに接続します。

プリンタードライバー：

プリンタードライバーをコンピュータにインストールします。

EpsonNet SetupManagerを使うと、プリンター設定を含んだドライバーのパッケージを配布できます。

特徴：

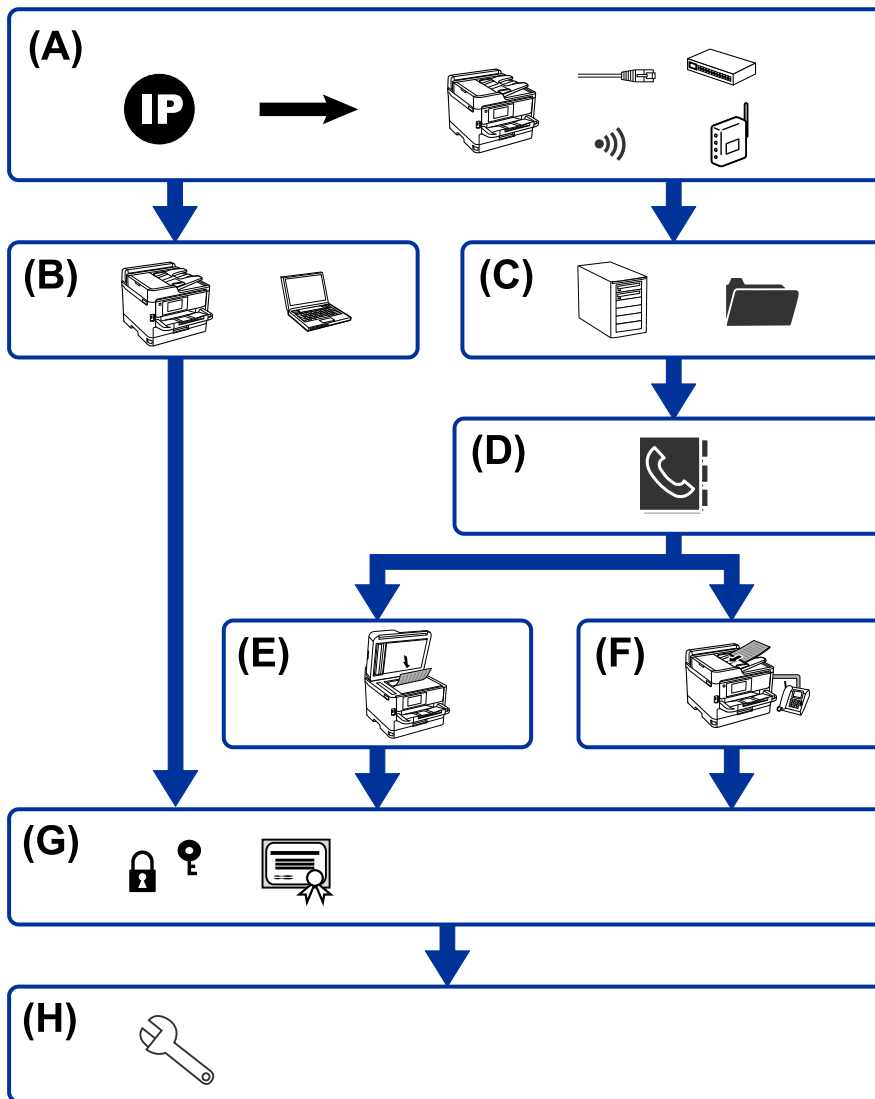
- プリンターに直接印刷データを送るので、印刷開始までに時間がかかりません。
- プリンターが稼働していれば印刷できます。

関連情報

➡ [「用語」 9ページ](#)

プリンターの設定と管理

プリンター設定、管理の流れ



A	プリンターのネットワーク接続	B	印刷機能設定
C	サーバー、共有フォルダー設定	D	アドレス帳設定
E	スキャン設定	F	ファクス設定
G	セキュリティー設定	H	運用・管理

プリンターのネットワーク接続

プリンターにIPアドレスを設定して、ネットワークに接続します。

- IPアドレス設定
- ネットワークへの接続（LANケーブル接続、Wi-Fi設定）

関連情報

➡ [「ネットワーク接続編」18ページ](#)

印刷機能設定

印刷機能を使うための設定をします。

- サーバークライアント型接続での印刷設定
- ピアツーピア型接続での印刷設定

関連情報

➡ [「印刷機能を使う」31ページ](#)

サーバー、共有フォルダー設定

メール転送やメール通知のためのメールサーバー設定、共有フォルダーやFTP転送のためのFTPサーバーや共有フォルダーの設定をします。

また、アドレス帳でLDAPサーバーと連携する場合は、LDAPサーバーを設定します。

- メールサーバーの設定
- ファイルサーバー設定（共有フォルダー設置）
- FTPサーバーの設定
- LDAPサーバーの設定

関連情報

➡ [「サーバーや共有フォルダーを設定する」41ページ](#)

アドレス帳設定

スキャンやファクスの宛先設定をします。

- インポート
- アドレスの登録

関連情報

➡ [「アドレス帳を使う」67ページ](#)

スキャン設定

スキャン機能を使うための設定をします。

- ドライバー設定
- ネットワーク設定

関連情報

➡ [「スキャン機能を使う」 77ページ](#)

ファクス設定

ファクス機能を使うための設定をします。

- 電話回線への接続
- ファクス詳細設定

関連情報

➡ [「ファクス設定編」 157ページ](#)

セキュリティ設定

- 管理者パスワード設定
- 利用者制限設定
- プロトコル制御設定
- 高度なセキュリティ設定

関連情報

➡ [「本体のセキュリティ編」 85ページ](#)

➡ [「エンタープライズセキュリティ設定編」 195ページ](#)

運用・管理

- デバイスの状況確認
- イベント発生への対応
- デバイス設定のバックアップ

関連情報

➡ [「運用・管理編」 99ページ](#)

ネットワーク接続編

この章では、プリンターをネットワークに接続するための手順を説明しています。

ネットワーク接続の前に

ネットワーク接続するには、接続方法と接続のための設定情報を事前に確認してください。

接続設定情報の収集

接続に必要な設定情報を用意します。事前に以下の情報を確認してください。

区分	項目	備考
デバイス接続方法	- 有線LAN - 無線LAN (Wi-Fi)	プリンターをネットワークに接続する方法を決定します。 有線LANは、LANスイッチ（ハブ）に接続します。 無線LANはアクセスポイントのSSIDに接続します。
LAN接続情報	- IPアドレス - サブネットマスク - デフォルトゲートウェイ	プリンターに割り当てるIPアドレスを決定します。 静的にIPアドレスを割り当てる場合は、全ての項目の値が必要です。 DHCP機能で動的にIPアドレスを割り当てる場合は、自動設定されるのでLAN接続の情報は不要です。
無線LAN接続情報	- SSID - パスワード	プリンターを接続するアクセスポイントのSSID（ネットワークの名称）、パスワードです。 MACアドレスフィルタリング設定がされている場合は、プリンターを登録できるように事前にMACアドレスの登録をしておいてください。 対応している規格はユーザーズガイドをご覧ください。
DNSサーバー情報	- プライマリーDNSのIPアドレス - セカンダリーDNSのIPアドレス	プリンターに静的IPアドレスを割り当てる場合に必要です。セカンダリーDNSはシステムを冗長構成にしてセカンダリーDNSサーバーがある場合に設定します。 小規模なネットワークでDNSサーバーを構築していない場合は、ルーターのIPアドレスを設定します。
プロキシサーバー情報	プロキシサーバー名	イントラネットからインターネットへの接続にプロキシサーバーを利用しているネットワーク環境において、プリンターが直接インターネットにアクセスする機能を使用する場合は設定してください。 以下のような機能はプリンターが直接インターネットにアクセスします。 - Epson Connectサービス - 他社のクラウドサービス - ファームウェア更新

区分	項目	備考
ポート番号情報	開放するポート番号	プリンターやコンピューターが各機能で使用するポート番号を確認して、ファイアウォールでブロックされているポートを、必要に応じて開放してください。 プリンターが使用するポート番号の情報は「付録」をご覧ください。

IPアドレスの割り当て

IPアドレス（IPv4）の割り当てには、以下のタイプがあります。

固定IPアドレス：

あらかじめ決めたIPアドレスを手動でプリンター（ホスト）に割り当てます。

ネットワークに接続するための情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定など）を手動で設定する必要があります。

デバイスの電源を切ってもIPアドレスは変更されないで、IPアドレスの変更を追従できない環境やIPアドレスでデバイスを管理したい場合に利用できます。多数のコンピューターがアクセスする、プリンターやサーバーなどへの設定をお勧めします。また、IPsec/IPフィルタリングなどのセキュリティ機能を利用する場合は、IPアドレスが変更されないよう固定IPアドレスを割り当ててください。

DHCP機能による自動割り当て（動的IPアドレス）：

DHCPサーバーやルーターのDHCP機能を使って自動でIPアドレスをプリンター（ホスト）に割り当てます。

ネットワークに接続するための情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定など）も自動で設定されるので、デバイスのネットワークへの接続が容易にできます。

デバイスやルーターの電源を切る、または、DHCPサーバーの設定により、再接続の際にIPアドレスが変更になる場合があります。

IPアドレス以外でのデバイス管理やIPアドレスを追従できるプロトコルでの通信をお勧めします。

参考 DHCPのIPアドレス予約機能を使用すると、常にデバイスに同じIPアドレスを割り当てることができます。

DNSサーバー、プロキシサーバーについて

DNSサーバーは、ホスト名やメールアドレスのドメイン名などとIPアドレスの情報を関連付けて持っています。

コンピューターやプリンターがIP通信をするときに、ホスト名やドメイン名などで相手先を記述すると通信ができません。

その情報をDNSサーバーに問い合わせ、相手先のIPアドレスを取得します。この処理を名前解決と言います。

これによりコンピューターやプリンターなどのデバイスは、IPアドレスを使って通信ができるようになります。

プリンターがメールを使ったり、インターネット接続をして通信したりするには、名前解決が必要です。

これらの機能を使用するには、DNSサーバーの設定をしてください。

プリンターのIPアドレスをDHCPサーバーやルーターのDHCP機能で割り当てると自動設定されます。

プロキシサーバーはネットワークとインターネットとの出入口に配置され、コンピューターやプリンターとインターネット（相手サーバー）の代理でそれぞれのデバイスと通信します。相手サーバーはプロキシサーバーとだけ通信しているように見えます。よって、プリンターに設定されているIPアドレスやポート番号などの情報を読み取れなくなり、セキュリティの向上が期待できます。

プロキシサーバーを介してインターネット接続をしている場合は、プリンターにプロキシサーバーの設定をしてください。

操作パネルでネットワークに接続する

プリンターの操作パネルを使って、プリンターをネットワークに接続します。
操作パネルの詳細説明は『ユーザーズガイド』をご覧ください。

IPアドレスを設定する

ホストアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど、基本的なIPアドレス設定をします。
ここでは固定IPアドレスを設定する手順を説明します。

1. プリンターの電源を入れます。
2. 操作パネルのホーム画面で「設定」を選択します。



3. 「本体設定」 - 「ネットワーク設定」 - 「詳細設定」を選択します。

4. [TCP/IP] を選択します。



5. [TCP/IP設定方法] で[手動設定] を選択します。



参考 IPアドレスをルーターなどのDHCP機能で自動設定する場合は[自動設定] にします。この場合は、手順6、7の [IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] も自動設定になるので入力できません。手順8へ進んでください。

6. IPアドレスを入力します。

IPアドレスの入力時は、桁合わせのために0を補って入力してください。

例)

- IPアドレス192.0.2.111の場合：192.000.002.111
- IPアドレス192.0.12.10の場合：192.000.012.010



戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。桁合わせのために入力した0は確定時に省略されます。

7. 同様に【サブネットマスク】、【デフォルトゲートウェイ】を設定します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

参考 IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの組み合わせが不正の場合、【設定を開始する】が有効にならず、設定を続けることができません。入力に間違いがないか確認してください。

8. プライマリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

参考 IPアドレスを【自動】にすると、DNSサーバー設定は【手動設定】、【自動設定】を選択できます。DNSサーバーのアドレスを自動取得できない場合に【手動設定】を選択して、DNSサーバーのIPアドレスを入力してください。引き続き、セカンダリーDNSサーバーのアドレスを直接入力します。【自動設定】を選択した場合は、手順10へ進んでください。

9. セカンダリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

10. 【設定を開始する】をタップします。

11. 確認画面を閉じます。

プロキシサーバーを設定する

以下の両方に当てはまる場合は、プロキシサーバーを設定してください。

- インターネット接続用にプロキシサーバーを構築している
- Epson Connect サービスや他社クラウドサービスなど、プリンターが直接インターネットに接続する機能を使用する

1. ホーム画面で「設定」を選択します。

参考 IPアドレスの設定に続いて設定するときは、「詳細設定」画面が表示されています。手順3に進んでください。



2. 「本体設定」 - 「ネットワーク設定」 - 「詳細設定」を選択します。

3. 「プロキシサーバー」を選択します。



4. 「プロキシサーバー使用設定」で「使用する」を選択します。



5. プロキシサーバーのアドレスを、IPv4アドレスまたはFQDN形式で入力します。



戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

6. プロキシサーバーのポート番号を入力します。
戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。
7. 「設定を開始する」をタップします。
8. 確認画面を閉じます。

LANに接続する

プリンターを有線LANまたは無線LANに接続します。

関連情報

- ➡ [「有線LANに接続する」 25ページ](#)
- ➡ [「操作パネルから無線LAN \(Wi-Fi\)を手動で設定する」 26ページ](#)

有線LANに接続する

LANケーブルでネットワークに接続して、接続の確認をします。

1. プリンターとハブ（LANスイッチ）をLANケーブルで接続します。

2. ホーム画面で「設定」を選択します。



3. 「本体設定」 - 「ネットワーク設定」を選択します。

4. 「接続診断」を選択します。

接続診断の結果が表示されます。正常に接続されていることを確認してください。

5. 「OK」をタップして終了します。

「接続診断結果を印刷する」をタップすると診断結果を印刷できます。画面の案内に従って印刷してください。

関連情報

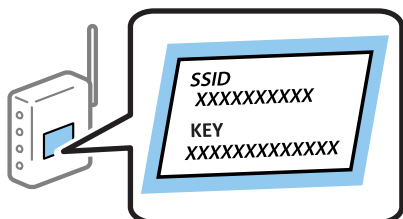
➡ [「有線LANから無線LANへの接続変更」138ページ](#)

操作パネルから無線LAN (Wi-Fi)を手動で設定する

アクセスポイントに接続するための情報をプリンターの操作パネルから手動で設定する方法です。手動で設定するには、アクセスポイントのSSIDとパスワードの情報が必要です。

アクセスポイント（無線LANルーター）がWPSやAOSSに対応していると、SSIDやパスワードを使わずにプッシュボタンやPINコードで無線LAN接続設定することもできます。

- 参考** アクセスポイントをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDとパスワードがわからない場合はアクセスポイントを設定した人に確認するか、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。



1. プリンターの操作パネルで  |  をタップします。



2. 「[ルーター]」をタップします。



3. 「[設定に進む]」をタップします。
4. 「[無線LAN接続設定]」をタップします。
既に有線LAN接続されている場合は、メッセージを確認して「[はい]」をタップします。
5. 「[アクセスポイントを検索]」をタップします。
6. 接続したいSSIDを選択します。
7. 「[パスワード入力]」欄をタップし、パスワードを入力して、「[OK]」をタップします。

- 参考**
- プリンターの操作パネルに接続したいSSIDが表示されない場合は、「[再検索]」をタップして一覧を更新してください。それでも表示されないときは、「[手動入力]」をタップしてSSIDを直接入力してください。
 - SSIDがわからない場合はアクセスポイントのラベルに書かれていないかを確認してください。アクセスポイントをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルに書かれているSSIDを使用します。

- 参考**
- パスワードは大文字と小文字を区別して入力してください。
 - パスワードがわからない場合はアクセスポイントのラベルに書かれていないかを確認してください。アクセスポイントをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルに書かれているパスワードを使用します。パスワードは「パスフレーズ」や「暗号化キー」などとも呼ばれます。
 - SSIDを直接入力した場合は「[あり]」を「[パスワード]」にしてからパスワードを入力してください。
 - アクセスポイントのSSIDとパスワードはアクセスポイントを設定した人に確認するか、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

8. 入力が終わったら「[設定を開始する]」をタップします。

9. [OK] をタップします。



接続に失敗した場合はA4サイズの普通紙をセットし、[接続診断結果を印刷する] をタップしてネットワーク接続診断レポートを印刷します。

10. ネットワーク接続設定画面で [閉じる] をタップします。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法」 115ページ](#)
- ➡ [「操作パネルを使って無線LANに接続する（WPS）」 135ページ](#)
- ➡ [「無線LANから有線LANへの接続変更」 139ページ](#)

機能設定編

この章では、デバイスの各機能を使うために始めに設定する部分の説明をしています。

設定に使うソフトウェア

ここではWeb Configを使って、システム管理者のコンピューターから設定する手順を中心に紹介します。

Web Config（デバイスのウェブページ）

Web Configの概要

Web Configは、プリンターの設定確認や変更がブラウザー上でできるプリンター内蔵のWebページです。ネットワークに接続されているプリンターを管理者のコンピューターから操作できます。

Web Configを使用するには、事前にプリンターにIPアドレスを設定しておく必要があります。

参考 プリンターに管理者パスワードを設定すると、管理者以外が設定を変更できないようにロックできます。



Web Configの起動

ネットワーク上のコンピューターやデバイスからブラウザを起動して、プリンターのIPアドレスを入力します。ブラウザのJavaScriptを有効にしてください。HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Configを起動するとブラウザに警告が表示されますが、問題ありません。

- HTTPSアクセス
IPv4 : `https://プリンターのIPアドレス`
IPv6 : `https://[プリンターのIPアドレス]`
- HTTPアクセス
IPv4 : `http://プリンターのIPアドレス`
IPv6 : `http://[プリンターのIPアドレス]`

記入例

- IPv4:
`https://192.0.2.111/`
`http://192.0.2.111/`
- IPv6:
`https://[2001:db8::1000:1]/`
`http://[2001:db8::1000:1]/`

 **参考** DNSにプリンター名を登録すると、IPアドレスの代わりにプリンター名が使用できます。

関連情報

- ➡ [「プリンターとのSSL/TLS通信」 197ページ](#)
- ➡ [「使用できる電子証明書」 197ページ](#)

印刷機能を使う

ネットワーク接続でプリンターから印刷できるようにします。

ネットワークでプリンターを使用するには、プリンターのネットワーク接続以外に、コンピューターにネットワーク用のポート設定が必要です。

- サーバークライアント型の接続：サーバーコンピューター
サーバークライアント型の接続時に手動で設定する方法を説明します。
- ピアツーピア型の接続：それぞれのコンピューター
プリンターとコンピューターが一对一の関係になるピアツーピア型の接続では、製品のソフトウェアディスクのインストーラーやウェブインストーラーを使用して自動設定する方法を説明します。

サーバークライアント型接続での印刷設定

サーバークライアント型で接続したプリンターから印刷できるようにします。

サーバークライアント型の接続では、先にプリントサーバーのコンピューターから印刷できるように設定してから、プリンターをネットワークで共有してプリントサーバー経由で印刷できるようにします。

USBケーブルでサーバーに接続した場合も同様に、コンピューターからプリンターに印刷できるように設定してからプリンターをネットワークで共有します。

ネットワークポートを設定する

一般的なStandard TCP/IPを使用してプリントサーバーのコンピュータにネットワーク印刷用のプリントキューを作成し、ネットワークポートを設定します。

ここではWindows 2012 R2を代表例として説明します。

1. デバイスとプリンターの画面を開きます。

［デスクトップ］ - ［設定］ - ［コントロールパネル］ - ［ハードウェアとサウンド］（または［ハードウェア］） - ［デバイスとプリンター］の順に選択します。

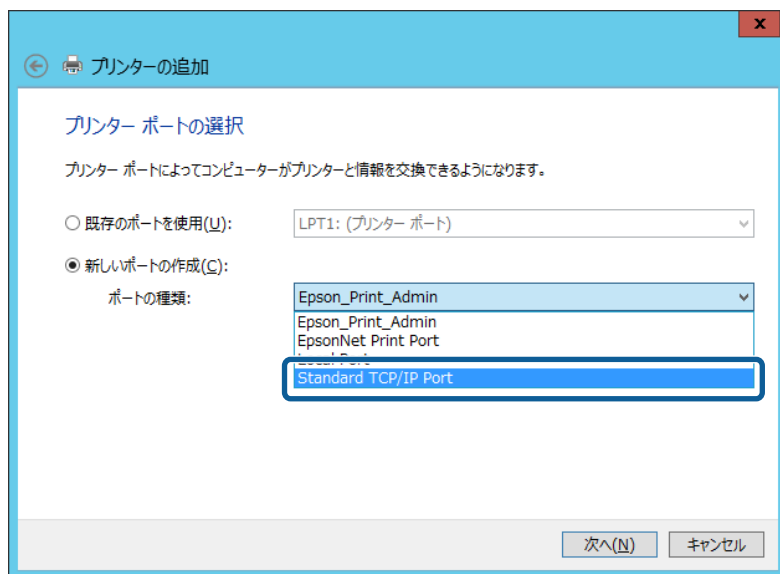
2. プリンターを追加します。

［プリンターの追加］をクリックして、表示される画面で［探しているプリンターはこの一覧にはありません］を選択します。

3. ローカルプリンターを追加します。

［ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する］を選択して、［次へ］をクリックします。

4. 〔新しいポートの作成〕を選択し、ポートの種類から〔Standard TCP/IP Port〕を選択して、〔次へ〕をクリックします。



5. 〔ホスト名またはIP アドレス〕（または［プリンター名またはIP アドレス］）にプリンター名、またはプリンターのIP アドレスを入力して、〔次へ〕をクリックします。

記入例：

- プリンター名：EPSONA1A2B3C
- IPアドレス：192.0.2.111

〔ポート名〕は変更しないでください。

〔ユーザーアカウント制御〕画面が表示されたときは〔続行〕をクリックします。

参考

名前で検索が可能なネットワークでプリンター名を指定した場合は、DHCPによってプリンターのIPアドレスが変更になっても追従ができます。プリンター名は、操作パネルのネットワーク情報表示またはネットワークステータスシートで確認できます。

6. プリンタードライバーを設定します。

- プリンタードライバーがインストールされている場合
〔製造元〕 - 〔プリンター〕を選択します。〔次へ〕をクリックします。
- プリンタードライバーがインストールされていない場合
〔ディスク使用〕をクリックして、プリンターに付属のソフトウェアディスクをセットします。〔参照〕をクリックして、ディスクドライブのプリンタードライバーが格納されているフォルダーを指定します。正しいフォルダーを指定してください。OS環境により指定するフォルダーが異なります。
32bit版Windows : WINX86
64bit版Windows : WINX64

7. この後は、画面の指示に従って操作します。

サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）でプリンターを使用する場合は、続いてプリンターを共有設定します。

関連情報

➡ [「プリンターを共有する（Windowsのみ）」 34ページ](#)

ポート構成を確認する - Windows

プリントキューに適切なポートが設定されているか確認します。

1. デバイスとプリンターの画面を開きます。

〔デスクトップ〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕 - 〔ハードウェアとサウンド〕（または〔ハードウェア〕） - 〔デバイスとプリンター〕の順に選択します。

2. プリンターのプロパティ画面を開きます。

対象プリンターのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

3. [ポート] タブをクリックし、[標準のTCP/IPポート] を選択して、[ポートの構成] をクリックします。

4. ポートの構成を確認します。

- RAWの場合

[プロトコル] で [Raw] が選択されていることを確認して、[OK] をクリックします。

- LPRの場合

[プロトコル] で [LPR] が選択されていることを確認します。[LPR 設定] の [キュー名] に「PASSTHRU」と入力します。[LPRバイトカウントを有効にする] をチェックして、[OK] をクリックします。

プリンターを共有する (Windowsのみ)

サーバークライアント型接続 (Windowsサーバーによるプリンター共有) でプリンターを使用する場合は、プリントサーバーからプリンターを共有設定します。

1. プrintサーバーのコンピューターで [コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] の順に選択します。

2. 共有したいプリンターアイコン (プリントキュー) を右クリックして、[プリンターのプロパティ] - [共有] タブを選択します。

3. [このプリンターを共有する] を選択して、[共有名] を入力します。

Windows Server 2012をお使いの場合は、[共有オプションの変更] をクリックしてから設定してください。

追加ドライバーをインストールする (Windowsのみ)

プリントサーバーのコンピューターとクライアントコンピューターが異なるバージョンのWindowsで動作している場合、それぞれのバージョンのプリンタードライバーをプリントサーバーにインストールしておくことをお勧めします。

1. プrintサーバーのコンピューターで [コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] の順に選択します。

2. 共有したいプリンターアイコン (プリントキュー) を右クリックして、[プリンターのプロパティ] - [共有] タブを選択します。

3. [追加ドライバー] をクリックします。

Windows Server 2012をお使いの場合は、共有オプションの変更をクリックしてから設定してください。

4. クライアントコンピューターのWindowsバージョン (プロセッサタイプ) を選択して、OKをクリックします。

5. プリンタードライバーの情報ファイル (*.inf) を指定してドライバーをインストールします。

関連情報

➡ [「共有プリンターを使う - Windows」 35ページ](#)

共有プリンターを使う - Windows

プリンターの管理者は、クライアントコンピューターへのプリンター追加手順としてプリントサーバーに設定したコンピューター名をクライアントに連絡してください。追加ドライバーが設定されていない環境では、[デバイスとプリンター] からプリンターを追加する手順を案内してください。

以下は、プリントサーバーに追加ドライバーが設定されている場合の手順です。

1. プリントサーバーのコンピューター名を[エクスプローラー]で開きます。
2. 利用したいプリンターをダブルクリックします。

関連情報

➡ [「プリンターを共有する \(Windowsのみ\)」 34ページ](#)

➡ [「追加ドライバーをインストールする \(Windowsのみ\)」 34ページ](#)

ピアツーピア型接続での印刷設定

ピアツーピア型接続（直接印刷）の場合、プリンターとクライアントコンピューターは一对一の関係になります。プリンターを使用するそれぞれのコンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

関連情報

➡ [「プリンタードライバーを設定する - Windows」 35ページ](#)

➡ [「プリンタードライバーを設定する - Mac OS」 36ページ](#)

プリンタードライバーを設定する - Windows

小規模なネットワークの場合、それぞれのクライアントコンピューターでプリンタードライバーをインストールすることをお勧めします。エプソンのウェブサイトまたはソフトウェアディスクからインストーラーを起動します。

参考 たくさんのクライアントコンピューターからプリンターを使用する場合は、EpsonNet SetupManagerを使ってドライバーをパッケージして配布すると、インストール作業を大幅に軽減できます。

1. インストーラーを起動します。
 - ウェブサイトから起動する
以下のウェブサイトアクセスして、製品名を入力します。[セットアップ]に進み、ソフトウェアをダウンロードして起動します。
<http://epson.sn>
 - ソフトウェアディスクから起動する（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合のみ）
ソフトウェアディスクをコンピューターにセットします。

2. 接続方法を選択して、[次へ] をクリックします。



参考 [ソフトウェアの変更と再接続方法を選択してください] 画面が表示されたら、[プリンターの再セットアップ（無線LANルーターが替わった場合など）] を選択して [次へ] をクリックしてください。

3. この後は、画面の指示に従って操作します。

関連情報

➡ [「EpsonNet SetupManager」 133ページ](#)

プリンタードライバーを設定する - Mac OS

Webサイトからソフトウェアをダウンロードして、コンピュータの追加設定をします。インターネットに接続できる環境で作業を始めてください。

PostScript対応のプリンターで、エプソンのPostScriptプリンタードライバーをインストールする場合は、プリンターの『ユーザーズガイド』をご覧ください。

1. 追加するコンピュータで以下のWebサイトにアクセスして、製品名を入力します。

<http://epson.sn>

2. [セットアップ] に進み、ソフトウェアをダウンロードします。
3. ダウンロードしたソフトウェアを起動して、画面の指示に従って操作します。

4. 接続先選択の画面で「コンピューターの追加設定」を選択します。



5. この後は、画面の指示に従って操作します。

印刷の基本設定

用紙サイズや印刷エラーの表示など、プリンターの印刷に関する設定をします。

給紙装置設定

各給紙装置にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

1. Web Configで「印刷」タブ - 「給紙装置設定」を選択します。

2. 各項目を設定します。

ご使用の環境によっては表示項目が異なります。

- 給紙装置名称
[用紙カセット1] など、設定対象の給紙装置名が表示されます。
- [用紙サイズ]
プルダウンメニューから設定する用紙のサイズを選択します。
- [単位]
ユーザー定義サイズの単位を選択します。[用紙サイズ] が [ユーザー定義サイズ] の場合に選択できます。

- [横の長さ]
ユーザー定義サイズの横の長さを設定します。
入力できる範囲は給紙装置に依存し、[横の長さ] の横に示されています。
[単位] で [mm] を選択した場合、小数点第1位まで入力できます。
[単位] で [inch] を選択した場合、小数点第2位まで入力できます。
- [縦の長さ]
ユーザー定義サイズの縦の長さを設定します。
入力できる範囲は給紙装置に依存し、[縦の長さ] の横に示されています。
[単位] で [mm] を選択した場合、小数点第1位まで入力できます。
[単位] で [inch] を選択した場合、小数点第2位まで入力できます。
- [用紙種類]
プルダウンメニューから設定する用紙の種類を選択します。

3. 設定内容を確認して、[設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

インターフェイス設定

印刷ジョブのタイムアウト時間や各インターフェイスに割り当てる印刷言語を設定します。
この項目はPCL、PostScript対応のプリンターのみ表示されます。

1. Web Configで[印刷] タブ - [インターフェイス設定] を選択します。
2. 各項目を設定します。
 - [タイムアウト設定]
USB経由の印刷ジョブのタイムアウト時間を設定します。
1秒単位で5秒～300秒で設定できます。
タイムアウトしたくない場合は0を入力します。
 - [印刷言語]
USBインターフェイス、ネットワークインターフェイスそれぞれの印刷言語を選択します。
[自動] を選択すると送られた印刷ジョブから判断されます。
3. 設定内容を確認して、[設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

エラー設定

デバイス本体のエラー表示に関する設定をします。

1. Web Configで[印刷] タブ - [エラー設定] を選択します。

2. 各項目を設定します。

- 用紙サイズエラー
指定された給紙装置の用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なる場合に、操作パネルにエラーを表示するかどうか設定します。
- 用紙種類エラー
指定された給紙装置の用紙タイプと、印刷データの用紙タイプが異なる場合に、操作パネルにエラーを表示するかどうか設定します。
- 自動エラー解除
エラーを表示してから5秒間操作パネルの操作がなかった場合に、自動でエラーを解除するかどうか設定します。

3. 設定内容を確認して、[設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

外部機器(PC)印刷設定

外部機器からプリンタードライバーを経由しない印刷をするときの設定をします。
お使いのプリンターの対応印刷言語によって表示されない項目があります。

1. Web Configで[印刷] タブ - [外部機器(PC)印刷設定] を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. 設定内容を確認して、[設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

基本設定

項目	説明
上オフセット設定 (-30.0-30.0mm)	印刷を開始する用紙の垂直位置を設定します。
左オフセット設定 (-30.0-30.0mm)	印刷を開始する用紙の水平位置を設定します。
裏面上オフセット設定 (-30.0-30.0mm)	両面印刷時の用紙裏面の印刷を開始する用紙の垂直位置を設定します。
裏面左オフセット設定 (-30.0-30.0mm)	両面印刷時の用紙裏面の印刷を開始する用紙の水平位置を設定します。
紙幅チェック印刷	印刷時に紙幅のチェックをするか設定します。
白紙節約モード	印刷データに白紙ページがあった場合、白紙を出さないように設定します。

PDL印刷設定

PCLまたはPostScript印刷時の設定ができます。
この項目はPCLまたはPostScript対応のプリンターのみ表示されます。

共通設定

項目	説明
用紙サイズ	印刷する用紙サイズを選択します。
用紙種類	用紙の種類を選択します。
用紙方向	印刷する用紙の方向を選択します。
印刷品質	印刷品質を選択します。
インクセーブモード	インクの消費量を抑えた印刷をするか設定します。
印刷順序	印刷する順序を選択します。
コピー枚数設定(1-999)	印刷部数を設定します。
とじ位置	両面印刷時のとじ位置を選択します。
自動排紙設定	データ受信のタイムアウトが発生した場合、自動で排紙するか設定します。
両面印刷	両面で印刷するか設定します。

PCL設定

項目	説明
フォントソース	プリンターに常駐しているフォントを使用するか、ダウンロードするかを選択します。
フォント番号	使用するフォントの番号を指定します。
フォントピッチ(0.44-99.99cpi)	使用するフォントがスケラブルで固定ピッチの場合、フォントの大きさをピッチで指定します。
ポイントサイズ(4.00-999.75pt)	使用するフォントがスケラブルでプロポーショナルフォントの場合、フォントの大きさをポイントで指定します。
シンボルセット	使用するフォントのシンボルセットを選択します。
行数(5-128行)	1ページあたりの行数を指定します。
CR設定	CRコード（復帰）に対する動作を選択します。
LF設定	LFコード（改行）、FFコード（改ページ）に対する動作を選択します。
給紙割り当て	PCLの給紙コマンドに対する給紙装置の割り付けを指定します。

PS設定

項目	説明
PS3エラーシート	PS3印刷のエラー時にエラーシートを印刷するか設定します。
Coloration	カラー印刷かモノクロ印刷かを設定します。
Binary	バイナリーデータを受け付けるかどうか設定します。
PDF印刷 用紙サイズ	PDF印刷時の用紙サイズを設定します。

サーバーや共有フォルダーを設定する

メールや共有フォルダーを利用するスキャンなどの機能を使用する場合に必要なサーバーや共有フォルダーを設定します。

関連情報

➡ [「サーバーと各機能の関連」 41ページ](#)

サーバーと各機能の関連

プリンターの機能とサーバーや共有フォルダーの関係は以下の通りです。
それぞれの機能を使用する場合はサーバーや共有フォルダーを設定してください。

	メールサーバー	FTPサーバー	ファイルサーバー (共有フォルダー)	LDAPサーバー
スキャン to メール機能	○			
スキャン to FTP機能		○		
スキャン to フォルダ機能			○	
ファクス to メール機能	○			
ファクス to フォルダ機能			○	
メール通知	○			
LDAP連携				○

関連情報

- ➡ [「メールサーバーを設定する」 42ページ](#)
- ➡ [「共有フォルダー設定」 46ページ](#)
- ➡ [「LDAPサーバーと利用者を連携する」 72ページ](#)

メールサーバーを設定する

Web Configを使ってメールサーバーを設定します。

メールサーバーを設定してプリンターがメール送信できるようになると、以下が実現できます。

- メールを利用してスキャン結果を転送する
- プリンターから通知メールの受け取り

設定の前に以下を確認してください。

- プリンターがメールサーバーにアクセスできるネットワークに接続されているか
- プリンターと同じメールサーバーを使用するコンピューターのメール設定情報

- 参考**
- インターネット上のメールサーバーを利用する場合は、サービスを提供しているプロバイダーやウェブサイトから設定情報を確認してください。
 - プリンターの操作パネルを使っても設定できます。メニューは以下の通りです。
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [メールサーバー] - [サーバー設定] .

1. Web Configで [ネットワーク] タブ - [メールサーバー] - [基本] を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. [設定] を選択します。

設定結果が表示されます。

設定が終了したら、接続確認をしてください。

関連情報

- ➡ [「メールサーバーとの接続を確認する」 44ページ](#)
- ➡ [「メールサーバー設定項目」 43ページ](#)
- ➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

メールサーバー設定項目

EPSON L3110 Series

情報確認 印刷 スキャンコピー ファクス ネットワーク ネットワークセキュリティ 本体セキュリティ デバイス管理 Epson Open Platform

ネットワーク基本
無線LAN
有線LAN
Wi-Fi Direct
メールサーバー
 >基本
 >接続確認
LDAPサーバー
 >基本
 >検索設定
 >接続確認
Kerberos設定
MS Network
Epson Connect設定
Google クラウド プリント設定

メールサーバー > 基本

メールサーバーのセキュア機能を使用するには証明書が必要です。
以下のページで設定してください。
・相手サーバー検証用CA証明書
・ルート証明書更新

認証方式: SMTP認証

認証用アカウント: xxxxxxxx

認証用パスワード: *****

送信元アドレス: epson@epson-test.com

SMTPサーバーアドレス: 192.0.2.127

SMTPサーバーポート番号: 25

セキュア接続: なし

証明書の検証: ☒ 有効 ☐ 無効

証明書の検証を有効にすることをお勧めします。
無効にするとメールサーバーの安全性を確認せずに接続します。

POP3サーバーアドレス:

POP3サーバーポート番号:

設定

項目	設定値と説明	
認証方式	プリンターがメールサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。	
	認証しない	メールサーバーが認証を必要としない場合に設定します。
	SMTP認証	メール送信時にSMTPサーバー（メール送信サーバー）で認証をします。メールサーバーがSMTP認証に対応している必要があります。
	POP before SMTP	メール送信する前にPOP3サーバー（メール受信サーバー）で認証をします。選択した場合はPOP3サーバーの設定をしてください。
認証用アカウント	〔認証方式〕に〔SMTP認証〕または〔POP before SMTP〕を選択した場合、認証用のアカウント名を入力します。入力できる文字は、ASCII（0x20-0x7E）の255文字以内です。 〔SMTP認証〕を選択した場合、SMTPサーバーの認証用アカウントを入力してください。〔POP before SMTP〕を選択した場合、POP3サーバーの認証用アカウントを入力してください。	

項目	設定値と説明	
認証用パスワード	〔認証方式〕に〔SMTP認証〕または〔POP before SMTP〕を選択した場合、認証用のパスワードを入力します。入力できる文字はASCII (0x20-0x7E) の20文字以内です。 〔SMTP認証〕を選択した場合、SMTPサーバーの認証アカウントのパスワードを入力してください。〔POP before SMTP〕を選択した場合、POP3サーバーの認証アカウントのパスワードを入力してください。	
送信元アドレス	システム管理者のアドレスなど送信元のメールアドレスを入力します。認証にも使用されるため、お使いのメールサーバーに登録されていて実際に送信できるアドレスを入力してください。入力できる文字は、: () < > [] ; ¥ を除くASCII (0x20-0x7E) で表せる255文字以内です。ただし、ピリオド (.) は先頭文字にできません。	
SMTPサーバーアドレス	A～Z a～z 0～9 . - を使用し、255文字以内で入力します。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
SMTPサーバー ポート番号	1～65535までの範囲で、半角数字で入力します。	
セキュア接続	メールサーバーとの通信の暗号化方式を選択します。	
	なし	〔認証方式〕で〔POP before SMTP〕を選択した場合は暗号化しません。
	SSL/TLS	〔認証方式〕で〔認証しない〕または〔SMTP認証〕を選択したときに選択できます。通信の開始から暗号化します。
	STARTTLS	〔認証方式〕で〔認証しない〕または〔SMTP認証〕を選択したときに選択できます。通信の開始は暗号化せず、受信環境によってその後の通信を暗号化するかが変わります。
証明書の検証	有効にするとメールサーバーの証明書の正当性をチェックします。〔有効〕にすることをお勧めします。設定するには、相手サーバー検証用CA証明書をプリンターにインポートする必要があります。	
POP3サーバーアドレス	〔認証方式〕に〔POP before SMTP〕を選択した場合、POP3サーバーアドレスを入力します。入力できる文字は、A～Z a～z 0～9 . - で、255文字以内です。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
POP3サーバー ポート番号	〔認証方式〕で〔POP before SMTP〕を選択した場合にポート番号を指定します。入力できる文字は、1～65535の範囲で、半角数字で入力します。	

関連情報

➡ [「メールサーバーを設定する」42ページ](#)

メールサーバーとの接続を確認する

メールサーバーとの接続確認ができます。

1. Web Configで〔ネットワーク〕タブ - 〔メールサーバー〕 - 〔接続確認〕を選択します。
2. 〔確認開始〕を選択します。

メールサーバーとの接続診断が開始されます。接続テストが終了すると結果が表示されます。



プリンターの操作パネルを使っても設定できます。メニューは以下の通りです。

[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [メールサーバー] - [コネクションテスト] .

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

➡ [「メールサーバー接続確認結果」 45ページ](#)

メールサーバー接続確認結果

メッセージ	原因
接続に成功しました。	サーバーとの接続に成功した場合に表示されます。
SMTPサーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。・ネットワーク設定	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • プリンターがネットワークに接続されていない • SMTPサーバーがダウンしている • 通信中にネットワークが切断された • 異常なデータを受信した
POP3サーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。・ネットワーク設定	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • プリンターがネットワークに接続されていない • POP3サーバーがダウンしている • 通信中にネットワークが切断された • 異常なデータを受信した
SMTPサーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。・SMTPサーバーアドレス・DNSサーバー	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • DNSサーバーとの接続に失敗した • SMTPサーバーアドレスの名前解決に失敗した
POP3サーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。・POP3サーバーアドレス・DNSサーバー	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • DNSサーバーとの接続に失敗した • POP3サーバーアドレスの名前解決に失敗した
SMTPサーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。・認証方式・認証用アカウント・認証用パスワード	SMTPサーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。
POP3サーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。・認証方式・認証用アカウント・認証用パスワード	POP3サーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。
サポートしていない通信方式です。以下を確認してください。・SMTPサーバーアドレス・SMTPサーバーポート番号	プリンターがサポートしていないプロトコルで通信しようとした場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をなしに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続（SSL接続）をサポートしていない場合に表示されます。

メッセージ	原因
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSSL/TLSに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSSL/TLS接続することを要求している場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSTARTTLSに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSTARTTLS接続することを要求している場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。・日付/時刻	プリンターの日時設定が正しくない、またはサーバーに対応するルート証明書は保有しているが、期限切れの場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。・相手サーバー検証用CA証明書	サーバーに対応するルート証明書をプリンターが保有していない、または相手サーバー検証用CA証明書がインポートされていない場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。	サーバーから取得した証明書が壊れている場合などに表示されます。
SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をSMTP認証に変更してください。	サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をサポートしているのに、プリンターはSMTP認証を実行していません。
SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をPOP before SMTPに変更してください。	サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をしていないのに、プリンターはSMTP認証を実行しようとしています。
送信元アドレスが正しくありません。お使いのメールサービスで取得したアドレスに変更してください。	送信元アドレスの指定が間違っていた場合に表示されます。
プリンターが処理動作中のためアクセスできません。	プリンターが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。

関連情報

➡ [「メールサーバーとの接続を確認する」44ページ](#)

共有フォルダー設定

スキャンやファクスの結果を保存するための共有フォルダーを設定します。

プリンターは共有フォルダーのあるコンピューターに、コンピューターのユーザーとしてログオンしてファイルを書き込みます。

共有フォルダーと一緒にMS Networkを設定してください。

ここで設定した共有フォルダーは、ファクスやスキャンの宛先として指定できます。

共有フォルダーの作成

共有フォルダーを作成する前に

共有フォルダーの作成前に以下を確認してください。

- プリンターが共有フォルダーを作成するコンピューターにアクセスできるネットワークに接続されているか
- 共有フォルダーを作成するコンピューターの名前にマルチバイト文字が使用されていないか

！重要 コンピューター名にマルチバイト文字が含まれていると、共有フォルダーへのファイル保存が失敗する可能性があります。
その場合、コンピューター名にマルチバイト文字が含まれていないコンピューターに変更するか、コンピューター名を変更してください。
コンピューター名を変更する場合、コンピューターの管理やリソースへのアクセスに影響が出る可能性がありますので、必ずシステムの管理者に確認してから行ってください。

ネットワークプロファイルの確認

共有フォルダーを作成するコンピューターで、フォルダーの共有が可能かどうか確認します。

1. 共有フォルダーを作成するコンピューターへ管理者権限のユーザーアカウントでログオンします。
2. [コントロール パネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] を選択します。
3. [共有の詳細設定] をクリックし、表示されたネットワークプロファイルから [（現在のプロファイル）] とあるプロファイルの  をクリックします。
4. [ファイルとプリンターの共有] で [ファイルとプリンターの共有を有効にする] が選択されているか確認します。
選択されている場合は、[キャンセル] をクリックして画面を閉じます。
変更した場合は、[変更の保存] をクリックして画面を閉じます。

共有フォルダーの作成場所とセキュリティの例

共有フォルダーを作成する場所によって、セキュリティや利便性が変わります。

プリンターや他のコンピューターから共有フォルダーを扱うには、以下の両方でフォルダーの読み取りや変更の権限が必要です。

- [共有] タブ - [詳細な共有] - [アクセス許可] の共有アクセス許可
ネットワーク経由のアクセスを制御します。
- [セキュリティ] タブのアクセス許可
ネットワークとローカルからのアクセスを制御します。

以下のデスクトップに共有フォルダーを作成した例で、共有フォルダーの [共有アクセス許可] に [Everyone] を設定すると、ネットワーク経由で共有フォルダーにアクセスできる全てのユーザーにアクセス許可を与えることになります。

しかし、デスクトップはユーザーフォルダーの配下にあるフォルダーのため、ユーザーフォルダーのローカルアクセスのセキュリティ設定が継承されて、ユーザーフォルダーにアクセス許可のないユーザーはアクセスできません。[セキュリティ] でアクセス許可が設定されているユーザーやグループ（この場合はコンピューターのログオンユーザーと Administrator）がフォルダーにアクセスできます。

以下の例を参考に適切な場所に共有フォルダーを作成してください。

ここでは「scan_folder」というフォルダーの作成を例に説明します。

ファイルサーバー向けの設定例

ここでは、以下の環境条件でファイルサーバーなど共有コンピューターのドライブのルートに共有フォルダーを作成することを例に説明します。

共有フォルダーを作成するコンピューターと同じドメインなどアクセス制御できるユーザーがアクセスできます。

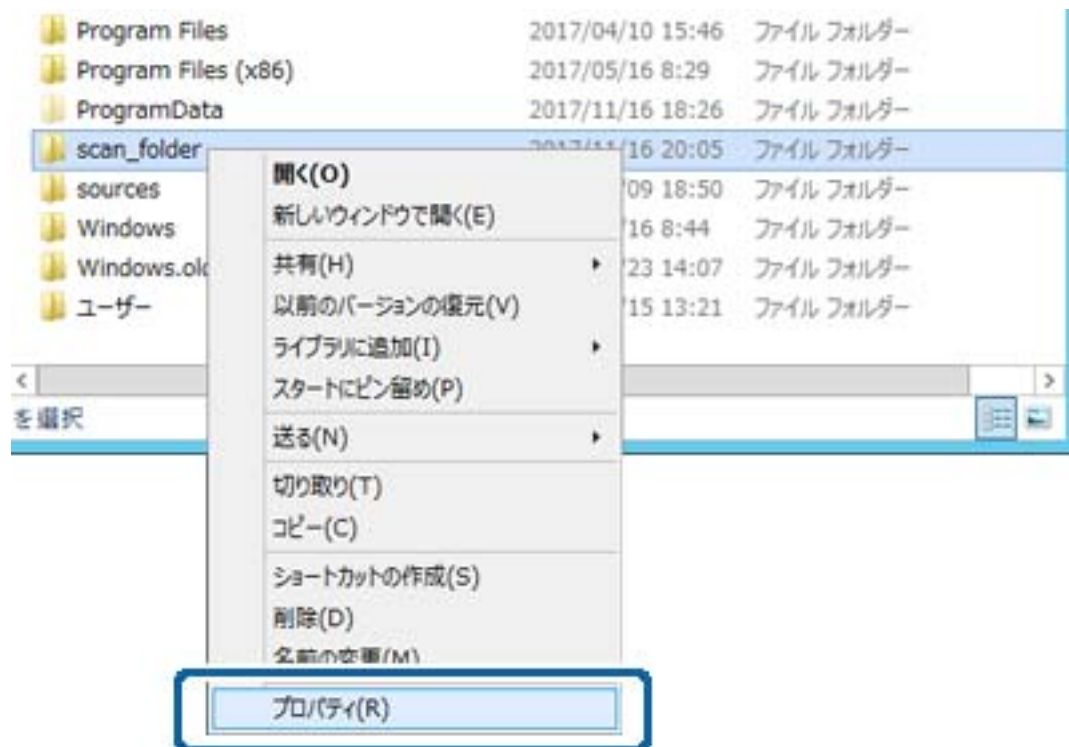
ファイルサーバーや共有のコンピューターなどを設置していて、組織内の誰にでも自由な読み書きを許可する場合に設定してください。

- フォルダー作成場所：ドライブ直下
- フォルダーパス：C:¥scan_folder
- ネットワーク経由のアクセス設定（共有アクセス許可）：Everyone
- ファイルシステムのアクセス設定（セキュリティ）：Authenticated Users

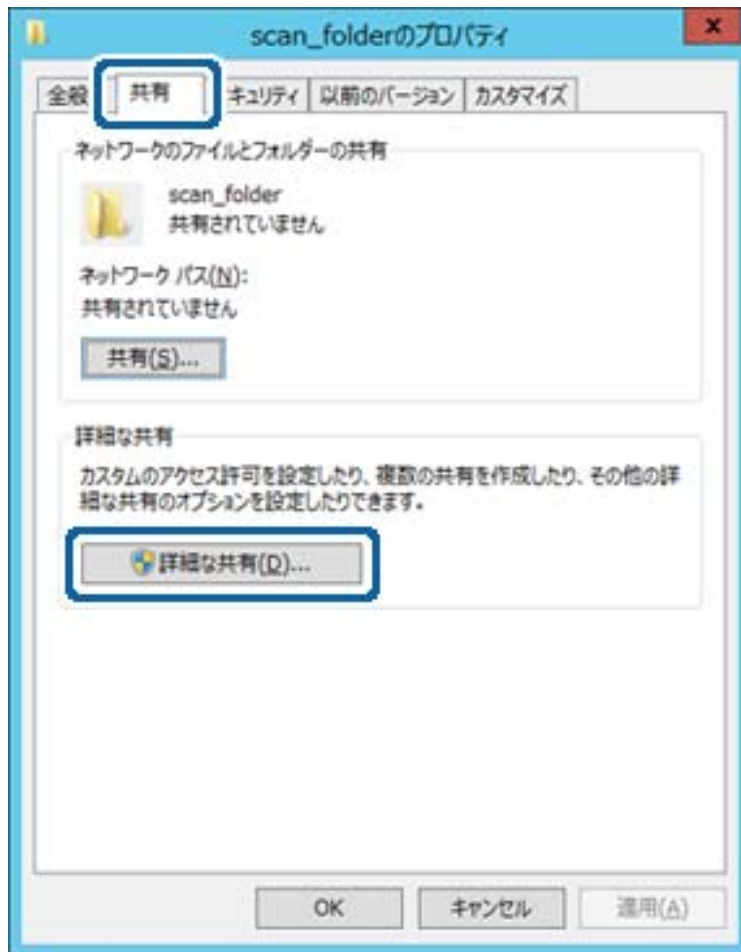
1. 共有フォルダーを作成するコンピューターへ管理者権限のユーザーアカウントでログオンします。
2. エクスプローラーを起動します。
3. Cドライブのルートにフォルダーを作成し「scan_folder」と名前を付けます。

フォルダー名は、半角英数字12文字以内で入力してください。文字数を超えると、お使いの環境によっては正常にアクセスできないことがあります。

4. フォルダーを右クリックして「プロパティ」を選択します。



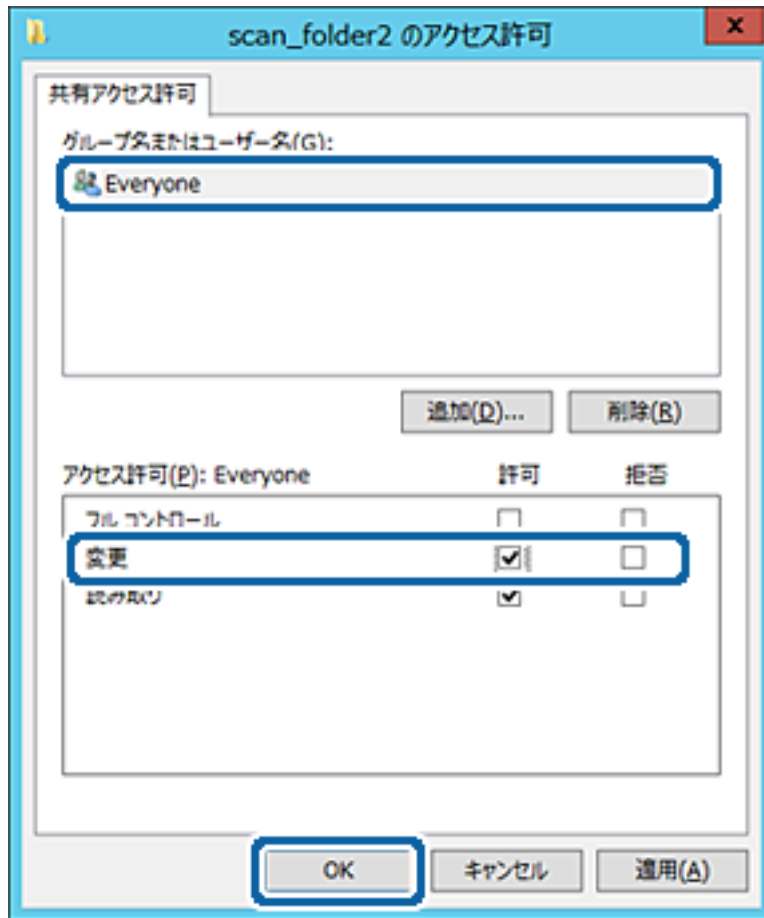
5. [共有] タブで [詳細な共有] をクリックします。



6. 「このフォルダーを共有する」にチェックを入れ、「アクセス許可」をクリックします。

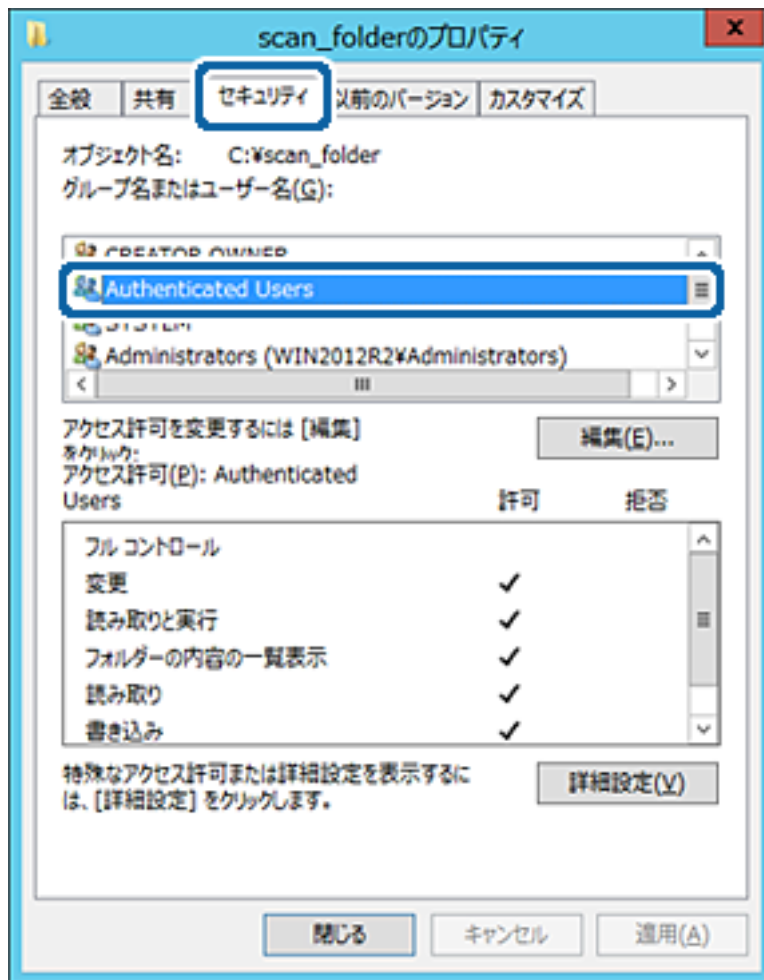


7. [グループ名またはユーザー名] の [Everyone] グループを選択し、[変更] の [許可] にチェックを入れて [OK] をクリックします。



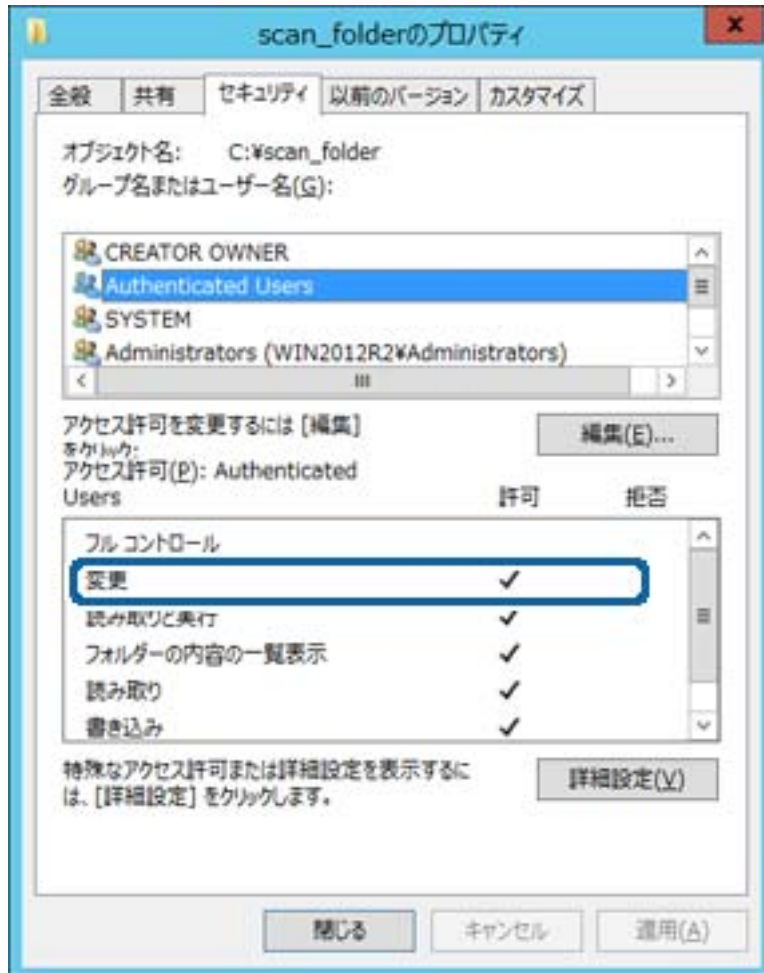
8. [OK] をクリックします。

9. 「セキュリティ」タブを選択し、「グループ名またはユーザー名」にある「Authenticated Users」を選択します。



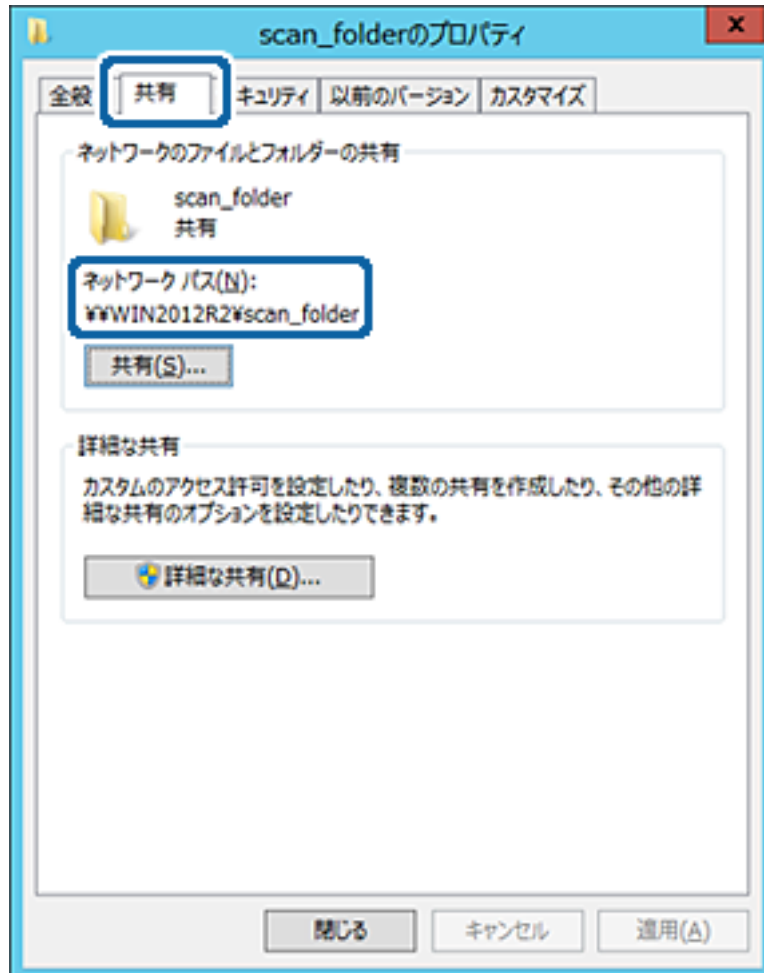
「Authenticated Users」はドメインやコンピューターにログオンできる全てのユーザーが含まれるグループです。ドライブ直下にフォルダーを作成した場合に表示される特殊グループです。
表示されていない場合は「編集」から追加できます。詳しくは「関連情報」にあるトピックをご覧ください。

10. [Authenticated Usersのアクセス許可] にある[変更] の[許可] にチェックがあることを確認します。
チェックがない場合は[Authenticated Users] を選択して[編集] をクリックし、[アクセス許可] で[変更] の[許可] にチェックを入れ、[OK] をクリックします。



11. 「共有」タブを選択します。

共有フォルダーのネットワークパスが表示されます。このパスをプリンターのアドレス帳の登録で使します。メモやコピーをしておいてください。



12. 「OK」または「閉じる」をクリックして、画面を閉じます。

同じドメインネットワークのコンピューターから、共有フォルダーにファイルが読み書きできるか確認してください。

関連情報

➡ [「アクセス許可をするグループやユーザーを追加する」61ページ](#)

個人のコンピューター向けの設定例

ここでは、ログオンしているユーザーのデスクトップに共有フォルダーを作成することを例に説明します。デスクトップやドキュメントフォルダーなどユーザーフォルダー配下のフォルダーは、ログオンしたユーザーとコンピューターの管理者権限を持つユーザーがアクセスできます。

個人のコンピューターにスキャン結果を保存し、ネットワーク経由で他のユーザーに閲覧やコピー、削除などを許可しない場合に設定してください。

- フォルダー作成場所：デスクトップ
- フォルダーパス：C:\Users\¥xxxx¥Desktop¥scan_folder

- ネットワーク経由のアクセス設定（共有アクセス許可）：Everyone
- ファイルシステムのアクセス設定（セキュリティ）：追加しない、または個別にアクセスを許可するユーザーまたはグループ

1. 共有フォルダーを作成するコンピューターへ管理者権限のユーザーアカウントでログインします。

2. エクスプローラーを起動します。

3. デスクトップにフォルダーを作成し「scan_folder」と名前を付けます。

フォルダー名は、半角英数字12文字以内で入力してください。文字数を超えると、お使いの環境によっては正常にアクセスできないことがあります。

4. フォルダーを右クリックして【プロパティ】を選択します。



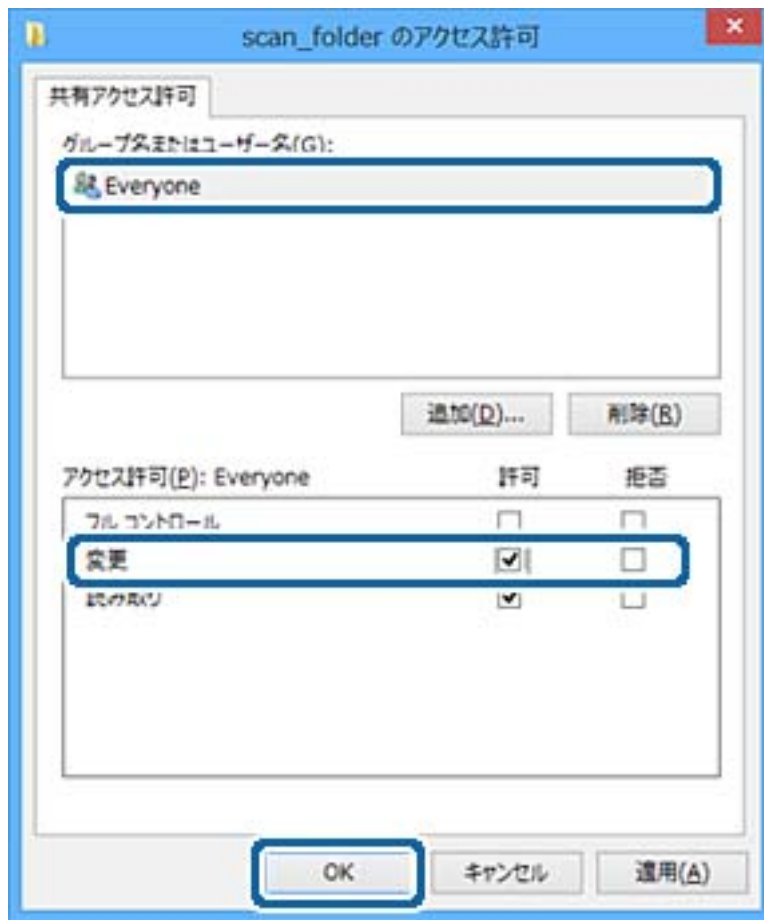
5. 「共有」タブの画面で「詳細な共有」をクリックします。



6. 「このフォルダーを共有する」にチェックを入れ、「アクセス許可」をクリックします。

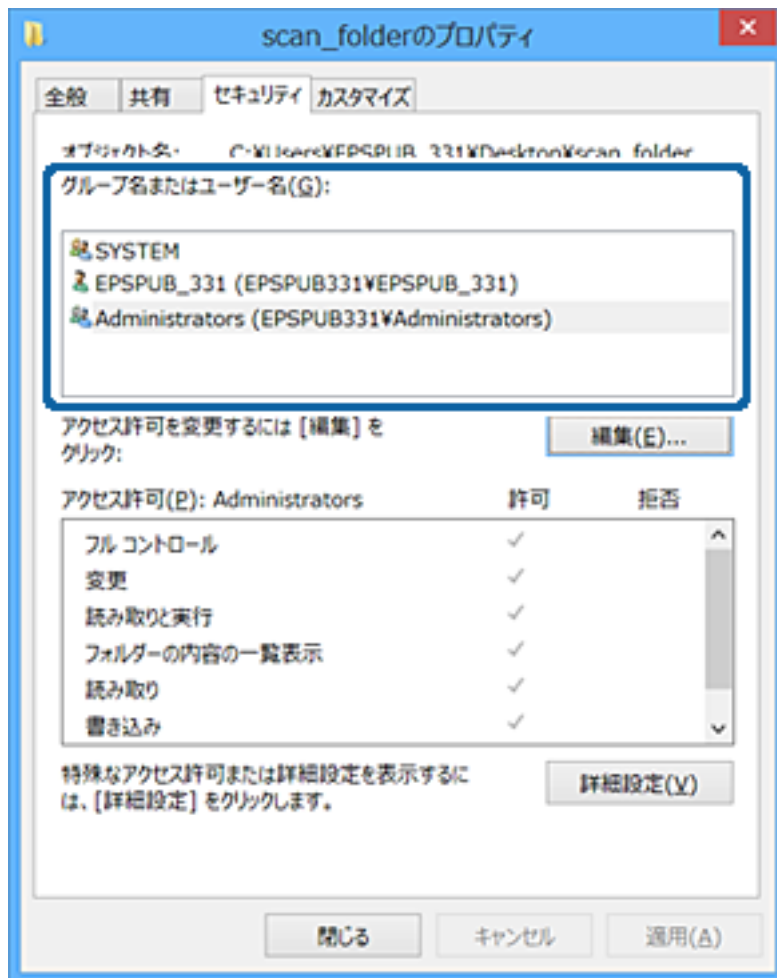


7. [グループ名またはユーザー名] の [Everyone] グループを選択し、[変更] の [許可] にチェックを入れて [OK] をクリックします。



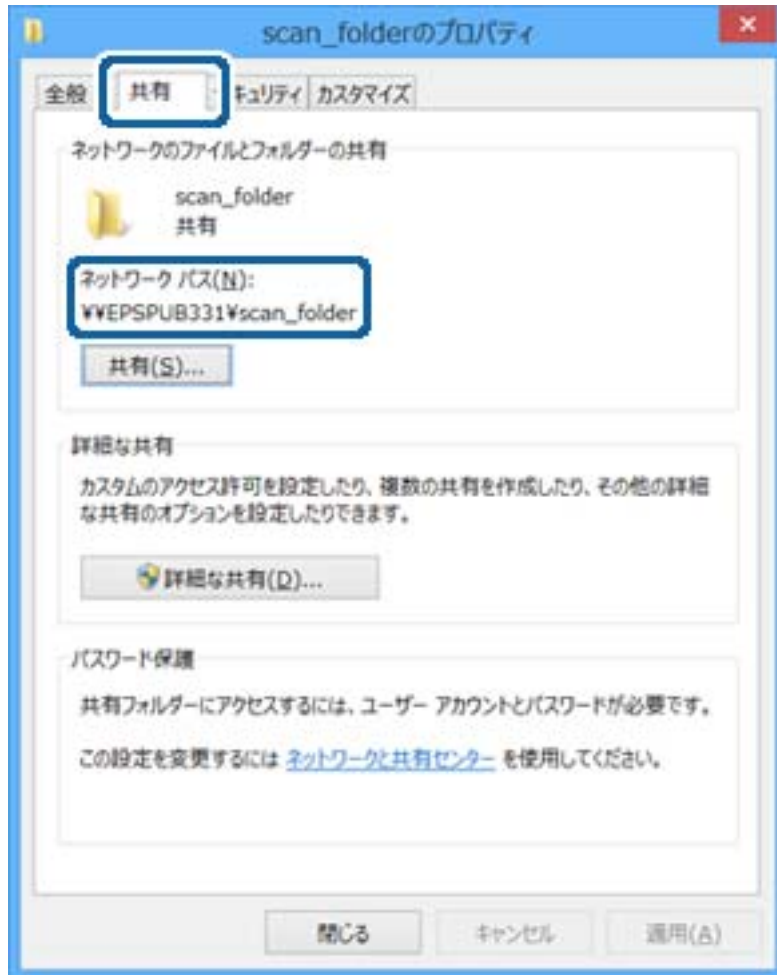
8. [OK] をクリックします。
9. [セキュリティ] タブを選択します。
10. [グループ名またはユーザー名] にあるグループまたはユーザーを確認します。
ここに表示されているグループまたはユーザーが共有フォルダーにアクセスできます。
この場合はこのコンピューターにログオンしているユーザーとAdministratorが共有フォルダーにアクセスできます。

必要に応じてアクセス許可を追加してください。アクセス許可は[編集]から追加できます。詳しくは「関連情報」にあるトピックをご覧ください。



11. [共有] タブを選択します。

共有フォルダーのネットワークパスが表示されます。このパスをプリンターのアドレス帳の登録で使します。メモやコピーをしておいてください。



12. [OK] または [閉じる] をクリックして、画面を閉じます。

アクセスを許可したユーザーまたはグループのコンピューターから、共有フォルダーにファイルが読み書きできるか確認してください。

関連情報

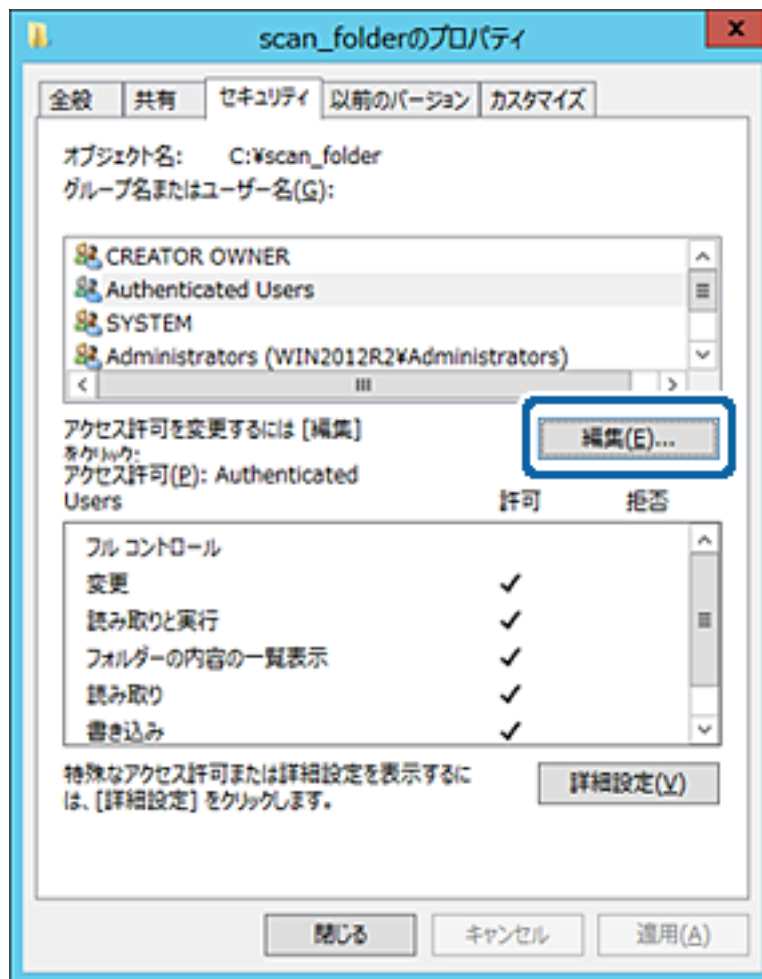
➡ [「アクセス許可をするグループやユーザーを追加する」61ページ](#)

アクセス許可をするグループやユーザーを追加する

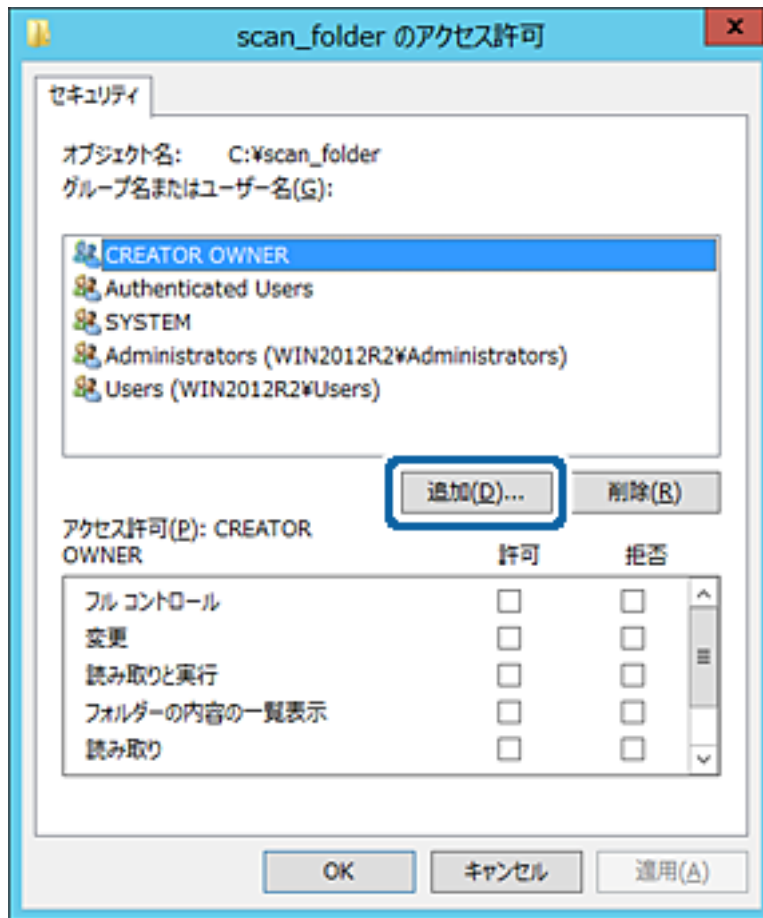
以下の手順で共有フォルダーにアクセスを許可するグループやユーザーを追加できます。

1. フォルダーを右クリックして [プロパティ] を選択します。
2. [セキュリティ] タブを選択します。

3. [編集] をクリックします。

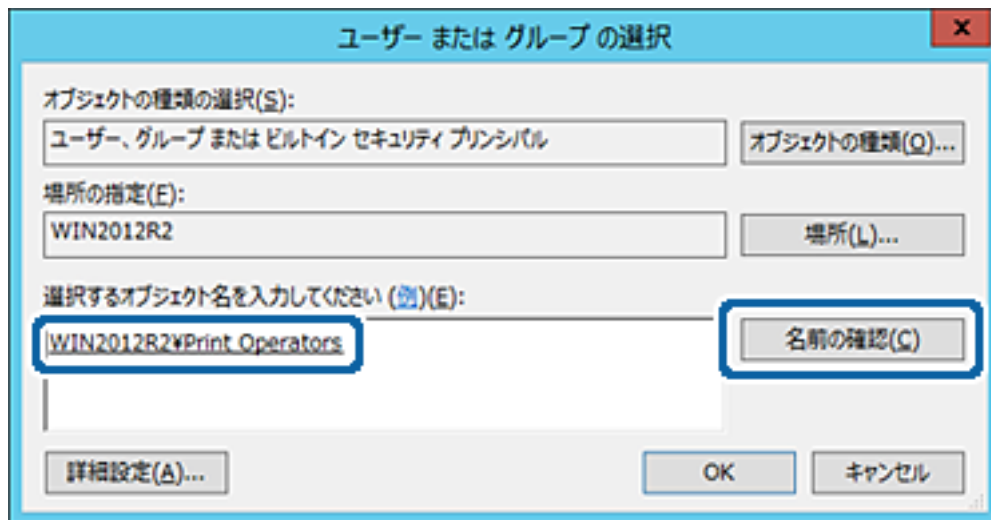


4. 「グループ名またはユーザー名」の下の「追加」をクリックします。



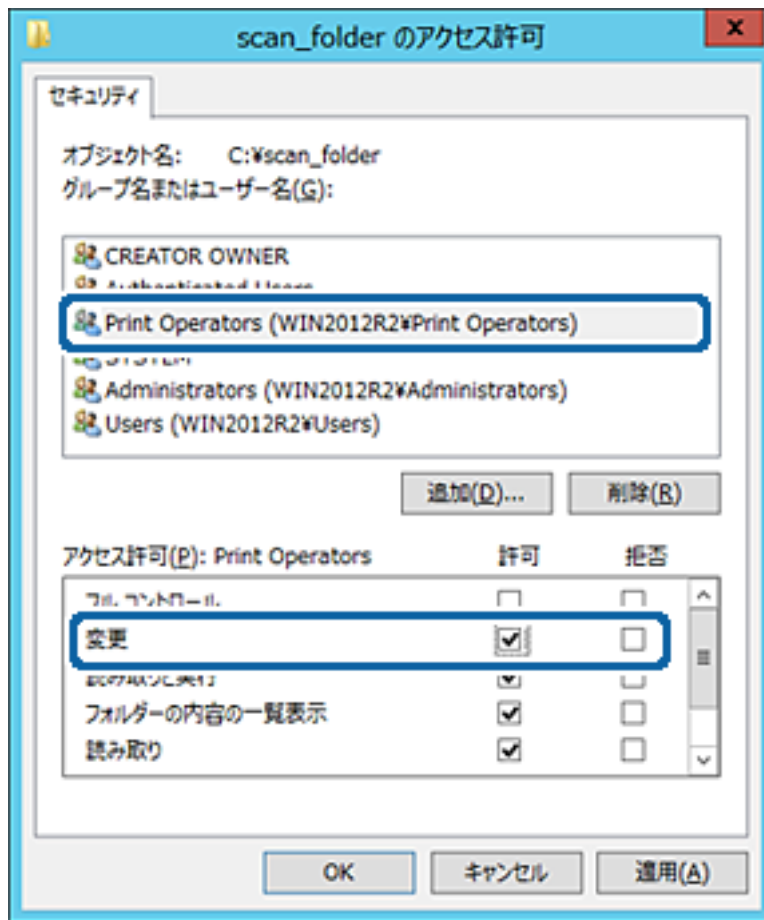
5. アクセスを許可したいグループやユーザー名を入力し、「名前の確認」をクリックします。
名前に下線が入ります。

- 参考** グループやユーザーの完全な名前がわからない場合は、名前の一部を入力して「名前の確認」をクリックしてください。名前の一部が合致するグループやユーザー名が一覧表示され、そこから選択することができます。一つだけ合致した場合は、「選択するオブジェクト名を入力してください」に下線が入った完全な名前が表示されます。



6. [OK] をクリックします。

7. アクセス許可の画面で、[グループ名またはユーザー名]に入力したユーザー名を選択して[変更]のアクセス許可にチェックを入れ、[OK]をクリックします。



8. [OK] または [閉じる] をクリックして、画面を閉じます。

アクセスを許可したユーザーまたはグループのコンピューターから、共有フォルダーにファイルが読み書きできるか確認してください。

関連情報

- ➡ [「アドレス帳を使う」 67ページ](#)

Microsoftネットワーク共有を使用する

有効にすると、以下が実現できます。

- プリンターに接続しているUSBストレージをネットワークで共有
- コンピューターの共有フォルダーにスキャン結果や受信ファクスを転送

1. Web Configで [ネットワーク] タブ - [MS Network] を選択します。
2. [Microsoftネットワーク共有を使用する] を選択します。
3. 各項目を設定します。

4. [次へ] をクリックします。
5. 設定内容を確認して[設定] をクリックします。
6. コンピューターからエクスプローラーのURL欄に以下のように入力し、Enterキーを押します。
共有名のネットワークフォルダーがあり、アクセスできるか確認してください。
¥¥プリンターのIPアドレス
設定例：¥¥192.0.2.111

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

MS Networkの設定項目

項目	説明
Microsoftネットワーク共有を使用する	MS Network共有を有効にする場合はチェックを入れます。
ファイル共有	ファイル共有の有効、無効を設定します。 以下を実行する場合は、有効にしてください。 - プリンターに接続しているUSBストレージをネットワークで共有 - コンピューターの共有フォルダーにスキャン結果や受信ファクスを転送
ユーザー認証	ネットワークからプリンターに接続されているUSBストレージへアクセスする際に、ユーザー認証をするかどうかを設定します。
ユーザー名	ユーザー認証時のユーザー名を設定します。入力できる文字は、" \ [] : ; ! = , + * ? < > @ % " を除くASCII文字で、127文字以内です。ただし、. (ピリオド) とスペースだけの単独または組み合わせの文字列は入力できません。
パスワード	ユーザー認証のパスワードを設定します。入力できる文字は、ASCII文字で64文字以内です。ただし、* (アスタリスク) 10個のみの設定はできません。
暗号化通信	暗号化通信の有効、無効を切り替えます。[ユーザー認証] が[有効] の場合に選択できます。
ホスト名	プリンターのMS Network ホスト名が表示されます。変更するには、[ネットワーク] タブ - [ネットワーク基本] の [デバイス名] を変更してください。
ワークグループ	MS Networkのワークグループ名を入力します。入力できる文字は、ASCII文字で15文字以内です。
アクセス属性	ファイル共有のアクセス属性を設定します
共有名(外部機器接続ポート)	ファイル共有時に共有名として表示されます。

アドレス帳を使う

宛先設定の概要

プリンターのアドレス帳をスキャンやファクスの宛先に利用できます。また、LDAPサーバーの情報も利用できます。

- 参考**
- プリンターのアドレス帳とLDAP検索は、プリンターの操作パネルで切り替えます。
 - メール送信機能を使うには、メールサーバーの設定が必要です。

関連情報

- ➡ [「アドレス帳の設定」 67ページ](#)
- ➡ [「LDAPサーバーと利用者を連携する」 72ページ](#)
- ➡ [「メールサーバーを設定する」 42ページ](#)

アドレス帳の設定

アドレス帳に登録できる宛先の種類は以下です。

- [ファクス] : ファクスの宛先です。
- [メール] : メールの宛先です。
- [ネットワークフォルダー (SMB)]、[FTP] : スキャンデータやファクス転送ファイルの保存先です。

設定ツールによる宛先設定機能差

アドレス帳の宛先は、Web ConfigやEpson Device Admin、プリンターの操作パネルから設定できます。ただし、設定できる項目が異なります。

機能	Web Config	Epson Device Admin	操作パネル
宛先登録	○	○	○
宛先編集	○	○	○
グループ登録	○	○	○
グループ編集	○	○	○
宛先やグループの削除	○	○	○
宛先の一括削除	○	○	-
ファイルのインポート	○	○	-
ファイルへエクスポート	○	○	-
常用の指定	○	○	○

機能	Web Config	Epson Device Admin	操作パネル
常用の並べ替え	-	-	○

参考 ファクスの宛先はFAX Utilityからも設定できます。

Web Configで宛先を登録する

参考 操作パネルからも設定できます。

1. Web Configの【スキャン/コピー】タブ、または【ファクス】タブから【アドレス帳】を選択します。
2. 登録したい番号を選択して【編集】をクリックします。
3. 設定したい宛先の【登録名】と【検索名】を入力します。
4. 設定したい宛先の【種別】を選択します。

参考 登録後は【種別】を変更できません。登録後に種別の変更をしたい場合は、宛先を削除して再登録してください。

5. 各項目を設定して、【適用】をクリックします。

関連情報

- ➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)
- ➡ [「宛先の設定項目」 69ページ](#)
- ➡ [「設定のバックアップ」 105ページ](#)

宛先の設定項目

EPSON L3110 Series

情報確認 印刷 スキャン/コピー **ファクス** ネットワーク ネットワークセキュリティ 本体セキュリティ デバイス管理 Epson Open Platform

送信設定
 >基本
 >特殊文書送信ボックス
 >ポーリング送信ボックス
 >通知ボックス

受信設定
 >基本
 >受信ファクスの処理
 >条件出力設定
 >迷惑ファクス防止設定
 >受信ボックス
 >親展ボックス

レポート設定
 印刷設定
 セキュリティ設定
アドレス帳
 お気に入り
 ユーザーデフォルト設定
 >ファクス

アドレス帳

番号: 2

登録名:

検索名:

種別:

常用指定: ☐ する ☒ しない

ファクス番号:

ファクス通信モード:

Fコード(SUB/SEP):

パスワード(SID/PWD):

項目	設定値と説明
共通設定	
登録名	アドレス帳に表示する名称をUnicode (UTF-8) で表せる30文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
検索名	検索に使われる名称をUnicode (UTF-8) で表せる30文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
種別	登録するアドレスの種別を選択します。
常用指定	チェックを付けると登録したアドレスを常用にします。常用に設定すると、ファクスやスキャンのトップ画面に表示され、アドレス帳を開かなくても宛先を指定できます。
ファクス	
ファクス番号	0～9 - * # または半角スペースを使用し、1～64文字以内で入力します。
ファクス通信モード	宛先に応じたファクス通信速度を選択します。
Fコード(SUB/SEP)	ファクス送信時に付加されるFコードを設定します。0～9 * # または半角スペースを使用し、20文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。

項目	設定値と説明
パスワード(SID/PWD)	Fコードのパスワードを設定します。0～9 * # または半角スペースを使用し、20文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
メール	
メールアドレス	A～Z a～z 0～9 ! # \$ % & ' * + - . / = ? ^ _ { } ~ @ を使用し、255文字以内の半角で入力します。# \$ % & ' * + - . / = ? ^ _ { } ~ @.
ネットワークフォルダー (SMB)	
保存先	¥¥ “フォルダーパス” 保存先フォルダーにする位置を” ¥¥ ” を除いて、Unicode (UTF-8) で表せる1～253文字以内で入力します。 ブラウザによっては、円マークがバックスラッシュで表示されることがあります。
ユーザー名	ネットワークフォルダーにアクセスするためのユーザー名をUnicode (UTF-8) で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字 (0x00～0x1f, 0x7f) を除きます。
パスワード	ネットワークフォルダーにアクセスするためのパスワードをUnicode (UTF-8) で表せる20文字以内で入力します。ただし、制御文字 (0x00～0x1f, 0x7f) を除きます。
FTP	
保存先	ftp://ホスト名"/"フォルダーパス" (ASCII (0x20-0x7E) で表せる1～253文字以内で入力します。ftp://は入力不要です。)
ユーザー名	FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名をUnicode (UTF-8) で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字 (0x00～0x1f, 0x7f) を除きます。匿名による接続を認めているサーバーではFTPやAnonymousなどを入力します。指定しない場合は空白にします。
パスワード	FTPサーバーにアクセスするためのパスワードをUnicode (UTF-8) で表せる20文字以内で入力します。ただし、制御文字 (0x00～0x1f, 0x7f) を除きます。指定しない場合は空白にします。
接続モード	メニューから接続モードを選択します。プリンターとFTPの間にファイアウォールがある場合は、[パッシブモード] を選択します。
ポート番号	FTPサーバーのポート番号を1～65535以内の数字で入力します。

関連情報

➡ [「Web Configで宛先を登録する」 68ページ](#)

宛先をグループに登録する

種別が [ファクス] や [メール] の場合、複数の宛先をまとめてグループとして登録できます。

1. Web Configの [スキャン/コピー] タブ、または [ファクス] タブから [アドレス帳] を選択します。

2. 登録したい番号を選択して「編集」をクリックします。
3. 「種別」から登録したいグループを選択します。
4. 「グループに入れる宛先」の「選択」をクリックします。
登録できる宛先が一覧表示されます。
5. グループに登録したいデータを選択して「選択」をクリックします。

EPSON **Series**

情報確認 印刷 スキャン/コピー **ファクス** ネットワーク ネットワークセキュリティ 本体セキュリティ デバイス管理 Epson Open Platform

送信設定

- 基本
- 特種文書送信ボックス
- ポーリング送信ボックス
- 通知ボックス

受信設定

- 基本
- 受信ファクスの処理
- 条件出力設定
- 迷惑ファクス防止設定
- 受信ボックス
- 転送ボックス

レポート設定
図像設定
セキュリティ設定
アドレス帳
お気に入り
ユーザーフォルト設定
ファクス

アドレス帳

グループに登録する宛先のチェックボックスにチェックをつけてください。
登録する宛先全てにチェックをつけたら「選択」を押して宛先編集ページに戻ります。
設定を反映させるには宛先編集ページで「適用」を押してください。

< 1 >

	番号	登録名	検索名	種別	宛先
☒	1	Epson Fax 001	Epson Fax 001	ファクス	000-111-2222
☒	3	Epson Fax 002	Epson Fax 002	ファクス	3333-444-5555

選択 中止

6. 「登録名」と「検索名」を入力します。
7. 登録するグループを常用にするかどうかを選択します。
参考 宛先は、複数のグループに登録できます。
8. 「適用」をクリックします。

関連情報

- ➡ 「Web Configの起動」 31ページ
- ➡ 「設定のバックアップ」 105ページ

アドレス帳のバックアップとインポート

アドレス帳は、Web Configやツールを使用してバックアップやインポートができます。

Web Configの場合、アドレス帳を含めてプリンター設定をエクスポートするとバックアップできます。バイナリーファイルでエクスポートされるので編集できません。

アドレス帳を含めてプリンター設定をインポートすると、アドレス帳を上書きします。

Epson Device Adminを使うと、デバイスのプロパティ画面からアドレス帳だけをエクスポートできます。また、パスワードなどセキュリティ項目を含めずにエクスポートするとSYLK形式やCSV形式に保存できるので、編集してからインポートできます。

LDAPサーバーと利用者を連携する

LDAPサーバーと連携すると、LDAPサーバーに登録されているアドレス情報をメールやファクスの宛先に利用できます。

関連情報

➡ [「LDAPサーバーを設定する」 72ページ](#)

LDAPサーバーを設定する

LDAPサーバーの情報を登録して、LDAPサーバーの情報を利用できるようにします。

1. Web Configで **［ネットワーク］** タブ - **［LDAPサーバー］** - **［基本］** を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. **［設定］** を選択します。

設定結果が表示されます。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

➡ [「LDAPサーバー設定項目」 73ページ](#)

LDAPサーバー設定項目

EPSON L3110 Series

情報確認 印刷 スキャン/コピー ファクス ネットワーク ネットワークセキュリティ 本体セキュリティ デバイス管理 Epson Open Platform

ネットワーク基本
無線LAN
有線LAN
Wi-Fi Direct
メールサーバー
LDAPサーバー
Kerberos設定
MS Network
Epson Connect設定
Google クラウド プリント設定

LDAPサーバー > 基本

LDAPサーバーのセキュア機能を使用するには証明書が必要です。
以下のページで設定してください。
→ 相手サーバー検証用CA証明書

LDAPサーバーを使用する: ☒ 使用する ☐ 使用しない

LDAPサーバーアドレス:

LDAPサーバーポート番号:

セキュア接続:

証明書の検証: ☒ 有効 ☐ 無効

検索タイムアウト (秒):

認証方式:

使用するKerberosレalm:

ユーザー名:

パスワード:

Kerberos認証を利用するには、[Kerberos設定]を設定してください。

設定

項目	設定値と説明
LDAPサーバーを使用する	〔使用する〕 または 〔使用しない〕 を選択します。
LDAPサーバーアドレス	LDAPサーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式で1～255文字以内で指定します。FQDN形式ではUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）が使用できます。
LDAPサーバーポート番号	LDAPサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
セキュア接続	プリンターがLDAPサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。
証明書の検証	有効にするとLDAPサーバーの証明書の正当性をチェックします。〔有効〕にすることをお勧めします。 設定するには、プリンターに〔相手サーバー検証用CA証明書〕のインポートが必要です。
検索タイムアウト (秒)	検索を開始してからタイムアウトするまでの時間 (秒) を5～300までの半角数字で入力します。

項目	設定値と説明
認証方式	認証方式を選択します。 〔Kerberos認証〕を選択する場合は、〔Kerberos設定〕を選択し、Kerberos設定をしてください。 Kerberos認証を行うには以下の環境が必要です。 • プリンターとDNSサーバーが通信できること • プリンターとKDCサーバー、認証が必要なサービスを提供するサーバー（LDAPサーバー、SMTPサーバー、ファイルサーバー）の時刻の同期が取れていること • サービスサーバーをIPアドレスで指定している場合、DNSサーバーの逆引き参照ゾーンにサービスサーバーのFQDNが登録されていること
使用するKerberosレルム	〔認証方式〕で〔Kerberos認証〕を選択した場合に、使用するKerberosレルムを選択します。
管理者DN / ユーザー名	Unicode（UTF-8）で表せる128文字以内でLDAPサーバーのユーザー名を入力します。制御文字（0x00～0x1F、0x7F）は使用できません。この項目は〔認証方式〕を〔Anonymous認証〕にすると無効になります。指定しない場合は空白にします。
パスワード	Unicode（UTF-8）で表せる128文字以内でLDAPサーバー認証のパスワードを入力します。制御文字（0x00～0x1F、0x7F）は使用できません。この項目は〔認証方式〕を〔Anonymous認証〕にすると無効になります。指定しない場合は空白にします。

関連情報

- ➡ [「LDAPサーバーを設定する」 72ページ](#)
- ➡ [「Kerberos設定」 74ページ](#)

Kerberos設定

〔Kerberos認証〕 - 〔認証方式〕の〔LDAPサーバー〕で〔基本〕を選択する場合は、〔ネットワーク〕タブ - 〔Kerberos設定〕から、以下のKerberos設定をしてください。Kerberos設定は10個まで登録できます。

項目	設定値と説明
レルム(ドメイン)	Kerberos認証のレルムをASCII（0x20～0x7E）で表せる255文字以内で指定します。登録しない場合は空白にします。
KDCアドレス	Kerberos認証サーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式（255文字以内）で指定します。登録しない場合は空白にします。
ポート番号(Kerberos)	Kerberosサーバーのポート番号を1～65535以内の数字で入力します。

LDAPサーバーの検索属性を設定する

検索属性を設定すると、LDAPサーバーに登録されているユーザーのメールアドレスやファクス番号などを利用できます。

1. Web Configで〔ネットワーク〕タブ - 〔LDAPサーバー〕 - 〔検索設定〕を選択します。

2. 各項目を設定します。
3. [設定] をクリックします。
設定結果が表示されます。

関連情報

- ➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)
- ➡ [「LDAPサーバー検索設定項目」 75ページ](#)

LDAPサーバー検索設定項目

The screenshot shows the Epson Web Config interface for the 'LDAPサーバー > 検索設定' (LDAP Server > Search Settings) page. The interface includes a top navigation bar with tabs for '情報確認', '印刷', 'スキャンコピー', 'ファクス', 'ネットワーク' (selected), 'ネットワークセキュリティ', '本体セキュリティ', 'デバイス管理', and 'Epson Open Platform'. The left sidebar contains a tree view with options like 'ネットワーク基本', '無線LAN', 'Wi-Fi Direct', 'メールサーバー', 'LDAPサーバー' (selected), 'Kerberos設定', 'MS Network', 'Epson Connect設定', and 'Google クラウド プリント設定'. The main content area is titled 'LDAPサーバー > 検索設定' and contains the following fields:

- 検索開始位置(DN):
- 検索件数上限数 (5-500): 60
- ユーザー名属性:
- ユーザー表示名属性:
- ファクス番号属性:
- メールアドレス属性:
- 任意情報属性1:
- 任意情報属性2:
- 任意情報属性3:
- 任意情報属性4:

A blue '設定' (Settings) button is located at the bottom center of the main content area.

項目	設定値と説明
検索開始位置(DN)	データベースの任意の領域など、特定の場所から検索するときに指定します。 Unicode (UTF-8) で表せる0～128文字以内で入力します。検索位置を指定しないときは空白にします。 設定例：localのserverディレクトリー：dc=server,dc=local
検索件数上限数 (5-500)	検索される数の上限を5～500以内で設定します。検索によって取得した、上限値までの件数を一時的に保存して表示します。上限値を超えると警告メッセージが表示されますが、検索は続行できます。

項目	設定値と説明
ユーザー名属性	登録名として検索するLDAPサーバーの属性名を指定します。Unicode（UTF-8）で表せる1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：cn、uid
ユーザー表示名属性	表示名として表示する属性名を指定します。Unicode（UTF-8）で表せる0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：cn、sn
ファクス番号属性	ファクス番号の検索結果として表示する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：facsimileTelephoneNumber
メールアドレス属性	メールアドレスを検索結果として表示する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：mail
任意情報属性1～任意情報属性4	LDAPサーバーにエントリーしている他の任意属性を指定します。Unicode（UTF-8）で表せる0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。任意属性でのデータ取得を行わない場合は空白にします。 設定例：o、ou

関連情報

➡ [「LDAPサーバーの検索属性を設定する」74ページ](#)

LDAPサーバーとの接続を確認する

〔LDAPサーバー〕 - 〔検索設定〕 で設定した値でLDAPサーバーとの接続テストを行います。

1. Web Configで〔ネットワーク〕タブ - 〔LDAPサーバー〕 - 〔接続確認〕を選択します。
2. 〔確認開始〕を選択します。

LDAPサーバーとの接続診断が開始されます。接続テストが終了すると結果が表示されます。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」31ページ](#)

➡ [「LDAPサーバー接続確認結果」76ページ](#)

LDAPサーバー接続確認結果

メッセージ	説明
接続に成功しました。	サーバーとの接続に成功した場合に表示されます。

メッセージ	説明
接続に失敗しました。 設定を確認してください。	以下の理由によってサーバーへの接続に失敗した場合に表示されます。 - LDAPサーバーアドレス、ポート番号などが間違っている - 通信タイムアウトが発生した 〔LDAPサーバーを使用する〕が〔使用しない〕設定になっている 〔認証方式〕に〔Kerberos認証〕を選択した場合に、Kerberos設定の〔レルム（ドメイン）〕、〔KDCアドレス〕、〔ポート番号(Kerberos)〕の設定が間違っている
接続に失敗しました。 製品、またはサーバーの日付/時刻設定を確認してください。	プリンターとLDAPサーバーの時刻設定の不一致によって接続に失敗した場合に表示されます。
サーバーの認証に失敗しました。 設定を確認してください。	以下の理由によってサーバーへの接続に失敗した場合に表示されます。 〔ユーザー名〕または〔パスワード〕が間違っている 〔認証方式〕に〔Kerberos認証〕が選択されているとき、時刻設定されていない
プリンターが処理動作中のためアクセスできません。	プリンターが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。

関連情報

➡ [「LDAPサーバーとの接続を確認する」76ページ](#)

スキャン機能を使う

コンピューターからのスキャンやプリンターの操作パネルを使ったスキャン機能を使用できるようにします。

コンピューターからスキャンするには

コンピューターからネットワークを経由したスキャンをするには、ソフトウェアをインストールして、ネットワークスキャンサービスの有効を確認してください。

関連情報

➡ [「インストールするソフトウェア」77ページ](#)

➡ [「ネットワークスキャンサービスの有効を確認する」78ページ](#)

インストールするソフトウェア

- EPSON Scan 2

スキャナードライバーです。コンピューターからスキャンする場合、クライアントコンピューターそれぞれにインストールします。Document Capture Pro/Document Captureがコンピューターにインストールされている場合、本体のボタンに割り当てられたジョブを実行できます。

EpsonNet SetupManagerを使うと、プリンタードライバーも一緒にパッケージして配布できます。

- Document Capture Pro (Windows) /Document Capture (Mac OS)
クライアントコンピューターへインストールします。ネットワーク上のDocument Capture Pro/Document Captureがインストールしてあるコンピューターに登録されたジョブを操作パネルから呼び出して実行できます。コンピューターからネットワークでスキャンもできます。スキャンするにはEpson Scan 2が必要です。

関連情報

➡ [「EpsonNet SetupManager」 133ページ](#)

ネットワークスキャンサービスの有効を確認する

クライアントコンピューターからネットワークでスキャンをするにはネットワークスキャンサービスを設定します。工場出荷時には有効に設定されています。

1. Web Configで [スキャン/コピー] タブ - [ネットワークスキャン] を選択します。
2. [EPSON Scan] の [スキャン機能を有効にする] にチェックが入っていることを確認します。
入っている場合はここで終了です。Web Configを閉じます。
入っていない場合はチェックを入れ、次の手順に進みます。
3. [次へ] をクリックします。
4. [設定] をクリックします。
ネットワークが再起動し、設定が有効になります。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

操作パネルを使ってスキャンするには

プリンターの操作パネルを使ったスキャン to フォルダー機能やスキャン to メール機能、メールやフォルダーなどへのスキャン結果の転送は、コンピューターからジョブを実行して行います。

関連情報

➡ [「サーバーやフォルダーの設定」 79ページ](#)

サーバーやフォルダーの設定

機能名	設定	設定場所	必要なもの
スキャン to フォルダー機能 (SMB)	保存フォルダーの作成と共有設定	保存先フォルダーのあるコンピュータ	保存フォルダーを作成するコンピュータへの管理者権限ユーザーアカウント
	スキャン to フォルダー (SMB) の宛先	デバイス本体のアドレス帳	保存フォルダーがあるコンピュータへログインするためのユーザー名、パスワード、保存フォルダーへの書き込みの権利
スキャン to フォルダー機能 (FTP)	FTPサーバーログイン設定	デバイス本体のアドレス帳	保存先FTPサーバーへのログイン情報、保存フォルダーへの書き込みの権利
スキャン to メール機能	メールサーバーの設定	デバイス本体	メールサーバーの設定情報
スキャン to クラウド機能	デバイス本体のEpson Connectへのプリンター登録	デバイス本体	インターネット接続環境
	Epson Connectのアドレス帳登録	Epson Connectサービス	Epson Connectサービスへのプリンター、ユーザー登録
スキャン to Document Capture Pro機能 (Document Capture Pro Serverを使用する場合)	Document Capture Proのサーバーモード設定	デバイス本体	Document Capture Pro ServerがインストールされているコンピュータのIPアドレスまたはホスト名、FQDN

関連情報

- ➡ [「メールサーバーを設定する」 42ページ](#)
- ➡ [「Document Capture Pro Serverを使う」 79ページ](#)

Document Capture Pro Serverを使う

Document Capture Pro Serverを使うと、プリンターの操作パネルからスキャンした結果の仕分けや保存形式、転送先などの処理を登録、管理できます。プリンターの操作パネルからサーバーに登録されているジョブを呼び出して実行します。

サーバーにするコンピュータにインストールします。 エプソンパートナーズネットより無償でダウンロードできます。

Document Capture Pro Serverの詳細はエプソンの問い合わせ窓口にお問い合わせください。

関連情報

- ➡ [「サーバーモードを設定する」 80ページ](#)

サーバーモードを設定する

Document Capture Pro Serverを使用するには以下の設定をします。

1. Web Configで[スキャン/コピー] タブ - [Document Capture Pro] を選択します。
2. [動作モード] を[サーバーモード] にします。
3. [サーバーアドレス] にDocument Capture Pro Serverをインストールしているサーバーを指定します。
IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式で2～252文字以内で指定します。FQDN形式ではUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）が使用できます。
4. [設定] をクリックします。
ネットワークが再起動し、設定が有効になります。

関連情報

➔ [\[Web Configの起動\] 31ページ](#)

システムの詳細を設定する

操作パネルの動作を設定する

プリンターの操作パネルに関する設定をします。以下の設定ができます。

1. Web Configで[デバイス管理] タブ - [パネル] を選択します。
2. 必要に応じて以下の項目を設定します。
 - 表示言語
操作パネルの表示言語を選択します。
 - パネルロック
[オン] にすると、操作パネルでシステム管理者権限が必要な項目は選択できなくなります。選択するにはプリンターに管理者としてログオンします。管理者パスワードを設定していないとパネルロックは無効になります。
 - 無操作タイマー設定
[オン] にすると、利用者制限の利用者またはシステム管理者としてログオンしている場合、設定した時間内に操作パネルの操作がなかったときに、自動でログオフして初期画面に移行します。
10秒～240分まで1秒単位で設定できます。

参考

プリンターの操作パネルからも設定できます。

- 表示言語：[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [言語選択/Language]
- パネルロック：[設定] - [本体設定] - [管理者用設定] - [セキュリティ設定] - [管理者設定] - [管理者ロック]
- 無操作タイマー設定：[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [無操作タイマー設定]（オン/オフのみ設定できます。）

3. [設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

無操作時の省電力設定をする

プリンターの操作パネルが一定時間操作されなかった場合に、節電モードへ移行する時間と自動で電源を切る時間を設定できます。使用する環境に合わせて時間を設定してください。

1. Web Configで[デバイス管理] タブ - [省電力] を選択します。
2. [節電移行時間] に操作パネル無操作時に節電モードへ移行する時間を設定します。



プリンターの操作パネルからも設定できます。

[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [スリープ移行時間設定]

3. [自動電源オフ時間] に電源が切れるまでの時間を選択します。ファクスを使用している場合は、[なし]を選択します。



プリンターの操作パネルからも設定できます。

[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [自動電源オフ]

4. [設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

音の設定をする

パネル操作やプリンター、ファクスの動作時の音に関する設定をします。



プリンターの操作パネルからも設定できます。

[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [音の設定]

1. Web Configで[デバイス管理] タブ - [音の設定] を選択します。
2. 必要に応じて以下の項目を設定します。
 - 通常時
[通常時] の音を設定します。

- 動作音低減モード時
[動作音低減モード] の音を設定します。
以下のいずれかがオンになっている場合に有効です。
 - プリンターの操作パネル：
[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [動作音低減モード]
[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [印刷設定] - [動作音低減モード] .
 - Web Config：
[ファクス] タブ - [受信設定] - [受信ファクスの処理] - [動作音低減モード]

3. [設定] をクリックします。

関連情報

➡ [\[Web Configの起動\] 31ページ](#)

タイムサーバーと日付/時刻を同期する

タイムサーバー（NTPサーバー）と連携すると、プリンターとネットワーク上のコンピューターとの時刻を同期できます。タイムサーバーは、組織内で運用している場合やインターネット上に公開している場合があります。CA証明書やKerberos認証を使っている場合、連携すると時間に関するトラブルを防ぐことができます。

1. Web Configで [デバイス管理] タブ - [日付/時刻] - [タイムサーバー] を選択します。
2. [タイムサーバーを使用する] を [使用する] にします。
3. [タイムサーバーアドレス] にタイムサーバーのアドレスを入力します。
IPv4、IPv6アドレスまたはFQDNが使用できます。252文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
4. [更新間隔（分）] を入力します。
1分単位で10,800分まで設定できます。
5. [設定] をクリックします。



[タイムサーバーステータス] でサーバーとの接続状態を確認できます。

関連情報

➡ [\[Web Configの起動\] 31ページ](#)

スキャン、コピーの標準値を設定する（ユーザーデフォルト設定）

機能ごとに標準値を設定できます。
標準値を設定できるのは以下の機能です。

- スキャン to フォルダー 機能
- スキャン to メール 機能

- スキャン to 外部メモリー 機能
- スキャン to クラウド 機能
- コピー
- ファクス

1. Web Configの［スキャン/コピー］タブ - ［ユーザーデフォルト設定］から標準値を設定する機能を選択します。

ファクスのユーザーデフォルト設定は［ファクス］タブ - ［ユーザーデフォルト設定］を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. 〔設定〕をクリックします。

無効の組み合わせの設定値があった場合は、設定できる組み合わせに自動修正されます。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

Epson Connectサービスを使う

インターネットを利用したEpson Connect（エプソン コネクト）サービスを使うと、コンピューターやスマートデバイスからいつでもどこからでも印刷できます。

インターネットを利用したサービスは以下の通りです。

メールプリント	Epson iPrint リモートプリント	スキャン to クラウド機能	リモートプリントドライバー
✓	✓	✓	✓

詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

Epson Open Platformを利用する

Epson Open Platformの概要

認証システムのサーバーが提供する機能を、エプソン製プリンターで利用するためのプラットフォームです。

サーバーと連携してデバイスや利用者別の履歴の取得、利用者や所属ごとに使用できるデバイス、機能の制限を設定できます。Epson Print Admin（エプソン製認証システム）や他社製の認証システムで利用できます。

認証装置を接続するとIDカードを利用したユーザー認証もできます。

Epson Open Platformを設定する

Epson Open Platformを有効にして認証システムからデバイスを使用できるようにします。

1. Web Configで[Epson Open Platform] タブ - [プロダクトキー] を選択します。
2. 各項目を設定します。
 - 製造番号
デバイスの製造番号が表示されます。
 - Epson Open Platformバージョン
Epson Open Platformのバージョンを選択します。認証システムによって対応するバージョンが異なります。
 - プロダクトキーの入力
専用のWebサイトから取得したプロダクトキーを入力します。プロダクトキーの取得方法などの詳細はEpson Open Platformのマニュアルをご覧ください。
3. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
4. [設定] をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

認証装置を設定する

[デバイス管理] タブ - [認証装置] から認証システムで使用する認証装置の設定ができます。
詳細は認証システムのマニュアルをご覧ください。

本体のセキュリティ編

この章では、デバイス本体のセキュリティ設定について説明しています。

本体のセキュリティ機能の紹介

エプソンデバイスのセキュリティ機能を紹介します。

機能名	どんな機能が	何を設定するのか	何を防止できるのか
管理者パスワードの設定	ネットワークやUSBの接続設定、ファクスの送受信や転送の詳細設定、ユーザーデフォルト設定など、システムに関わる設定をロックし、管理者以外は変更ができないようにします。	システム管理者がデバイスにパスワードを設定します。 Web Config、操作パネルのどちらからも設定や変更ができます。 また、パスワードポリシーを設定して管理者パスワードの要件を設定できます。	デバイスに保持されているIDやパスワード、ネットワーク設定、アドレス帳等の情報が不正に参照または変更されるのを防ぎます。また、ネットワーク環境やセキュリティポリシー、またはそれらに類する情報の漏えいなど、広範囲のセキュリティリスクにつながる危険性を低減します。
利用者制限設定	利用者ごとに印刷、スキャン、コピー、ファクスなどデバイスで利用できる機能を制限します。あらかじめ登録したユーザーアカウントでログインした場合に、特定の機能の使用を許可します。 また、操作パネルからのログイン後、一定時間操作がないと自動でログオフされます。	任意のユーザーアカウントを登録し、コピーやスキャンなど許可する機能を選択します。 ユーザーアカウントは10件まで登録できます。	利用者の業務内容や役割に応じた最小限の機能を許可することで、文書データの漏えいや不正閲覧のリスクが低減できます。
外部インターフェイス設定	USBポートやNFCポートなどデバイスへ接続するインターフェイスを制御できます。	USBメモリーなど外部機器を接続するUSBポート、NFC、コンピュータとのUSB接続の有効、無効を設定します。	- USBポート制御：機密文書の不正スキャンによるデータ持ち出しが低減できます。 - NFC：NFCを使った不正な印刷を防止できます。 - コンピュータのUSB接続：ネットワークを経由しない印刷やスキャンを禁止することで、デバイスの不正使用を防止できます。
保存データの処理設定	本体に内蔵のハードディスクに一時的に保存されているジョブデータを自動的に消去します。また、ハードディスクに保存されている全てのデータを安全に消去できます。	ジョブが終了した時点で逐次自動消去するかどうか設定します。またデバイスを廃却するような場合に全消去を実行します。	特定パターンで上書きすることで、万一ハードディスクが取り出されたとしても、データを復元しての使用を防止できます。

関連情報

- ➡ [「Web Configの概要」 30ページ](#)
- ➡ [「EpsonNet Config」 131ページ](#)
- ➡ [「管理者パスワードの設定」 86ページ](#)
- ➡ [「利用できる機能を制限する」 94ページ](#)
- ➡ [「外部インターフェイスを無効にする」 96ページ](#)

管理者パスワードの設定

管理者パスワードを設定すると、プリンターのユーザーがシステム管理に関する設定を変更することを防ぎます。管理者パスワードはWeb Config、操作パネル、ソフトウェア（Epson Device Admin）のいずれからでも設定、変更ができます。ツールの操作方法についてはそれぞれのマニュアルをご覧ください。

関連情報

- ➡ [「操作パネルから管理者パスワードを設定する」 86ページ](#)
- ➡ [「Web Configから管理者パスワードを設定する」 87ページ](#)
- ➡ [「Epson Device Admin」 131ページ](#)

操作パネルから管理者パスワードを設定する

プリンターの操作パネルから管理者パスワードを設定します。

参考 パスワードポリシーを設定している場合は、その要件を満たすパスワードを入力してください。
パスワードポリシーは【設定】 - 【本体設定】 - 【管理者用設定】 - 【セキュリティー設定】 - 【パスワードポリシー】で設定できます。

1. プリンターの操作パネルで【設定】をタップします。
2. 【本体設定】 - 【管理者用設定】 - 【セキュリティー設定】の順にタップします。
3. 【管理者設定】をタップします。
4. 【管理者パスワード】 - 【新規設定】の順にタップします。
5. 任意のパスワードを入力して、【OK】をタップします。
6. パスワードを再入力して、【OK】をタップします。
7. 確認画面で【OK】をタップします。
管理者設定画面に戻ります
8. 【管理者ロック】をタップし、確認画面で【OK】をタップします。

- 参考** 管理者パスワードは、[管理者パスワード] から [変更] または [設定クリア] を選択して、管理者パスワードを入力すると変更や削除ができます。

Web Configから管理者パスワードを設定する

Web Configを使って管理者パスワードを設定します。

- 参考** パスワードポリシーを設定している場合は、その要件を満たすパスワードを入力してください。
パスワードポリシーは [本体セキュリティ] タブ - [パスワードポリシー] で設定できます。

1. Web Configの [本体セキュリティ] タブから [管理者パスワード変更] を選択します。
2. [新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認] にパスワードを入力します。必要に応じてユーザー名を入力します。

パスワードを変更するには、現在のパスワードを入力します。

3. [設定] を選択します。

- 参考**
- ロックされている項目を設定、変更するには [管理者ログオン] をクリックして管理者パスワードを入力します。
 - 管理者パスワードを削除するには、[本体セキュリティ] タブ - [管理者パスワード削除] をクリックして管理者パスワードを入力します。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

パネル操作を制限する

管理者パスワードを設定してパネルの管理者ロックを有効にすると、プリンターのシステム設定に関する項目をユーザーが変更できないようにロックできます。

本体設定メニューの管理者ロック項目

管理者ロックによって操作パネルの「設定」 - 「本体設定」メニュー内でパネルロックされる項目一覧です。
一部機能は個別に有効、無効を設定できます。

本体設定 メニュー		パネルロック
基本設定		×
	画面の明るさ設定	×
	音の設定	×
	ADF重送検知	○*1
	スリープ移行時間設定	○
	スリープ復帰方法	×
	自動電源オフ	○
	日付/時刻設定	○
	言語選択/Language	○*1
	初期モード	○
	ホーム画面編集	○
	ホーム背景色設定	○
	コピー画面編集	○
	無操作タイマー設定	○
	カラー印刷枚数カウント警告	○
	キーボード	×
	ジョブ/状態の初期画面	○
	画面切替効果	○
プリンター設定		×

本体のセキュリティー編

本体設定 メニュー		パネルロック
	給紙装置設定	×
	排紙先：コピー	○
	排紙先：ファクス	○
	排紙先：その他(印刷全般)	○
	印刷言語	○
	外部機器(PC)印刷設定	○
	PDL印刷設定	○
	自動エラー解除	○
	外部メモリー設定	○
	こすれ軽減	○*1
	動作音低減モード	○*1
	印刷速度優先	○*1
	コンピューターのUSB接続	○
	USB I/Fタイムアウト時間設定	○
ネットワーク設定		○

本体のセキュリティー編

本体設定 メニュー			パネルロック
	無線LAN接続設定		○
	有線LAN接続設定		○
	ネットワーク情報		○
		有線・無線接続状態	○*2
		Wi-Fi Direct接続状態	○*2
		メールサーバー設定情報	○*2
		ステータスシート印刷	○*2
	接続診断		○*3
	詳細設定		○
		デバイス名	○
		TCP/IP	○
		プロキシサーバー	○
		メールサーバー	○
		IPv6アドレス	○
		MS Network共有	○
		NFC	○
		Link Speed & Duplex	○
		HTTPをHTTPSにリダイレクト	○
		IPsec/IPフィルタリングの無効化	○
		IEEE802.1Xの無効化	○
Webサービス設定			○
	Epson Connect設定		○
	Google クラウド プリント設定		○
ファクス設定			○

本体のセキュリティ編

本体設定 メニュー		パネルロック
	ユーザー設定	○
	基本設定	○
	送信設定	○
	受信設定	○
	レポート設定	○
	セキュリティ設定	○
	ファクス診断	○
	ファクス設定ウィザード	○
スキャン設定		○
	初期表示	○
	クイック操作ボタン	○
	読み取り前宛先確認	○
	Document Capture Pro設定	○
	メールサーバー	○
管理者用設定		○

本体のセキュリティー編

本体設定 メニュー			パネルロック
	アドレス帳管理		○
		アドレス帳登録・変更	○*1*4
		常用管理	○*4
		アドレス帳印刷	○
		アドレス帳表示方法設定	○*4
		アドレス帳検索設定	○*4
	プリントヘッドのクリーニング設定		○
	コピーカラー判定		○
	内部メモリーデータ削除		○
	HDD消去設定		○
	セキュリティー設定		○
		機能制限	○
		利用者制限	○
		管理者設定	○
		管理者パスワード	○
			○
		パスワードポリシー	○
		監査ログ	○
		起動時のプログラム検証	○
	初期設定に戻す		○
	ファームウェアのアップデート		○
	メンテナンス・サービス機能		○

○=ロックされます。

- =ロックされません。

*1 : [本体設定] - [管理者用設定] - [セキュリティー設定] - [機能制限] でロックをオン/オフできます。

*2 : 管理者ロックで上位階層がロックされますが、[設定] - [情報確認/印刷] 内の同名メニューから操作できます。

*3 : 管理者ロックで上位階層がロックされますが、ホーム画面 -   - [接続方法の説明] - [ネットワークにつながらないときは] 内の同名メニューから操作できます。

*4 : 管理者ロックで上位階層がロックされますが、[設定] - [アドレス帳管理] 内の同名メニューから操作できます。

関連情報

➡ [「本体設定 - 管理者用設定メニューの説明」151ページ](#)

➡ [「個別に制御できる項目」 93ページ](#)

その他の管理者ロック項目

本体設定メニュー以外で管理者ロックが有効になるメニューは以下の通りです。

- お気に入り
 - 新規登録
 - 削除
 - 名称変更
 - ホーム画面へのショートカット登録/削除
 - お気に入りからのユーザー設定変更
- [設定] - [ユーザー設定]

関連情報

➡ [「お気に入りに登録する」 105ページ](#)

➡ [「ユーザー設定メニューの説明」 156ページ](#)

表示や機能を個別に制御する

管理者ロックの対象項目の一部は、個別に有効、無効が設定できます。

アドレス帳の登録や変更、ジョブ履歴の表示など、必要に応じてユーザーが情報を操作することができるようになります。

1. プリンターの操作パネルで[設定]を選択します。
2. [本体設定] - [管理者用設定] - [セキュリティ設定]の順に選択します。
3. [機能制限]を選択します。
4. 設定を変更したい機能の項目を選択し、[オン]または[オフ]にします。

個別に制御できる項目

以下の項目は、個別に管理者が表示や設定変更を許可できます。

- ジョブ履歴表示：[ジョブ/状態] - [履歴]
ステータスマニターのジョブ履歴の表示を制御します。[オン]にするとジョブ履歴表示を許可します。
- アドレス帳の登録・変更許可：[設定] - [アドレス帳管理] - [アドレス帳登録・変更]
アドレス帳の登録、変更を制御します。[オン]にすると登録や変更ができるようになります。
- ファクスの宛先履歴表示：[ファクス] - [宛先] - [宛先履歴]
ファクスの発信、着信の宛先の表示を制御します。[オン]にすると宛先を表示します。

- ファクスの通信履歴表示：[ファクス] - [メニュー] - [通信履歴表示]
ファクスの通信履歴の表示を制御します。[オン] にすると通信履歴を表示します。
- ファクスのレポート印刷許可：[ファクス] - [メニュー] - [ファクスレポート印刷]
ファクスのレポートの印刷を制限します。[オン] にすると印刷が許可されます。
- スキャン to フォルダー機能 保存履歴の印刷許可：[スキャン] - [フォルダー] - [メニュー] - [保存履歴の印刷]
スキャン to フォルダー機能の保存履歴の印刷を制限します。[オン] にすると履歴の印刷が許可されます。
- スキャン to メール機能 宛先履歴表示：[スキャン] - [メール] - [宛先] - [履歴]
スキャン to メール機能の履歴の表示を制御します。[オン] にすると履歴を表示します。
- スキャン to メール機能 送信履歴表示：[スキャン] - [メール] - [メニュー] - [送信履歴の表示]
スキャン to メール機能のメール送信履歴の表示を制御します。[オン] にすると送信履歴を表示します。
- スキャン to メール機能 送信履歴の印刷許可：[スキャン] - [メール] - [メニュー] - [送信履歴の印刷]
スキャン to メール機能のメール送信履歴の印刷を制限します。[オン] にすると履歴の印刷が許可されます。
- 言語選択の変更許可：[設定] - [言語選択/Language]
操作パネルの表示言語の変更を制御します。[オン] にすると言語変更できるようになります。
- こすれ軽減の変更許可：[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [こすれ軽減]
こすれ軽減の設定変更を制御します。設定を変更する場合は[オン] を選択します。
- 動作音低減モードの変更許可：[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [動作音低減モード]
動作音低減モードの設定変更を制御します。設定を変更する場合は[オン] を選択します。
- 印刷速度優先の変更許可：[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [印刷速度優先]
印刷速度優先の設定変更を制御します。設定を変更する場合は[オン] を選択します。
- ADF重送検知の変更許可：[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [重送検知]
重送検知の設定変更を制御します。設定を変更する場合は[オン] を選択します。
- 宛先情報の保護：
短縮ダイヤル登録にある宛先情報の表示を制御します。[オン] にすると宛先が伏字（***）で表示されます。
- コピー排紙先設定の変更許可：[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [排紙先：コピー]
コピーの出力先の設定変更を制御します。設定を変更する場合は[オン] を選択します。
- 電源オフの許可：
プリンターの電源オフの許可を制御します。電源オフを制限する場合は[オン] を選択します。

関連情報

➡ [「その他の管理者ロック項目」93ページ](#)

利用できる機能を制限する

プリンターにユーザーアカウントを登録して機能と紐付け、ユーザーが利用できる機能を制御できます。
利用制限を有効にした場合、ユーザーは操作パネルからパスワードを入力してログオンするとコピーやファクスなどプリンター上の機能が利用できるようになります。
ユーザーが利用できない機能は選択できなくなります。
コンピューターからは、プリンタードライバーやスキャナードライバーに認証情報を登録すると印刷やスキャンができるようになります。ドライバーの設定方法はドライバーのヘルプやマニュアルをご覧ください。

利用制限を設定する

利用者制限を利用するためにユーザーアカウントを作成して利用者制限機能を有効にします。

ユーザーアカウントを作成する

利用者制限のアカウントを作成します。

1. Web Configで【本体セキュリティ】タブ - 【利用者制限設定】 - 【ユーザー設定】を選択します。
2. 登録する番号の【登録】をクリックします。

！重要 エプソン製や他社製の認証システムでプリンターを利用する場合、利用者制限設定のユーザー名は2番～10番に登録してください。
1番は認証システムなどアプリケーションソフトが使用するので、プリンターのパネルにユーザー名が表示されません。

3. 各項目を設定します。
 - ユーザー名：
ユーザー名一覧への表示名を半角英数字を使って1～14文字以内で入力します。
 - パスワード：
ASCII (0x20-0x7E)の20文字以内で入力します。パスワードを初期化する場合は空白にします。
 - 以下の機能の使用を許可する。
使用を許可する機能にチェックを付けます。

参考 パスワードポリシーを設定している場合は、その要件を満たすパスワードを入力してください。
パスワードポリシーは【本体セキュリティ】タブ - 【パスワードポリシー】で設定できます。

4. 【適用】をクリックします。
一定時間経つとユーザー設定の一覧へ戻ります。
【ユーザー名】に登録したユーザー名が表示されていて、【登録】が【編集】に変わったことを確認してください。

ユーザーアカウントを編集する

登録した利用者制限のアカウントを編集します。

1. Web Configで【本体セキュリティ】タブ - 【利用者制限設定】 - 【ユーザー設定】を選択します。
2. 編集する番号の【編集】をクリックします。
3. 内容を変更します。
4. 【適用】をクリックします。
一定時間経過するとユーザー設定の一覧へ戻ります。

ユーザーアカウントを削除する

登録した利用者制限のアカウントを削除します。

1. Web Configで【本体セキュリティ】タブ - 【利用者制限設定】 - 【ユーザー設定】を選択します。
2. 削除する番号の【編集】をクリックします。
3. 【削除】をクリックします。

！重要 【削除】をクリックすると、確認メッセージなしでユーザーアカウントが削除されます。削除は慎重に行ってください。

一定時間経過するとユーザー設定の一覧へ戻ります。

利用者制限を有効にする

利用者制限を有効にすると設定したユーザーアカウント以外でプリンターを使用できなくなります。

1. Web Configで【本体セキュリティ】タブ - 【利用者制限設定】 - 【基本】を選択します。
2. 【利用者制限を有効にする】にチェックを付けます。
【認証情報の無い印刷/スキャンを許可する】にチェックを付けると、認証情報を設定できない、または設定していないドライバーからの印刷やスキャンができるようになります。パネルからの操作だけを制限して、コンピューターからの印刷やスキャンを許可するような場合に設定してください。
3. 【設定】をクリックします。
一定時間経過すると設定終了のメッセージが表示されます。
プリンターの操作パネルでコピーやスキャンなどのアイコンが選択できない状態になっていることを確認してください。

外部インターフェイスを無効にする

プリンターにデバイスを接続するインターフェイスを無効にできます。ネットワーク経由以外の印刷やスキャンを制限する場合に設定します。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。

- 外部メモリー：【設定】 - 【本体設定】 - 【プリンター設定】 - 【外部メモリー】
- NFC：【設定】 - 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【詳細設定】 - 【NFC】
- コンピューターのUSB接続：【設定】 - 【本体設定】 - 【プリンター設定】 - 【コンピューターのUSB接続】

1. Web Configで【本体セキュリティ】タブ - 【外部インターフェイス】を選択します。
2. 制限したい機能で【無効】を選択します。
制限を解除する場合は【有効】を選択してください。

- 外部メモリー
外部機器接続用USBポートを経由する外部メモリーへのデータ保存を禁止します。
- NFC
操作パネルに内蔵されているNFCインターフェイスを使用不可にします。
- コンピューターのUSB接続
コンピューターからのUSB 接続を制限できます。制限する場合は「無効」に設定します。

3. 「設定」をクリックします。

4. 無効にしたポートが使用できなくなっているか確認します。

- 外部メモリー
USBメモリーなどストレージを外部機器接続用USBポートに接続し、反応がないことを確認します。
- NFC
スマートフォンなどNFC機能のあるデバイスをかざし、反応がないことを確認します。
- コンピューターのUSB接続
確認するコンピューターにドライバーがインストールされている場合：
プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続し、印刷やスキャンができないことを確認します。
確認するコンピューターにドライバーがインストールされていない場合：
Windows)
デバイスマネージャーを表示したままプリンターをコンピューターにUSBケーブルで接続し、デバイスマネージャーの表示内容が変化しないことを確認します。
Mac OS)
プリンターをコンピューターにUSBケーブルで接続し、「プリンターとスキャナー」からプリンターを追加しようとしてもプリンターがリストに表示されないことを確認します。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

保存データの処理設定

内蔵ハードディスクに保存されているデータの処理を設定します。

本機は認証印刷や大量のコピー、スキャン、印刷などのデータを扱うために、一時的にハードディスクにこれらのジョブを保存しています。これらのデータを安全に消去する設定をします。

HDD逐次消去

有効にすると、印刷やスキャンが終了するなど、対象のデータが不要になったときに逐次消去されます。
ハードディスクへのアクセスが必要なので省電力モードに入る時間が遅くなります。

メモリー全消去

ハードディスク内の全データを消去します。実行中は他の操作や、プリンターの電源を切ることができません。

- 高速：専用の消去コマンドによって全データを消去します。
- 上書き：専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを上書きして全データを消去します。

ハードディスクの逐次消去を設定する

 デバイスの操作パネルからも設定できます。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ - ［保存データの処理］を選択します。
2. ［HDD逐次消去］を［オン］にします。
3. ［設定］をクリックします。

内蔵ハードディスクをフォーマットする

1. プリンターの操作パネルのホーム画面から［設定］をタップします。
2. ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［HDD消去設定］の順にタップします。
3. ［メモリー全消去］をタップします。
4. 目的に応じて［高速］または［上書き］をタップします。
5. 確認画面で［はい］をタップします。
6. 確認画面で［OK］をタップします。

運用・管理編

この章では、デバイスの日常的な運用や管理に関わる事項を説明しています。

管理者としてプリンターにログオンする

プリンターに管理者パスワードを設定している場合、ロックされている項目を操作するには管理者としてプリンターにログオンする必要があります。

操作パネルからプリンターにログオンする

1.  をタップします。
2. [管理者] をタップします。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. [OK] をタップします。

認証されると画面に  が表示され、ロックされているメニュー項目が操作できるようになります。

ログオフするには  をタップします。

参考 [設定] - [本体設定] - [基本設定] - [無操作タイマー設定] を [オン] にすると、一定時間操作パネルを操作しない場合に自動でログオフします。

Web Configで管理者としてログオンする

管理者としてWeb Configにログオンすると、管理者ロックされている項目を操作できます。

1. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。
2. [管理者ログオン] をクリックします。
3. [ユーザー名] と [現在のパスワード] にユーザー名と管理者パスワードを入力します。
4. [確認] をクリックします。

認証されるとロックされている項目が表示され、[管理者ログオフ] が表示されます。
ログオフするには [管理者ログオフ] をクリックします。

参考 [デバイス管理] タブ - [パネル] - [無操作タイマー設定] を [オン] にすると、一定時間操作パネルを操作しない場合に自動でログオフします。

プリンターの情報を確認する

操作パネルから情報を確認する

操作パネルから以下の情報の確認や印刷ができます。

- 印刷ページ数
[設定] - [印刷ページ数の確認]
印刷総ページやカラー、モノクロ印刷のページ数を確認できます。
- 消耗品
[設定] - [消耗品情報]
インクやメンテナンスボックスの情報を確認できます。
- 本体ステータスシート
[設定] - [情報確認/印刷] - [本体ステータスシートの印刷]
プリンター情報や消耗品情報などのステータスシートを印刷できます。
- ネットワーク情報
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報]
[設定] - [情報確認/印刷] - [ネットワーク]
ネットワーク接続状態、メールサーバー設定などの確認とステータスシートの印刷ができます。
- ネットワーク接続診断レポート
[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [接続診断]
ホーム画面の  |  - [接続方法の説明] - [ネットワークにつながらないときは]
プリンターのネットワーク接続状況を診断し、レポートの印刷ができます。
- ネットワーク接続状況
ホーム画面の  |  - [ルーター]
有線・無線の接続状況が確認できます。

Web Configから情報を確認する

Web Configの [情報確認] から、以下の情報を確認できます。

- 製品情報
言語、ステータス、クラウドサービス、製造番号、MACアドレスなどが確認できます。
- ネットワーク情報
ネットワーク接続状態、IPアドレス、DNSなどネットワークに関する情報が確認できます。
- メンテナンス情報
初回印刷日、インク交換回数、印刷面数、言語別印刷数、スキャン回数などを確認できます。
- ハードウェア情報
無線LANなど各機能のステータスを確認できます。
- ジョブ履歴
印刷ジョブ、受信ジョブ、送信ジョブの履歴を確認できます。
- パネルのスナップショット
デバイスの操作パネルに表示されている画面イメージのスナップショットを表示します。

イベント発生時にメール通知を受け取る

メール通知の概要

印刷の停止やプリンターエラーなど、プリンターにイベントが発生したときに、指定したアドレスにメールで通知する機能です。

宛先は5つまで登録でき、それぞれに受け取りたい通知を設定できます。

この機能を使うには、設定前にメールサーバーの設定が必要です。

関連情報

➡ [「メールサーバーを設定する」42ページ](#)

メール通知を設定する

Web Configを使ってメール通知の設定をします。

1. Web Configで【デバイス管理】タブ - 【メール通知】を選択します。
2. 通知メールを送信するメールアドレスを入力します。
A-Z a-z 0-9 ! # \$ % & ' * + - . / = ? ^ _ { | } ~ @,を使用し、255文字以内で入力します。
3. メール通知の言語を選択します。
4. 通知を受け取りたいイベントの行で、通知する宛先番号と重なるチェックボックスにチェックを付けます。
[通知設定] の番号は [宛先設定] の宛先の番号に対応しています。
設定例：

用紙がなくなった場合の通知を「宛先設定」の1に設定したアドレスに送信したいときは、「用紙なし」の行にある「1」の列のチェックボックスにチェックを付けます。

メール通知

メール通知を使用するには事前にメールサーバー設定を行ってください。

宛先設定

設定された宛先に、選択した言語のメールを送信します。

1:	Admin@AAA.com	日本語
2:	General@AAA.com	日本語
3:		日本語
4:		日本語
5:		日本語

通知設定

チェックを付けた項目の状態のときにメールを送信します。

	1	2	3	4	5
インク残量限界値以下	☒	☐	☐	☐	☐
インク残量少	☒	☒	☐	☐	☐
メンテナンスボックス空き容量なし	☒	☐	☐	☐	☐
メンテナンスボックス空き容量少	☒	☒	☐	☐	☐
管理者パスワード変更	☒	☐	☐	☐	☐
用紙なし	☐	☒	☐	☐	☐
用紙残量少	☒	☐	☐	☐	☐
印刷停止 (※)	☒	☐	☐	☐	☐
プリンターエラー	☒	☐	☐	☐	☐
スキャナーエラー	☒	☐	☐	☐	☐
ファクスエラー	☒	☐	☐	☐	☐
無線LAN故障	☒	☐	☐	☐	☐
WiFiの検出	☒	☐	☐	☐	☐

設定 購入時の設定に戻す

5. 「設定」をクリックします。

何らかのイベントを作って、メール通知が送信されることを確認してください。

設定例：用紙をセットしていない給紙方法を指定して印刷

関連情報

- ➡ 「Web Configの起動」 31ページ
- ➡ 「メールサーバーを設定する」 42ページ

メール通知の設定項目

項目	設定値と説明
インク残量限界値以下	インク残量が限界値以下になった場合に通知します。
インク残量少	インク残量が限界値に近づいた場合に通知します。
メンテナンスボックス空き容量なし	メンテナンスボックスがいっぱいになった場合に通知します。
メンテナンスボックス空き容量少	メンテナンスボックスがいっぱいになる手前で通知します。

項目	設定値と説明
管理者パスワード変更	管理者パスワードが変更された場合に通知します。
用紙なし	印刷指定の給紙装置で用紙なしエラーが発生した場合に通知します。
用紙残量少	印刷指定の給紙装置で用紙がなくなる手前で通知します。
印刷停止（※）	紙詰まり、用紙カセットがセットされていない場合など、印刷が停止したときに通知します。
プリンターエラー	プリンターエラーが発生した場合に通知します。
スキャナーエラー	スキャナーエラーが発生した場合に通知します。
ファクスエラー	ファクスエラーが発生した場合に通知します。
無線LAN故障	無線LANインターフェイスにエラーが発生した場合に通知します。
HDD故障	内蔵ハードディスクにエラーが発生した場合に通知します。
NFC故障	NFCの基板に関するエラーが発生した場合に通知します。

ファームウェアのアップデート

新しいファームウェアがある場合、プリンターのファームウェアをアップデートすると、機能が向上したり、不具合が解消されたりします。

操作パネルを使ってプリンターのファームウェアをアップデートする

プリンターがインターネットに接続できると、操作パネルでプリンターのファームウェアをアップデートできます。ファームウェアがあるかどうかを定期的に確認して、ある場合には通知するようにも設定できます。

1. ホーム画面で【設定】を選択します。
2. 【本体設定】 - 【管理者用設定】 - 【ファームウェアのアップデート】 - 【アップデート】の順に選択します。
 新しいファームウェアがあるかどうか定期的に確認したいときは、【定期通知設定】 - 【オン】の順に選択します。
3. 【確認開始】を選択します。
 新しいファームウェアがあるかどうか確認が始まります。

- 新しいファームウェアが見つかったというメッセージが表示されたら、画面の指示に従ってファームウェアを更新します。

！重要

- 更新中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。プリンターが故障するおそれがあります。
- ファームウェアの更新に失敗すると、次回電源を入れたときに「Recovery Mode」（リカバリーモード）と表示され、プリンターが動かなくなります。コンピューターからファームウェアの更新をし直してください。

リカバリーモードになるとネットワーク接続での更新ができないため、以下の手順で作業してください。

1. エプソンのウェブサイトからファームウェアをダウンロードする
2. コンピューターとプリンターをUSBケーブルで接続する
3. ファームウェアを更新する

<http://www.epson.jp/support/>

詳しくはダウンロードページの「ファームウェアのアップデート方法」をご覧ください。

Web Configでファームウェアをアップデートする

プリンターがインターネットに接続できると、Web Configからファームウェアをアップデートできます。

1. Web Configで【デバイス管理】タブ - 【ファームウェアアップデート】を選択します。

2. 【確認開始】をクリックします。

ファームウェアの確認が始まり、更新されたファームウェアがあるとファームの情報が表示されます。

3. 【開始】をクリックし、画面の案内に従って操作します。

**参考**

Epson Device Adminを使ってもファームウェアをアップデートできます。デバイス一覧でファームウェアの情報が確認ができます。この方法は、複数のデバイスのファームウェアをアップデートするのに便利です。詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

- ➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)
- ➡ [「Epson Device Admin」 131ページ](#)

プリンターをインターネットに接続しないでファームウェアをアップデートする

コンピューターでエプソンのウェブサイトから機種用のファームウェアをダウンロードし、USBケーブルで接続してアップデートすることもできます。ネットワーク経由でアップアップデートができない場合に、この方法をお使いください。

1. エプソンのウェブサイトアクセスして、ファームウェアをダウンロードします。

www.epson.jp/support/

2. ファームウェアをダウンロードしたコンピューターとプリンターをUSBケーブルで接続します。

3. ダウンロードしたexeファイルをダブルクリックします。

Epson Firmware Updaterが起動します。

4. この後は、画面の指示に従って操作します。

お気に入りに登録する

スキャンやコピー、ファクス機能などの設定値を、名前を付けて保存できます。ここで登録した設定は、プリンターの操作パネルの「お気に入り」に表示されます。あらかじめ、それぞれの機能が使用できるよう設定してから登録してください。

設定を保存できる機能は以下の通りです。

- スキャン to フォルダー 機能
- スキャン to メール 機能
- スキャン to 外部メモリー 機能
- スキャン to クラウド 機能
- コピー
- ファクス

1. Web Configの「スキャン/コピー」タブ、または「ファクス」タブから「お気に入り」を選択します。

2. 登録する番号を選択し、「編集」をクリックします。

3. 「種別」を選択します。

 登録後に「種別」を変更したい場合は、登録した番号の項目を削除して、登録をやり直してください。

4. 「次へ」をクリックします。

5. 各項目を設定します。

「登録名」はUnicode（UTF-8）を使って、1～30文字以内で入力します。

6. 「設定」をクリックします。

無効な組み合わせの設定値があった場合は、設定できる組み合わせに自動修正されます。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

設定のバックアップ

Web Configで設定した設定値をファイルにエクスポートできます。アドレス帳や設定値のバックアップ、プリンターの置き換え時などに利用できます。

バイナリーファイルでエクスポートされるので編集できません。

設定をエクスポートする

プリンターの設定値をエクスポートします。

1. Web Configで【デバイス管理】タブ - 【設定のエクスポート/インポート】 - 【エクスポート】を選択します。
2. エクスポートしたい設定を選択します。
チェックが付いた項目の設定値がエクスポートされます。親のカテゴリを選択すると、子のカテゴリが同時に選択されます。ただし、IPアドレスなどネットワーク内に同じ設定値が複数あるとエラーになる項目は選択できないようになっています。
3. エクスポートファイルを暗号化するために任意のパスワードを入力します。
ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は空白にします。
4. 【エクスポート】をクリックします。

！重要 デバイス名やIPv6アドレスなどのネットワーク情報を含めてエクスポートしたいときは【本体ごとの個別設定を選択可能にする】にチェックを付けて、項目を選択してください。なお、この項目をチェックしてから選択した設定値は、プリンターの置き換え時のみにお使いください。

関連情報

➔ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

設定をインポートする

Web Configの設定ファイルをプリンターにインポートします。

！重要 プリンター名やIPアドレスなどの個別情報を含む設定値をインポートするときは、同一のネットワーク内に同じIPアドレスを持つプリンターが存在しないことを確認してください。IPアドレスが重複する場合は、インポートしても内容は反映されません。

1. Web Configで【デバイス管理】タブ - 【設定のエクスポート/インポート】 - 【インポート】を選択します。
2. エクスポートされたファイルを選択し、暗号化パスワードを入力します。
3. 【次へ】をクリックします。
4. インポートする設定を選択して【次へ】をクリックします。
5. 【設定】をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

トラブルを解決する

トラブルを解決するための糸口

- エラーメッセージの確認
何らかのトラブルが発生した場合、始めにプリンターの操作パネルやドライバーの画面などにメッセージが出ていないか確認してください。通知メールを送信するように設定してあると、イベントが発生した場合に素早く状態を把握できます。
- ネットワーク接続診断レポート
ネットワークとプリンターの状況を診断して、結果がレポートされます。
プリンター側から判別できるエラーを見つけることができます。
- 通信状態の確認
サーバーやクライアントコンピューターの通信状態をpingやipconfigなどのコマンドを使って確認します。
- 接続テスト
メールサーバーとの接続は、プリンターから接続テストをすることで確認できます。また、クライアントコンピューターからサーバーへの接続テストをして通信状態を確認します。
- 設定の初期化
設定や通信状態に問題がない場合、プリンターのネットワーク設定を無効にしたり、初期状態に戻して設定をやり直したりすると、トラブルが解消する場合があります。

プリンターの状態を確認する

トラブルの原因を特定するために、プリンターやネットワークの状況を確認します。

エラーメッセージを確認する

メール通知からエラー表示を確認する

メール通知を設定している場合、プリンターからエラーに関するメールが届いていないか確認します。
対処方法が記載されている場合はそれに従ってください。

関連情報

➡ [「イベント発生時にメール通知を受け取る」101ページ](#)

プリンター画面のメッセージを確認する

プリンターの画面にメッセージが表示されたら、画面の指示または以下の対処方法に従ってトラブルを解決してください。

トラブルを解決する

メッセージ	原因・対処方法
インク量が限界値以下のためカートリッジ交換が必要です。手順を確認し、交換してください。	• 原因： インク残量が限界値を超えました。 • 対処方法： プリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。新しいインクカートリッジと交換してください。
メンテナンスボックスの装着状態を確認してください。	• 原因： メンテナンスボックスが正しく装着されていません。 • 対処方法： メンテナンスボックスの装着状態を確認して、正しく装着してください。
メンテナンスボックスの空き容量がなくなりました。ボックスの交換が必要です。	• 原因： メンテナンスボックスの容量がいっぱいになりました。 • 対処方法： ガイダンスに従ってメンテナンスボックスを交換してください。
メンテナンスボックスをセットし直してください。	• 原因： メンテナンスボックスが正しく認識されませんでした。 • 対処方法： 一旦メンテナンスボックスを外し、再度装着してください。それでも認識しない場合は、新しいメンテナンスボックスと交換してください。
ダイヤルトーンが検出できません。	• 原因： ファクス送信で電話回線のダイヤルトーンが検出できませんでした。 • 対処方法： [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [接続回線] の順に選択して、[構内交換機(PBX)] を選択すると問題が解決することがあります。外線発信番号が必要な環境では、[構内交換機(PBX)] を選択した後に、外線発信番号を登録してください。登録後に外線の宛先にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに#（シャープ）を入力します。これにより通信がより確実になります。それでも同じメッセージが表示されるときは、[ダイヤルトーン検出] を無効にしてください。ただし、ファクス番号の最初の番号が抜けるなど、間違った番号にダイヤルしてしまう可能性があります。ただし、無効にすると電話番号の先頭の数字がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。

トラブルを解決する

メッセージ	原因・対処方法
ファクスデータ量が上限に達したため、ファクス受信できませんでした。ホーム画面下部の[ジョブ/状態]を押して確認してください。	• 原因： ファクスのメモリー残量が不足しています。 • 対処方法： 以下の理由で処理が済んでいない受信文書を処理してください。 • プリンターのエラーなどで印刷されていない プリンターのエラーを解除してください。エラーの内容と対処方法は、[ジョブ/状態]を選択し[プリンター状態]を選択すると確認できます。 • 保存先のコンピューターまたは外部メモリーに保存されていない 保存されていない受信文書は、[ジョブ/状態]を選択し[ジョブ状態]を選択すると確認できます。保存するには、保存先のコンピューターを起動するか、外部メモリーをプリンターに接続してください。
アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。詳しくはマニュアルをご覧ください。	• 原因： 設定したIPアドレスの組み合わせが不正です。 • 対処方法： IPアドレス、またはデフォルトゲートウェイに正しい値を入力してください。
このサービスを利用するには、ルート証明書のアップデートが必要です。	• 原因： クラウドサービスに使用するルート証明書の期限が切れています。 • 対処方法： Web Configを起動して、以下からルート証明書を更新してください。 [ネットワークセキュリティ] - [ルート証明書更新]
Recovery Mode	• 原因： ファームウェアのアップデートに失敗し、通常モードに復帰できませんでした。 • 対処方法： ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 1.コンピューターとプリンターをUSB接続します（リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません）。 2.エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

ジョブ確認メニューのエラーコードを確認する

実行したジョブに何らかのエラーが発生すると、ジョブ履歴にエラーコードが表示されます。エラーの内容は[ジョブ/状態]を選択し、[ジョブ状態]を選択すると確認できます。エラーの状況と対処方法は以下の表をご覧ください。

コード	状況	対処方法
001	停電でプリンターの電源が切れたため、ジョブがキャンセルされました。	-

トラブルを解決する

コード	状況	対処方法
109	受信文書が削除されたため、再印刷できません。	-
110	両面印刷に対応していない用紙が設定されたため、片面で印刷しました。	両面で印刷したいときは、両面印刷対応の用紙をセットしてください。
201	プリンターのメモリーが不足しています。	・ [ジョブ/状態] の [ジョブ状態] で、印刷されていない受信文書を印刷してください。 ・ [ジョブ/状態] の [ジョブ状態] で、受信ボックスに保存されているデータを削除してください。 ・ 1つの宛先にモノクロで送信する場合は、ダイレクト送信を利用すると送信できます。 ・ 複数枚の原稿は分割して送信してください。
202	文書を送信または受信中に、相手のファクス機によって通信が切断されました。	しばらくしてから再送信してください。
203	ダイヤルトーンが検出できません。	・ モジュラーケーブルが正しく接続され、回線が正しく動作することを確認してください。 ・ プリンターを構内交換機 (PBX) またはターミナルアダプターに接続しているときは、[接続回線] 設定を [構内交換機(PBX)] に変更してください。 ・ [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [ダイヤルトーン検出] の順にタップして、ダイヤルトーン検出を無効にしてください。
204	相手のファクス機が話し中です。	・ しばらくしてから再送信してください。 ・ 送信先のファクス番号を確認してください。 それでも送信できない場合は、[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [ダイヤル種別] を選択して、ダイヤル種別を変更してください。
205	相手のファクス機が応答しません。	しばらくしてから再送信してください。
206	モジュラーケーブルがLINEポートとEXT.ポートに正しく接続されていません。	プリンターのLINEポートとEXT.ポートの接続を確認してください。
207	プリンターが電話回線に接続されていません。	モジュラーケーブルを電話回線に接続してください。
208	複数の宛先の内、いくつかの宛先に文書を送信できませんでした。	ファクスモードの [ファクスレポート印刷] で [通信管理レポート] か、直前のジョブの場合は [通信結果レポート] を印刷して送信できなかった宛先を確認してください。[送信失敗文書保存] 設定を有効にしていると、[ジョブ/状態] の [ジョブ状態] から再送信できます。
301	外部メモリーの容量が不足しています。	・ 外部メモリーの容量を増やしてください。 ・ 原稿の枚数を減らしてください。 ・ スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
302	外部メモリーが書き込み禁止になっています。	外部メモリーの書き込み禁止を解除してください。
303	スキャンした画像を保存するために必要なフォルダーが外部メモリーに作成できません。	他の外部メモリーを挿入してください。

トラブルを解決する

コード	状況	対処方法
304	外部メモリーが取り外されました。	外部メモリーを再度挿入してください。
305	受信文書の保存中に何らかのエラーが発生しました。	コンピューターから外部メモリーにアクセスしているときは、しばらく待ってから再度実行してください。
306	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了するまで待ってください。
307	スキャンした画像のサイズが、作成できるファイルのサイズを超えています。（スキャンtoメモリー）	スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
311	DNSエラーが発生しました。	・ [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順にタップして、DNS設定を確認してください。 ・ サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
312	認証エラーが発生しました。	[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [メールサーバー] - [サーバー設定] の順にタップして、サーバー設定を確認してください。
313	通信エラーが発生しました。	・ プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 ・ [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [メールサーバー] - [サーバー設定] の順にタップします。メールサーバーの設定内容を確認してください。また、接続診断を行うと、エラー原因が確認できます。 ・ 指定した認証方法とメールサーバーの認証が合っていない可能性があります。[オフ] を選択した場合は、メールサーバーの認証がNone（なし）かどうかを確認してください。
314	スキャンした画像のサイズが、メールに添付できるサイズを超えています。	・ スキャン設定の [添付最大ファイルサイズ] を大きくしてください。 ・ スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
315	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了してから再度実行してください。
321	DNSエラーが発生しました。	・ [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順にタップして、DNS設定を確認してください。 ・ サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
322	認証エラーが発生しました。	[保存先] の設定を確認してください。
323	通信エラーが発生しました。	・ [保存先] の設定を確認してください。 ・ プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。

トラブルを解決する

コード	状況	対処方法
324	保存先フォルダーに同じ名前のファイルが存在しています。	- 保存先フォルダーにある同じ名前のファイルを削除してください。 〔ファイル設定〕でファイルヘッダーを別の文字に変更してください。
325 326	保存先フォルダーの容量が不足しています。	- 保存先フォルダーの容量を増やしてください。 - 原稿の枚数を減らしてください。 - スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
327	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了するまで待ってください。
328	保存先フォルダーが見つかりません。	〔保存先〕の設定を確認してください。
329	スキャンした画像のサイズが、作成できるファイルのサイズを超えています。（スキャンtoフォルダ）	スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
331	通信エラーが発生しました。	プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。
332	スキャンした画像のサイズが、サーバーに送信できるサイズを超えています。	原稿の枚数を減らしてください。
333	選択した宛先の情報がサーバー上で変更されたため、宛先が見つかりません。	宛先を選択し直してください。
334	スキャンした画像の送信中に何らかのエラーが発生しました。	-
341	通信エラーが発生しました。	- プリンターとコンピューターの接続を確認してください。ネットワークで接続しているときは、プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 - Document Capture Proがインストールされているか確認してください。
401	外部メモリーの容量が不足しています。	外部メモリーの容量を増やしてください。
402	外部メモリーが書き込み禁止になっています。	外部メモリーの書き込み禁止を解除してください。
404	外部メモリーが取り外されました。	外部メモリーを再度挿入してください。
405	受信文書の保存中に何らかのエラーが発生しました。	- 外部メモリーを再度挿入してください。 〔保存専用フォルダーの作成〕でフォルダーを作成した、別の外部メモリーを挿入してください。
411	DNSエラーが発生しました。	〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔詳細設定〕 - 〔TCP/IP〕の順にタップして、DNS設定を確認してください。 - サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
412	認証エラーが発生しました。	〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔詳細設定〕 - 〔メールサーバー〕 - 〔サーバー設定〕の順にタップして、サーバー設定を確認してください。

トラブルを解決する

コード	状況	対処方法
413	通信エラーが発生しました。	・ [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [メールサーバー] - [サーバー設定] の順にタップします。メールサーバーの設定内容を確認してください。また、接続診断を行うと、エラー原因が確認できます。 ・ 指定した認証方法とメールサーバーの認証が合っていない可能性があります。[オフ] を選択した場合は、メールサーバーの認証がNone（なし）かどうかを確認してください。 ・ プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。
421	DNSエラーが発生しました。	・ [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順にタップして、DNS設定を確認してください。 ・ サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
422	認証エラーが発生しました。	[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定] の順にタップして、[転送先] で指定されているフォルダーの設定を確認してください。
423	通信エラーが発生しました。	・ プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 ・ [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定] の順にタップして、登録されているボックスの ➤ を選択してください。[保存・転送先] で指定されているフォルダーの設定を確認してください。
425	転送先フォルダーの容量が不足しています。	転送先フォルダーの容量を増やしてください。
428	保存先フォルダーが見つかりません。	[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定] の順にタップして、登録されているボックスの ➤ を選択してください。[保存・転送先] で指定されているフォルダーの設定を確認してください。

遠隔地にあるプリンターのパネル表示を確認する

Web Configを使って遠隔地にあるプリンターのパネル表示を確認できます。

1. 確認したいプリンターのWeb Configを起動します。

メール通知を受け取っている場合は、メールに記載されているURLからWeb Configを起動できます。

2. 【情報確認】タブ - 【パネルのスナップショット】の順に選択します。

プリンターの現在のパネルがWeb Configに表示されます。

更新する場合は、[最新の状態へ更新] をクリックします。

ネットワーク接続診断レポートを印刷する

プリンターと無線LANルーター（アクセスポイント）の接続状態を確認するために、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

1. 印刷用紙をセットします。
2. ホーム画面で[設定] を選択します。
3. [本体設定] - [ネットワーク設定] - [接続診断] を選択します。
診断が始まります。
4. [接続診断結果を印刷する] を選択します。
5. ネットワーク接続診断レポートを印刷します。
エラーがある場合はネットワーク接続診断レポートの内容を確認して対処してください。
6. 画面を閉じます。

関連情報

➡ [「ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法」115ページ](#)

ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法

ネットワーク接続診断レポートのメッセージとエラー番号を確認して対処してください。

ネットワーク接続診断レポート	
診断結果	不合格
エラー番号	(E-2)
以下のネットワーク設定情報を確認し、“ネットワーク (SSID)” が無線接続したいSSIDかを確認してください。正しい場合はパスワードを確認し、設定し直してください。不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。 * 何らかのトラブルが発生したときは、マニュアル等をご覧の上、対処してください。	
診断項目	
指定のネットワーク (SSID) の有無の確認	NG
無線モードの確認	未診断
セキュリティー方式の確認	未診断
MACアドレスフィルタリング設定の確認	未診断
セキュリティーキーの確認	未診断
IPアドレスの確認	未診断
IP詳細設定の確認	未診断
ネットワーク設定情報	
プリンター型番	XX-XXX... Series
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	
ネットワーク (SSID)	XXXXXXXXXXXX
無線通信モード	なし
電波状態	悪い
MACアドレス	44:D2:44:DA:A0:3C

a. エラー番号

b. ネットワーク環境に関するメッセージ

E-1

対処方法：

- LAN ケーブルが、プリンターやハブなどのネットワーク機器にしっかり差し込まれているか確認してください。
- ハブなどのネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。
- プリンターを無線LAN (Wi-Fi) で使用したい場合は、プリンターの無線LANが有効になっていないため、無線LAN 接続設定をやり直してください。

E-2, E-3, E-7

対処方法：

- 無線LANルーターの電源が入っているか確認してください。
- コンピューターやその他の機器が無線LANルーターと正常に通信できているか確認してください。
- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。

トラブルを解決する

- プリンターと無線LANルーターは近くに置き、間にある障害物は取り除いてください。
- SSIDを直接入力したときは、入力したSSIDが正しいかを確認してください。SSIDはネットワーク接続診断レポートの「ネットワーク設定情報」で確認できます。
- 1つの無線LANルーターに複数のSSIDが存在する場合、表示されたSSIDから選択してください。SSIDが非対応の周波数を使用していると、SSIDは表示されません。
- プッシュボタンを使った自動設定をする場合は、お使いの無線LANルーターがWPSに対応しているか確認してください。WPSに対応していないときは、プッシュボタンを使った自動設定はできません。
- SSIDにASCII文字（半角英数字、記号）以外の文字列が使われていないか確認してください。プリンターは、ASCII文字以外の文字列が含まれたSSIDは表示できません。
- 無線LANルーターに接続する場合は、SSIDとパスワードを事前に確認してください。無線LANルーターをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDとパスワードがわからない場合は無線LANルーターを設定した人に確認するか、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。
- スマートデバイスなどのテザリング機能で生成したSSIDに接続したい場合は、スマートデバイスのマニュアルなどでSSIDとパスワードを確認してください。
- 無線LAN（Wi-Fi）で突然接続できなくなった場合は、以下を確認してください。どれかに当てはまる場合は、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。
<http://epson.sn-> [セットアップ]
 - お使いのネットワーク環境に、新たに別のスマートデバイスからプッシュボタン自動設定（AOSS／WPS）で設定したか
 - この無線LAN（Wi-Fi）ネットワークは、プッシュボタン自動設定以外の方法で設定されたか
 - 株式会社バッファロー製の無線LANルーターで、プッシュボタンで設定（AOSS）できるタイプを使っているか

E-5

対処方法：

無線LANルーターが以下のいずれかのセキュリティー方式になっているかを確認してください。なっていない場合は、以下のセキュリティー方式を使用するよう無線LANルーターの設定を変更し、プリンターのネットワーク設定をし直してください。

- WEP-64 bit (40 bit)
- WEP-128 bit (104 bit)
- WPA PSK (TKIP/AES) *
- WPA2 PSK (TKIP/AES) *
- WPA (TKIP/AES)
- WPA2 (TKIP/AES)

* WPA PSKはWPA Personal、WPA2 PSKはWPA2 Personalとも呼ばれます。

E-6

対処方法：

- MACアドレスフィルタリングが無効になっていることを確認してください。有効の場合は、プリンターのMACアドレスを登録して、フィルタリングされないようにしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。プリンターのMACアドレスはネットワーク接続診断レポートの「ネットワーク設定情報」で確認できます。
- 無線LANルーターのWEPセキュリティ方式でShared認証が有効になっている場合は、認証キーおよびインデックスが正しいことを確認してください。
- 無線LANルーターに設定されている同時接続可能な機器数が、接続するネットワーク機器の台数より少ない場合は、接続できる数を増やしてください。設定方法は、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

E-8

対処方法：

- プリンターの TCP/IP 設定を自動にしているときは、無線LANルーターのDHCPを有効にしてください。
- プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしているときは、手動で設定したIPアドレスが有効範囲外 (0.0.0.0 など) のため、無効になっています。有効なIPアドレスをプリンターの操作パネルから設定してください。

E-9

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターを利用する機器の電源が入っているか
- プリンターを利用する機器から、インターネットへのアクセスや同じネットワーク上の、他のコンピューター、ネットワーク機器にアクセスできるか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。続いて、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。

<http://epson.sn-> [セットアップ]

E-10

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- プリンターのTCP/IP設定を手動にしているときは、ネットワークアドレス (IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ) が正しいか

ネットワークアドレスが間違っている場合は、設定し直してください。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはネットワーク接続診断レポートの「ネットワーク設定情報」で確認できます。

DHCPを有効にしているときは、プリンターのTCP/IP設定でIPアドレスを自動にしてください。IPアドレスを手動で設定したい場合は、ネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］でプリンターのIPアドレスを確認し、プリンターのネットワーク設定画面で手動を選択して、設定してください。サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定してください。

それでもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。

E-11

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターのTCP/IP設定を手動設定にしたときは、プリンターに設定されたデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか
- デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか

デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。プリンターのデフォルトゲートウェイのアドレスはネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］で確認できます。

E-12

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- 手動で設定したプリンターのネットワークアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか
- 他の機器のネットワークアドレス（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が同一になっているか
- 他の機器のIPアドレスと重複していないか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、以下の対処を試してみてください。

- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- インストーラーを使って、ネットワーク設定をやり直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。
<http://epson.sn-> [セットアップ]
- セキュリティタイプ「WEP」は、無線LANルーターに複数のセキュリティキーを登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

E-13

対処方法：

以下を確認してください。

トラブルを解決する

- ネットワーク機器（無線LANルーター、ハブ、ルーターなど）の電源が入っているか
- プリンター以外のネットワーク機器が手動でTCP/IP設定されていないか。（他のネットワーク機器のTCP/IP設定が手動で、プリンターのTCP/IP設定のみ自動設定になっていると、プリンターだけが異なるネットワークになってしまう可能性があります。）

問題がないときは、以下をお試してください。

- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。
<http://epson.sn>- [セットアップ]
- セキュリティタイプ「WEP」は、無線LANルーターに複数のセキュリティキーを登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

ネットワーク環境に関するメッセージ

メッセージ	対処方法
*無線環境の改善が必要です。アクセスポイントの電源を入れ直してください。それでも解消しないときはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。	プリンターをアクセスポイントの近くに移動し、機器間にある障害物を取り除いてからアクセスポイントの電源を入れ直します。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。それでも接続できない場合は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
*無線接続が可能な機器数の上限に達しています。機器を追加したいときは、他の機器の接続を解除してください。	Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続で同時接続できる無線機器が最大限接続されています。他のコンピューターやスマートデバイスを追加するには、プリンターを使用していないコンピューターやスマートデバイスの接続を解除してから追加してください。同時接続できる無線機器の台数と接続されている台数は、プリンターの操作パネルまたはネットワークステータスシートで確認できます。

通信状態を確認する

プリンターやコンピューターのネットワーク接続、プリンターとコンピューター間の通信が正常かどうか確認し、トラブルの解決につなげます。

サーバーやネットワーク機器のログの確認

ネットワーク接続でのトラブル発生時は、メールサーバーやLDAPサーバー、ネットワーク機器のログ情報を確認したり、コマンドを使ってステータスを確認したりすると原因を特定できることがあります。

ネットワークステータスシートを印刷する

ネットワークステータスシートを印刷すると、プリンターのネットワーク情報や状態を確認できます。

1. 印刷用紙をセットします。

2. ホーム画面で「設定」を選択します。
3. 「本体設定」 - 「ネットワーク設定」 - 「ネットワーク情報」を選択します。
4. 「ステータスシート印刷」を選択します。
5. メッセージを確認して、ネットワークステータスシートを印刷します。
6. 画面を閉じます。
一定時間経過すると、自動で画面が閉じます。

デバイスとコンピューターの通信を確認する

コンピューターとの通信をPingで確認する - Windows

Pingを使ってコンピューターとプリンターが通信できているか確認します。以下の手順で通信を確認してください。

1. 通信を確認したいプリンターのIPアドレスを確認します。
操作パネルのネットワーク情報画面やネットワーク接続診断レポート、またはネットワークステータスシートの「IP Address」の項目で確認してください。
2. コンピューターのコマンドプロンプトを表示します。
アプリ画面を表示して、「コマンドプロンプト」を選択します。
3. 「ping xxx.xxx.xxx.xxx」と入力して、Enterキーを押します。
xxx.xxx.xxx.xxxにはプリンターのIPアドレスを入れてください。

4. 通信状況を確認します。

プリンターとコンピューターが通信できていると以下のように表示されます。

```

コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.10586]
(c) 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\>ping XXX.XXX.XX.X

XXX.XXX.XX.Xに ping を送信しています 32 バイトのデータ:
XXX.XXX.XX.X からの応答: バイト数 =32 時間 =150ms TTL=64
XXX.XXX.XX.X からの応答: バイト数 =32 時間 =71ms TTL=64
XXX.XXX.XX.X からの応答: バイト数 =32 時間 =85ms TTL=64
XXX.XXX.XX.X からの応答: バイト数 =32 時間 =63ms TTL=64

XXX.XXX.XX.X の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、
    ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒):
        最小 = 63ms、最大 = 150ms、平均 = 92ms

C:\>_

```

プリンターとコンピューターが通信できていないと以下のように表示されます。

```

コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.10586]
(c) 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\>ping XXX.XXX.XX.X

XXX.XXX.XX.Xに ping を送信しています 32 バイトのデータ:
XXX.XXX.XX.X からの応答: 宛先ホストに到達できません。
XXX.XXX.XX.X からの応答: 宛先ホストに到達できません。
XXX.XXX.XX.X からの応答: 宛先ホストに到達できません。
XXX.XXX.XX.X からの応答: 宛先ホストに到達できません。

XXX.XXX.XX.X の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、

C:\>_

```

コンピューターとの通信をPingで確認する - Mac OS

Pingを使ってコンピューターとプリンターが通信できているか確認します。以下の手順で通信を確認してください。

1. 通信を確認したいプリンターのIPアドレスを確認します。

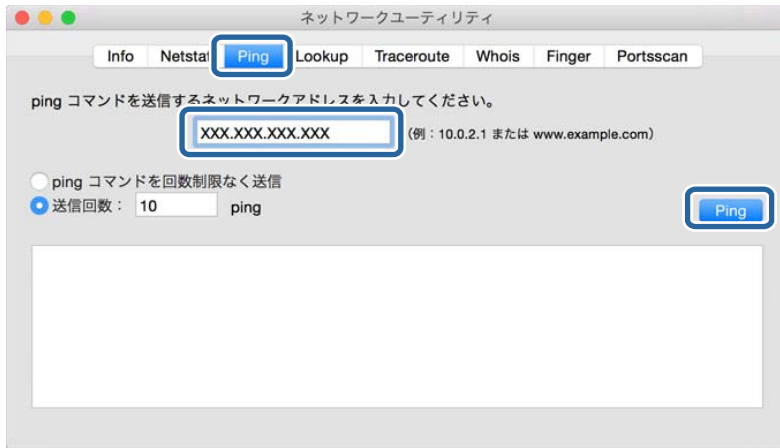
操作パネルのネットワーク情報画面やネットワーク接続診断レポート、またはネットワークステータスシートの「IP Address」の項目で確認してください。

トラブルを解決する

2. ネットワークユーティリティを起動します。

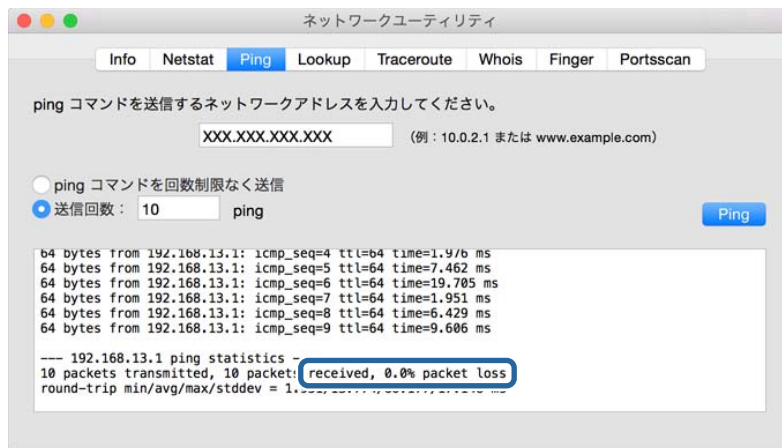
[Spotlight] で「ネットワークユーティリティ」と入力して検索してください。

3. [Ping] タブをクリックし、手順1で確認したIPアドレスを入力して、[Ping] をクリックします。

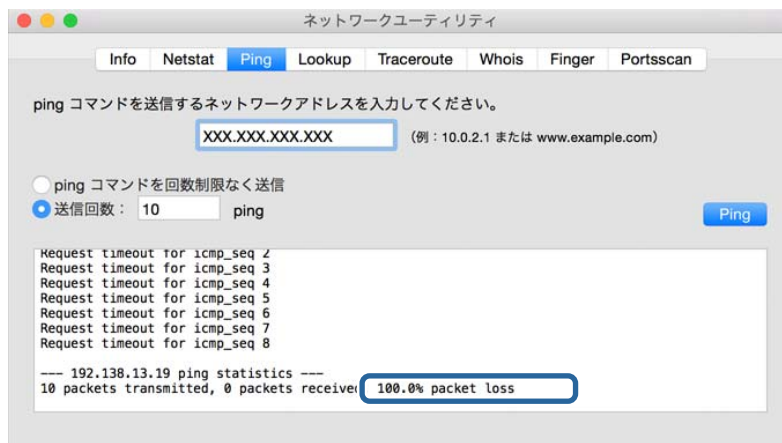


4. 通信状況を確認します。

プリンターとコンピューターが通信できていると以下のように表示されます。



プリンターとコンピューターが通信できていないと以下のように表示されます。



コンピューターのネットワークを確認する - Windows

Windowsのコマンドプロンプトからコマンドを使って、コンピューターの接続情報やプリンターとの接続経路などを確認します。トラブル解決につながります。

- ipconfigコマンド

コンピューターが現在使用しているネットワークインターフェースの接続状況を表示します。

実際に通信している情報と設定情報の差がないかを比較して、正常に接続されているかを確認できます。同じネットワークに複数のDHCPサーバーがあるような場合、コンピューターに割り当てられている実際のアドレスや、参照しているDNSサーバーなどを知ることができます。

- 書式：ipconfig /all
- 例：

```

c:\¥>ipconfig /all

Windows IP 構成

ホスト名 . . . . . : WIN2012R2
プライマリ DNS サフィックス . . . . . : pubs.net
ノード タイプ . . . . . : ハイブリッド
IP ルーティング有効 . . . . . : いいえ
WINS プロキシ有効 . . . . . : いいえ
DNS サフィックス検索一覧 . . . . . : pubs.net

イーサネット アダプター イーサネット:

接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
説明 . . . . . : Gigabit Network Connection
物理アドレス . . . . . : xx-xx-xx-xx-xx-xx
DHCP 有効 . . . . . : いいえ
自動構成有効 . . . . . : はい
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . . : fe80::38fb:7546:18a8:d20e%13(優先)
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.111.10(優先)
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.111.1
DHCPv6 IAID . . . . . : 283142549
DHCPv6 クライアント DUID . . . . . : 00-01-00-01-21-0A-D4-46-E0-69-95-3C-91-49
DNS サーバー . . . . . : 192.168.111.2
NetBIOS over TCP/IP . . . . . : 有効

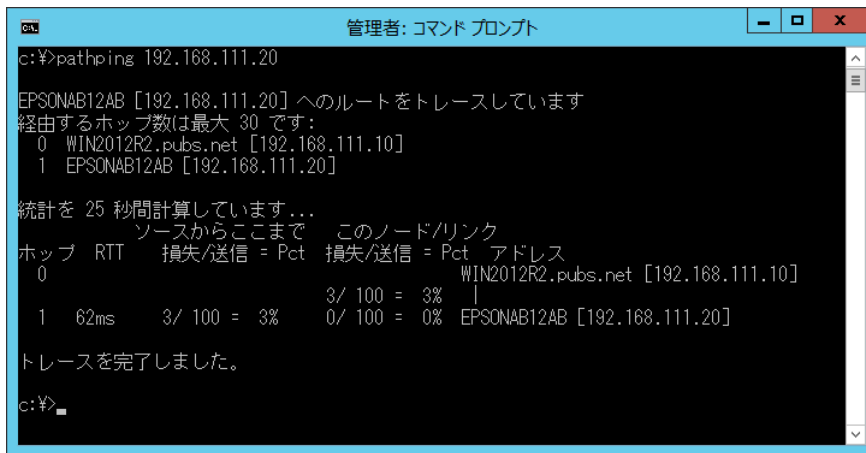
Tunnel adapter isatap.{12345678-ABCD-EFGH-IJKL-MNOPQRSTUVWXYZ}:

メディアの状態 . . . . . : メディアは接続されていません
接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
説明 . . . . . : Microsoft ISATAP Adapter #2
物理アドレス . . . . . : 00-00-00-00-00-00-E0
DHCP 有効 . . . . . : いいえ
自動構成有効 . . . . . : はい

c:\¥>
  
```

トラブルを解決する

- pathpingコマンド
宛先ホストまでに通過するルーターのリストや通信のルーティングを確認できます。
- 書式 : pathping xxx.xxx.xxx.xxx
- 例 : pathping 192.0.2.222



```
c:\>pathping 192.168.111.20

EPSONAB12AB [192.168.111.20] へのルートをトレースしています
経由するホップ数は最大 30 です:
  0  WIN2012R2.pubs.net [192.168.111.10]
  1  EPSONAB12AB [192.168.111.20]

統計を 25 秒間計算しています...
      ソースからここまで      このノード/リンク
ホップ  RTT      損失/送信 = Pct  損失/送信 = Pct  アドレス
  0                               WIN2012R2.pubs.net [192.168.111.10]
  1   62ms      3/ 100 = 3%      0/ 100 = 0%  EPSONAB12AB [192.168.111.20]

トレースを完了しました。

c:\>
```

接続テストをする

プリンターやプリンターと同じセグメントに接続されているコンピューターから、サーバーやフォルダーとの接続が正常かを確認し、トラブルの解決につなげます。

メールサーバー

プリンターとメールサーバーの接続をプリンターのテスト機能で確認できます。

関連情報

➡ [「メールサーバーとの接続を確認する」 44ページ](#)

LDAPサーバー

プリンターとLDAPサーバーの接続をプリンターのテスト機能で確認できます。

関連情報

➡ [「LDAPサーバーとの接続を確認する」 76ページ](#)

FTPサーバー

FTPサーバーの接続を、同じセグメントにあるコンピューターで確認します。アドレス帳に登録するFTPサーバーに、プリンターと同じセグメントのネットワーク上にあるコンピューターから、エクスプローラーを使ってアクセスができるか確認してください。

トラブルを解決する

- パスの指定例：
 - FTPサーバー名：epsonftp
 - フォルダ名：manual
 - ftp://epsonftp/manual/

この場合はanonymousでログオンします。ユーザー名とパスワードを設定してある場合は、認証失敗時に表示されるダイアログにユーザー名とパスワードを入力するか、以下のようにユーザー名とパスワードを含めます。

ftp://username:password@epsonftp （ユーザー名：ftpusername、パスワード：ftppasswordの場合）

- 同じセグメント上のネットワーク指定例：
 - プリンターのIPアドレス：192.168.111.12、サブネットマスク：255.255.255.0
 - IPアドレスが192.168.111.2～192.168.111.255のコンピューターから確認

関連情報

➡ [「Web Configで宛先を登録する」 68ページ](#)

共有フォルダー

共有フォルダーへの接続を、同じセグメントにあるコンピューターで確認します。アドレス帳に登録する共有フォルダーに、プリンターとセグメントが同じネットワーク上のコンピューターでエクスプローラーからアクセスできるか確認してください。

関連情報

➡ [「Web Configで宛先を登録する」 68ページ](#)

DNSサーバー

コンピューターで参照しているDNSサーバーを確認します。プリンターと同じネットワークセグメント上にあるコンピューターのネットワークアダプターの状態を確認して、プリンターのDNS設定と同じかどうか確認してください。コンピューターのDNS設定は以下で確認できます。

- Windows：[コントロール パネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [アダプターの設定の変更]
複数のネットワークI/Fがある場合は、コマンドプロンプトでipconfig /allを入力して確認することもできます。
- Mac OS：[システム環境設定] - [ネットワーク] - [詳細] - [DNS] を選択します。

関連情報

➡ [「Web Configで宛先を登録する」 68ページ](#)

設定の初期化

Web Configから無線LANを無効にする

Web Configから無線LAN（Wi-Fi）を無効にします。無線LAN（Wi-Fi）接続時に無線LANを無効にすると、無線接続が切断されます。

1. Web Configで【ネットワーク】タブ - 【無線LAN】の順に選択して、【無効にする】を選択します。
2. メッセージを確認して、【設定】を選択します。

Web ConfigからWi-Fi Direct（シンプルAP）を無効にする

Web ConfigからWi-Fi Direct（シンプルAP）を無効にします。

1. Web Configで【ネットワーク】タブ - 【Wi-Fi Direct】を選択します。
2. 【Wi-Fi Direct】を【無効】にします。
3. 【次へ】をクリックします。
4. メッセージを確認して、【設定】を選択します。

操作パネルから無線LANを無効にする

無線LAN（Wi-Fi）接続時に無線LANを無効にすると、無線接続が切断されます。

1. ホーム画面で  をタップします。
2. 【ルーター】をタップします。
ネットワーク状態が表示されます。
3. 【設定に進む】をタップします。
4. 【無線LAN接続設定】をタップします。
5. 【その他】 - 【無線LANを無効にする】の順にタップします。
6. メッセージを確認して、【設定を開始する】をタップします。
7. 設定完了のメッセージが表示されたら 【閉じる】をタップします。
【閉じる】をタップしなくても、一定時間を経過すると次の画面に進みます。

操作パネルからWi-Fi Direct(シンプルAP) 接続を無効にする



Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続で複数のコンピューターやスマートデバイスがプリンターと接続されていた場合、Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続を無効にすると、全ての接続が切断されます。特定の機器だけを切断したいときは、スマートデバイス側から接続を切断してください。

1. ホーム画面で  をタップします。
2. [Wi-Fi Direct] をタップします。
Wi-Fi Directの情報が表示されます。
3. [設定に進む] をタップします。
4. [Wi-Fi Directを無効にする] をタップします。
5. メッセージを確認して、[設定を無効にする] をタップします。
6. 設定完了のメッセージが表示されたら [閉じる] をタップします。
[閉じる] をタップしなくても、一定時間を経過すると次の画面に進みます。

操作パネルからネットワーク設定を初期の状態に戻す

ネットワーク設定全てを初期の状態に戻します。

1. プリンターのホーム画面で [設定] を選択します。
2. [本体設定] - [管理者用設定] - [初期設定に戻す] - [ネットワーク設定] を選択します。
3. メッセージを確認して、[はい] を選択します。
4. 完了メッセージが表示されたら、画面を閉じます。
一定時間経過すると自動で画面が閉じます。

トラブル事例

Web Configにアクセスできない

プリンターのIPアドレスが設定されていない

プリンターに有効なIPアドレスが設定されていない可能性があります。プリンターの操作パネルでIPアドレスを設定してください。現在の設定は、ネットワークステータスシートやプリンターの操作パネルで確認できます。

WebブラウザがSSL/TLSの暗号強度に対応していない

SSL/TLSには暗号強度があります。Web Configは以下のメッセージ暗号化をサポートしているブラウザで起動できます。ブラウザの暗号強度の対応ビットをご確認ください。

- 80bit: AES256/AES128/3DES
- 112bit: AES256/AES128/3DES
- 128bit: AES256/AES128
- 192bit: AES256
- 256bit: AES256

CA署名証明書の有効期限が切れた

証明書の有効期限に問題がある場合、Web ConfigにSSL/TLS通信（https）で接続したときに「有効期限が切れている」と表示されます。証明書の有効期限内に表示されるときは、プリンターの時刻が正しく設定されているか確認してください。

証明書とプリンターのコモンネームが一致していない

コモンネームの不一致が起こると、Web ConfigにSSL/TLS通信（https）で接続したときに「セキュリティ証明書の名前が一致しません...」と表示されます。これは以下のIPアドレスが一致していないために発生します。

- 自己署名証明書の作成や更新時、CSRの作成時にコモンネームで記述したIPアドレス
- Web Configの起動時にブラウザに入力したIPアドレス

自己署名証明書の場合はプリンター名を変更してください。証明書が更新されて接続できるようになります。CA署名証明書の場合は該当のプリンター用に証明書を取得し直してください。

ブラウザにローカルアドレスのプロキシサーバー設定がされていない

プリンターでプロキシサーバーを使用する設定にしている場合、ブラウザでローカルアドレスへの接続にプロキシサーバーを経由しないよう設定します。

- Windows :
[コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [インターネットオプション] - [接続] - [LANの設定] の [プロキシ サーバー] で、LAN（ローカルアドレス）にプロキシサーバーを使わない設定にします。
- Mac OS :
[システム環境設定] - [ネットワーク] - [詳細] - [プロキシ] で [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] にローカルアドレスを登録します。
記入例：
ローカルアドレス192.168.1.XXX、サブネットマスク255.255.255.0 の場合：192.168.1.*
ローカルアドレス192.168.XXX.XXX、サブネットマスク255.255.0.0 の場合：192.168.*.*

関連情報

- ➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)
- ➡ [「IPアドレスを設定する」 20ページ](#)

操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない

プリンター画面のメッセージを確認する

エラーが発生したときは、操作パネルにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ	対処方法
DNSエラーが発生しました。DNS設定を確認してください。	- プリンターのアドレス帳に登録しているアドレスと、共有フォルダーのアドレスが同じに設定されているか確認してください。 - コンピューター名にひらがな、カタカナ、漢字、全角英数字の2バイト文字が使用されているときは、半角英数字に直して設定し、アドレス帳に登録し直してください。 - コンピューターのIPアドレスが手動で固定設定されているときは、ネットワークパスのコンピューター名をコンピューターのIPアドレスに置き換えてみてください。 例) \\EPSON02\SCAN → \\192.168.xxx.xxx\SCAN - 保存先コンピューターの電源が入っているか、またはスリープ状態になっていないか確認をしてください。スリープ状態のときは、共有フォルダーに保存できません。 - 保存先のコンピューターのファイヤーウォール、セキュリティソフトを一時的に停止して確認してください。エラーが解決したら、セキュリティソフトの設定を確認してください。 - IPアドレスがDHCPのとき、一度LANを切断すると、次にLANに接続したときにIPアドレスが変わることがあります。IPアドレスの取得をやり直してください。 〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔詳細設定〕 - 〔TCP/IP〕の順に選択して、DNS設定を確認してください。 - サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。 - DNSサーバーの管理テーブルが更新されていないとき、コンピューター名とIPアドレスが一致していないことがあります。コンピューター名とIPアドレスを確認してください。
認証エラーが発生しました。認証方式とアカウント名、パスワードを確認してください。	- フォルダーの共有アクセスを許可しているユーザーのログオン名/パスワードと、アドレス帳に登録しているユーザー名/パスワードが一致しているか確認してください。また、パスワードの有効期限が切れていないか確認してください。 〔保存先〕の設定を確認してください。
通信エラーが発生しました。ネットワーク接続状態を確認してください。	- MS Networkが有効になっているかを確認してください。 - プリンターのアドレス帳に登録しているアドレスと、共有フォルダーのアドレスが同じに設定されているか確認してください。 - アドレス帳に登録しているユーザーのアクセス許可が、共有フォルダーのプロパティの〔共有〕タブと〔セキュリティ〕タブの両方に追加されていて、変更の許可にチェックが入っている必要があります。 〔保存先〕の設定を確認してください。 - プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。
同じ名前のファイルがあります。ファイル名を変更してスキャンし直してください。	- 保存先フォルダーにある同じ名前のファイルを削除してください。 〔ファイル設定〕でファイルヘッダーを別の文字に変更してください。

トラブルを解決する

メッセージ	対処方法
スキャンしたファイルが大きすぎます。 XXページが送信済みです。保存先を確認してください。	- 保存先フォルダーの容量を増やしてください。 - 原稿の枚数を減らしてください。 - スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。

エラーの発生箇所を確認する

共有フォルダーに保存するとき、以下の項目を上から順に行います。エラーが発生したとき、エラーの発生箇所を判断できます。

項目	動作内容	エラーメッセージ
接続	プリンターから保存先コンピューターに接続する。	DNSエラーが発生しました。DNS設定を確認してください。
コンピューターへのログイン	ユーザー名とパスワードを入れてログインする。	認証エラーが発生しました。認証方式とアカウント名、パスワードを確認してください。
保存場所の確認	共有フォルダーのネットワークパスを確認する。	通信エラーが発生しました。ネットワーク接続状態を確認してください。
ファイル名の確認	フォルダー内に同じ名前のファイルがないかを確認する。	同じ名前のファイルがあります。ファイル名を変更してスキャンし直してください。
ファイルの書き込み	フォルダーにファイルを書き込む。	スキャンしたファイルが大きすぎます。 XXページが送信済みです。保存先を確認してください。

保存に時間がかかる

以下の設定を確認してください。

- 〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔詳細設定〕 - 〔TCP/IP〕の順に選択して、DNS設定を確認してください。
- サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。

付録

ネットワーク関連のソフトウェア

デバイスの設定、管理用のソフトウェアを紹介します。

Epson Device Admin

Epson Device Adminは、ネットワーク上のデバイスの管理を行う多機能なアプリケーションソフトです。以下のような機能があります。

- セグメントを越えて1台から2000台のプリンターやスキャナーの監視、管理
- 消耗品やステータスの詳細なレポート機能
- ファームアップデート機能
- デバイスのネットワークへの導入
- 複数デバイスへの同じ設定値の適用

Epson Device Adminはエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。詳細はEpson Device Adminのヘルプやマニュアルをご覧ください。

Epson Device Adminの起動（Windowsのみ）

[すべてのプログラム] - [EPSON] - [Epson Device Admin] から [Epson Device Admin] を選択します。

 **参考** Windowsファイアウォールの警告画面が表示された場合は、Epson Device Adminを例外のプログラムに登録してください。

EpsonNet Config

EpsonNet Configはネットワーク上のデバイスの設定ができるアプリケーションソフトです。有線でネットワークに接続されていれば、IPアドレスのないデバイスでもIPアドレスの設定や接続形態の変更ができます。LCDパネルのないデバイスのネットワーク設定も容易に行えます。

詳細はEpsonNet Configのヘルプやマニュアルをご覧ください。



EpsonNet Configの起動 - Windows

[すべてのプログラム] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config SE] から [EpsonNet Config] を選択します。

参考 Windowsファイアウォールの警告画面が表示された場合は、EpsonNet Configを例外のプログラムに登録してください。

EpsonNet Configの起動 - Mac OS

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config SE] から [EpsonNet Config] を選択します。

EpsonNet Print (Windowsのみ)

TCP/IP上でネットワーク印刷するためのソフトウェアです。インストーラーからプリンタードライバーなどと共にインストールされます。ネットワーク印刷にはEpsonNet Printポートを作成します。

- スプーラー画面にプリンターのステータスが表示できます。
- DHCP機能によって変更されたIPアドレスを自動追従します。
- ルーターを越えた場所（別セグメント）のプリンターも使用できます。
- 印刷データの送信プロトコルが使い分けられます。
- IPv6アドレスには対応していません。

EpsonNet SetupManager

ネットワークプリンターのドライバーやEPSONプリンターウィンドウ！3のインストールから印刷ポートの設定までを自動で実行するパッケージを作成するソフトウェアです。環境の異なるドライバーのパッケージを一括して作成できるため、ドライバーの配布やインストール、設定など管理者が行う環境構築作業を大幅に軽減できます。

詳細はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

ツールを使ったアドレス帳のエクスポートや一括登録

Epson Device Adminを使うと、アドレス帳だけをバックアップしたり、エクスポートしたファイルを編集して一括で登録したりできます。

アドレス帳だけをバックアップする場合や、プリンターの置き替え時に置き替え前のプリンターからアドレス帳を引き継ぐような場合に役立ちます。

アドレス帳をエクスポートする

アドレス帳の情報をファイルに保存します。

SYLK形式やcsv形式で保存したファイルは表計算ソフトやテキストエディターなどで編集できます。情報の削除や追加などをしてから一括で登録できます。

パスワードや個人情報などセキュリティ項目を含む情報は、パスワードを設定したバイナリー形式で保存できます。このファイルは編集できません。セキュリティ項目を含む情報のバックアップとして活用できます。

1. Epson Device Adminを起動します。
2. サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。
3. デバイスリストで設定するデバイスを選択します。
4. リボンメニューの【ホーム】タブから【デバイスの設定】をクリックします。
管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して【OK】をクリックします。
5. 【共通】 - 【アドレス帳】をクリックします。
6. 【エクスポート】 - 【エクスポートする項目】からエクスポート形式を選択します。
 - 全ての項目
暗号化したバイナリーファイルをエクスポートします。パスワードや個人情報などセキュリティ項目を含めたい場合に選択します。このファイルは編集できません。こちらを選択した場合はパスワードの設定が必要です。【設定】をクリックして、パスワードをASCII文字（8～63文字）で設定します。このパスワードはバイナリーファイルのインポート時に入力が必要です。
 - セキュリティ情報を除く項目
SYLK形式またはcsv形式のファイルをエクスポートします。エクスポートした情報を編集したい場合に選択します。
7. 【エクスポート】をクリックします。

8. ファイルを保存する場所を指定し、ファイルの種類を選択して【保存】をクリックします。
エクスポート完了メッセージが表示されます。
9. 【OK】をクリックします。
指定した場所にファイルが保存されていることを確認してください。

アドレス帳をインポートする

アドレス帳の情報をファイルからインポートします。

SYLK形式やcsv形式で保存したファイルや、セキュリティー項目を含む情報をバックアップしたバイナリーファイルをインポートできます。

1. Epson Device Adminを起動します。
2. サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。
3. デバイスリストで設定するデバイスを選択します。
4. リボンメニューの【ホーム】タブから【デバイスの設定】をクリックします。
管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して【OK】をクリックします。
5. 【共通】 - 【アドレス帳】をクリックします。
6. 【インポート】の【参照】をクリックします。
7. インポートするファイルを選択して【開く】をクリックします。
バイナリーファイルを選択した場合、【パスワード】にファイルをエクスポートしたときに設定したパスワードを入力します。
8. 【インポート】をクリックします。
確認画面が表示されます。
9. 【OK】をクリックします。
読み込み内容の検証が始まり、結果を表示します。
 - 読み込んだ情報を編集する
読み込んだ情報を個別に編集したい場合にクリックします。
 - 更にファイルを読み込む
複数のファイルをインポートしたい場合にクリックします。
10. 【インポート】をクリックし、インポート完了画面で【OK】をクリックします。
デバイスのプロパティ画面に戻ります。
11. 【送信】をクリックします。
12. 確認メッセージで【OK】をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

13. 送信完了画面で【OK】をクリックします。

プリンターの情報が更新されます。

Web Configや操作パネルからアドレス帳を開き、更新されていることを確認してください。

操作パネルを使って無線LANに接続する（WPS）

プリンターの操作パネルでWPS機能を使った無線LAN接続ができます。

関連情報

- ➡ [「プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）」 135ページ](#)
- ➡ [「PINコードで設定する\(WPS\)」 136ページ](#)

プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）

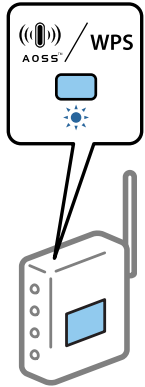
アクセスポイントのプッシュボタンで自動設定する方法です。以下の条件に当てはまる場合は、この方法で設定できます。

- アクセスポイントがAOSSやWPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している
- 既存の無線LAN（Wi-Fi）をプッシュボタンで設定している

参考 プッシュボタンの位置がわからない、またはプッシュボタンがなくソフトウェアで操作する場合は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

1. ホーム画面で   をタップします。
2. 【ルーター】 をタップします。
3. 【設定に進む】 をタップします。
4. 【無線LAN接続設定】 をタップします。
既に有線LAN接続されている場合は、メッセージを確認して【はい】 をタップします。
5. 【プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)】 をタップします。

6. アクセスポイントのプッシュボタンをランプが点滅するまで押します。



プッシュボタンの位置がわからない、またはボタンが見当たらない場合は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

7. [設定を開始する] をタップします。

8. [閉じる] をタップします。

[閉じる] をタップしなくても、一定時間を経過すると次の画面に進みます。

参考 接続に失敗した場合はアクセスポイントを再起動し、アクセスポイントとプリンターを近づけてから再度設定してください。それでも解決しないときは、ネットワーク接続診断レポートを印刷して対処方法を確認してください。

9. ネットワーク接続設定画面で [閉じる] をタップします。

PINコードで設定する(WPS)

PINコードを使ってアクセスポイントに接続する方法です。アクセスポイントがWPS(Wi-Fi Protected Setup)に対応している場合は、この方法で設定できます。PINコードをアクセスポイントに入力するときに、コンピューターを使います。

1. ホーム画面で  |  をタップします。

2. [ルーター] をタップします。

3. [設定に進む] をタップします。

4. [無線LAN接続設定] をタップします。

既に有線LAN接続されている場合は、メッセージを確認して [はい] をタップします。

5. [その他] - [PINコード自動設定(WPS)] の順にタップします。

6. プリンターに表示されているPINコード（8桁の数字）を、2分以内にコンピューターからアクセスポイントに入力します。

参考 PINコードの入力方法は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

7. 「設定を開始する」をタップします。

8. 「閉じる」をタップします。

「閉じる」をタップしなくても、一定時間を経過すると次の画面に進みます。

参考 接続に失敗した場合はアクセスポイントを再起動し、アクセスポイントとプリンターを近づけてから再度設定してください。それでも解決しないときは、ネットワーク接続診断レポートを印刷して対処方法を確認してください。

9. ネットワーク接続設定画面で「閉じる」をタップします。

Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続を使う

Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続は、プリンターとデバイスを直接Wi-Fiで接続します。

プリンターが接続されているネットワークを経由しないので、ログオン権限のないネットワークに接続されたプリンターを一時的に使用するような場合にも使用できます。

操作パネルのNFC機能もWi-Fi Direct (シンプルAP) を有効にすると使用できるようになります。

操作パネルから Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続を有効にする

1. プリンターの操作パネルで   を選択します。

2. 「Wi-Fi Direct」を選択します。

既にWi-Fi Direct (シンプルAP) が有効になっている場合は、接続状態が表示されます。

3. 「設定に進む」を選択します。

4. 「設定を開始する」を選択します。

Wi-Fi Direct (シンプルAP) が有効になると、ネットワーク (SSID) とパスワードが表示されます。

5. 画面を閉じます。

参考 スマートフォンやタブレットなどから、表示されたSSIDとパスワードを使ってWi-Fiで接続します。

Wi-Fi Direct (シンプルAP) の設定を変更する

Wi-Fi Direct (シンプルAP) が有効なとき、  - 「Wi-Fi Direct」 - 「設定に進む」を選択すると、以下のメニューが表示され設定を変更できます。

パスワードを変更する

プリンターに接続するWi-Fi Direct (シンプルAP) のパスワードを変更します。パスワードに設定できるのは、操作パネルのソフトキーボードに表示されたASCII文字です。

パスワードを変更すると接続しているデバイスは全て切断されます。パスワードを変更した場合は、接続する機器から新しいパスワードで接続し直してください。

Wi-Fi Direct（シンプルAP）を無効にする

Wi-Fi Direct（シンプルAP）を無効にします。無効にすると接続しているデバイスは全て切断されます。

スマートデバイス情報を削除する

プリンターが保持しているスマートデバイスのWi-Fi Direct機能を使った接続情報の登録を削除します。
Wi-Fi Directに対応しているAndroidデバイスの場合、デバイスからプリンターにWi-Fi Direct機能で接続できます。接続時に登録を選択した場合、接続を許可または拒否したデバイスの接続情報をプリンターが保持します。登録のあるデバイスは、次のWi-Fi Direct機能を使った接続時に、登録情報に基づいて接続を許可、または拒否されます。

参考 Wi-Fi Direct（シンプルAP）の有効、無効と無線機器の登録情報（スマートデバイス情報）の削除は、Web Configの「ネットワーク」タブ - 「Wi-Fi Direct」からも設定できます。

接続方法を変更する

既存のネットワーク接続方法を変更します。ネットワークが正常に動いている状態で変更してください。
IPアドレス取得を手動設定にしている場合、接続変更するネットワークで同じIPアドレスが使えるか、ネットワーク管理者に確認してから操作を始めてください。

参考 無線LANを有効にすると、有線LANは無効になります。

関連情報

- ➔ [「有線LANから無線LANへの接続変更」 138ページ](#)
- ➔ [「無線LANから有線LANへの接続変更」 139ページ](#)

有線LANから無線LANへの接続変更

操作パネルで無線LAN接続に変更する

プリンターの操作パネルで有線LAN接続から無線LAN接続に変更します。変更方法は操作パネルを使った無線LAN接続設定と同じです。このマニュアル内の無線LAN接続設定の説明をご覧ください。

関連情報

- ➔ [「操作パネルから無線LAN（Wi-Fi）を手動で設定する」 26ページ](#)

Web Configで無線LAN接続に変更する

Web Configを使って有線LANから無線LANに接続変更します。

1. Web Configで[ネットワーク] タブ - [無線LAN] を選択します。
管理者パスワードが設定されている場合は、ユーザー名とパスワードを入力して管理者としてログオンします。
2. [設定] をクリックします。
3. 表示されたSSIDの一覧から接続したいネットワーク（SSID）を選択して、パスワードを入力します。
アクセスポイントの設定によってはSSID が表示されないことがあります。その場合は[SSID入力] を選択して、接続するSSIDを直接入力してください。
4. [次へ] をクリックします。
5. 表示された内容を確認して[設定] をクリックします。
6. プリンターに接続されているLANケーブルを抜きます。

 **参考** Epson Device Adminを使用して接続変更することもできます。詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

- ➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)
- ➡ [「Epson Device Admin」 131ページ](#)

無線LANから有線LANへの接続変更

操作パネルで有線LAN接続に変更する

無線LAN（Wi-Fi）接続時に操作パネルから有線LAN接続に変更するには以下の手順で操作します。

1. ホーム画面で[設定] を選択します。
2. [本体設定] - [ネットワーク設定] - [有線LAN接続設定] を選択します。
3. [設定を開始する] をタップします。
4. メッセージを確認して画面を閉じます。
一定時間経過すると、自動で画面が閉じます。
5. プリンターとルーターをLANケーブルで接続します。

関連情報

- ➡ [「有線LANに接続する」 25ページ](#)

Web Configで有線LAN接続に変更する

Web Configを使って無線LAN接続から有線LAN接続に変更します。

1. Web Configで [ネットワーク] タブ - [無線LAN] を選択します。
管理者パスワードが設定されている場合は、ユーザー名とパスワードを入力して管理者としてログオンします。
2. [無効にする] をクリックします。
3. メッセージを確認して、 [OK] を選択します。
4. プリンターとハブ (LANスイッチ) をLANケーブルで接続します。

 **参考** Epson Device Adminを使用して接続変更することもできます。詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 31ページ](#)
- ➔ [「Epson Device Admin」 131ページ](#)

プリンターが使用するポート

プリンターは以下のポートを使用します。必要に応じてあらかじめネットワーク管理者にポート使用を許可してもらいます。

付録

送信元（クライアント）	用途	送信先（サーバー）	プロトコル	ポート番号
プリンター	ファイル送信（プリンター本体のスキャン to フォルダー機能利用時）	FTPサーバー	FTP（TCP）	20
				21
		ファイルサーバー	SMB（TCP）	445
			NetBIOS（UDP）	137
				138
			NetBIOS（TCP）	139
	メール送信（プリンター本体のスキャン to メール機能利用時）	SMTPサーバー	SMTP（TCP）	25
			SMTP SSL/TLS（TCP）	465
			SMTP STARTTLS（TCP）	587
	POP before SMTP接続（プリンター本体のスキャン to メール機能利用時）	POPサーバー	POP3（TCP）	110
	Epson Connectを利用した機能の利用	Epson Connect Server	HTTPS	443
			XMPP	5222
	Googleクラウドプリントからの印刷	Google Cloud Print Server	HTTPS	443
			XMPP	5222
	ユーザー情報取得（プリンター本体のアドレス帳利用時）	LDAPサーバー	LDAP（TCP）	389
			LDAP SSL/TLS（TCP）	636
			LDAP STARTTLS（TCP）	389
	メール送信時のユーザー認証 ユーザー情報取得時のユーザー認証（プリンター本体のアドレス帳利用時）	KDCサーバー	Kerberos	88
	WSDの制御	クライアントコンピューター	WSD（TCP）	5357
	Document Capture Proからのプッシュスキャン時のコンピューター探索	クライアントコンピューター	Network Push Scan Discovery	2968

送信元（クライアント）	用途	送信先（サーバー）	プロトコル	ポート番号
クライアントコンピュータ	EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、プリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンター探索	プリンター	ENPC（UDP）	3289
	EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、エプソンのプリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンターMIB情報の取得と設定	プリンター	SNMP（UDP）	161
	LPRデータの転送	プリンター	LPR（TCP）	515
	RAWデータの転送	プリンター	RAW （Port9100） （TCP）	9100
	WSDのプリンター探索	プリンター	WS-Discovery （UDP）	3702
	Document Capture Proからのスキャンデータの転送	プリンター	Network Scan （TCP）	1865
	Document Capture Proからのプッシュスキャン時のジョブ情報取得	プリンター	Network Push Scan	2968

設定メニューの説明

操作パネルのホーム画面で「設定」を選択すると、プリンターのいろいろな設定ができます。

本体設定メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

「設定」 - 「本体設定」

本体設定-基本設定メニューの説明

画面の明るさ設定：

画面の明るさを調整します。（初期値は「9」）

音の設定：

音量や音の種類を設定します。

ミュート：

〔オン〕 にすると、操作パネルをタップしたときやボタンを押したときの音を出しません。（初期値は〔オフ〕）

通常時：

- 着信音
ファクスが着信したときの音の大きさを設定します。（初期値は〔5〕）
- 受信完了音
ファクスの受信が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は〔0〕）
- 受信印刷完了音
ファクス受信して印刷が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は〔5〕）
- ダイヤル中スピーカー音
ファクス送信中のダイヤル音の大きさを設定します。（初期値は〔5〕）
- 送信完了音
ファクスの送信が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は〔0〕）
- 操作音
操作パネルをタップしたときやボタンを押したときの音の大きさを設定します。（初期値は〔5〕）
- エラー音
エラーの発生を知らせる音の大きさを設定します。（初期値は〔5〕）
- 音の種類
音の種類を選択します。（初期値は〔パターン1〕）

動作音低減モード時：

- 着信音
ファクスが着信したときの音の大きさを設定します。（初期値は〔0〕）
- 受信完了音
ファクスの受信が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は〔0〕）
- 受信印刷完了音
ファクス受信して印刷が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は〔0〕）
- ダイヤル中スピーカー音
ファクス送信中のダイヤル音の大きさを設定します。（初期値は〔0〕）
- 送信完了音
ファクスの送信が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は〔0〕）
- 操作音
操作パネルをタップしたときやボタンを押したときの音の大きさを設定します。（初期値は〔0〕）
- エラー音
エラーの発生を知らせる音の大きさを設定します。（初期値は〔0〕）
- 音の種類
音の種類を選択します。（初期値は〔パターン1〕）

ADF重送検知：

有効にすると、ADFで原稿を給紙したときの重送を検知します。（初期値は〔オン〕）

スリープ移行時間設定：

プリンターが動作しない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行する時間を設定します。設定した時間が過ぎると画面が暗くなります。（初期値は [1分]）

スリープ復帰方法：

タッチパネルで復帰：

タッチパネルをタップしてスリープ（省電力）モードから復帰します。無効のときはボタンを押して復帰します。この機能を無効にすると異物などの接触による誤動作を防ぎます。有効時間の設定もできます。

自動電源オフ：

プリンターが動作していない状態が続いたときに、自動で電源を切ります。切るまでの時間は任意に設定できます。（初期値は [設定しない]）

日付/時刻設定：

- 日付/時刻
現在の日時を入力します。
- 時差
協定世界時（UTC）との時差を設定します。

言語選択/Language：

画面に表示する言語を選択します。（初期値は [日本語]）

初期モード：

プリンターの電源を入れたときや [無操作タイマー設定] を有効にしたときに、初期画面として表示するモードを指定します。（初期値は [ホーム]）

ホーム画面編集：

操作パネルの画面で表示するアイコンの配置を変更します。アイコンの追加、消去、移動ができます。

ホーム背景設定：

操作パネルの画面の背景色を変更します。（初期値は [ホワイト]）
外部メモリーにある任意の画像にすることもできます。設定できる画像データはJPEG形式です。

コピー画面編集：

操作パネルのコピー画面で表示する項目の配置を変更します。変更した後に項目の配置を初期状態に戻すこともできます。

無操作タイマー設定：

[オン] にすると、無操作状態が設定時間続いた場合にメッセージを表示して初期画面に戻ります。利用者制限の利用者として操作しているときは、メッセージが表示されて自動的にログオフされて初期画面に戻ります。状態確認画面や中止またはストップボタンから印刷一時停止をして無操作状態が設定時間続いた場合、印刷が自動再開します。この機能を [オフ] にすると印刷一時停止をしても自動再開はされません。（初期値は [オン]）

付録

カラー印刷枚数カウント警告：

［オン］を選択すると、グレースケール印刷がカラー印刷としてカウントされるときに、印刷を継続するか確認するメッセージを表示します。（初期値は［オン］）

ジョブ/状態の初期画面

［ジョブ/状態の初期画面］をタップしたときに表示する情報を選択します。（初期値は［プリンター状態］）

画面切替効果：

［オン］を選択すると、画面切り替え時のアニメーションの動作が有効になります。［オフ］を選択すると画面の切り替えが早くなります。（初期値は［オン］）

管理者ロック項目

［設定］ - ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［セキュリティ設定］ - ［管理者設定］ - ［管理者ロック］が有効になっている場合にロックされる項目です。

項目		パネルロック
基本設定		×
	画面の明るさ設定	×
	音の設定	×
	ADF重送検知	○*1
	スリープ移行時間設定	○
	スリープ復帰方法	×
	自動電源オフ	○
	日付/時刻設定	○
	言語選択/Language	○*1
	初期モード	○
	ホーム画面編集	○
	ホーム背景色設定	○
	コピー画面編集	○
	無操作タイマー設定	○
	カラー印刷枚数カウント警告	○
	ジョブ/状態の初期画面	○
	画面切替効果	○

○＝ロックされます。

- ＝ロックされません。

*1：[本体設定] - [管理者用設定] - [セキュリティー設定] - [機能制限] でロックをオン/オフできます。

本体設定-プリンター設定メニューの説明

給紙装置設定：

用紙設定：

セットした印刷用紙のサイズと種類を設定します。[用紙サイズの自動検知] を有効にすると、プリンターが自動的に、給紙装置にセットされた用紙サイズを判別します。（初期値は各給紙装置ともに用紙サイズ [A4] 、用紙種類 [普通紙] 、用紙サイズの自動検知 [オン] ）

MPトレイ優先：

[オン] を選択すると、MPトレイからの給紙を優先します。（初期値は [オフ] ）

A4/Letter自動切替：

有効にすると、A4サイズがないときにLetterサイズの給紙装置から給紙します。また、逆にLetterサイズがないときにA4サイズの給紙装置から給紙します。（初期値は [オフ] ）

給紙口自動選択：

コピー、ファクス、その他（印刷全般）で使用する給紙装置を設定します。複数の給紙装置を有効にすると、印刷ジョブの用紙設定と同じ設定になっている給紙装置から自動的に給紙します。（初期値は各給紙装置ともに [オン] ）

- コピー
- ファクス
- その他(印刷全般)

エラー通知：

有効にすると、印刷設定で指定したサイズや用紙種類と給紙した用紙設定が合致しないときにエラーメッセージを表示します。（初期値は用紙サイズエラー [オン] 、用紙種類エラー [オン] ）

設定画面自動表示：

[オン] にすると、給紙装置に用紙をセットするときに [用紙設定] を表示させます。（初期値は [オン] ）

ユーザー定義サイズリスト：

ユーザー定義サイズの設定を変更できます。頻繁に使用する不定形の用紙サイズを設定しておくとう便利です。

排紙先：コピー：

コピーの排紙先を設定します。（初期値は [フェイスダウン排紙トレイ] ）

排紙先：ファクス：

受信したファクスの排紙先を設定します。（初期値は [フェイスダウン排紙トレイ] ）

排紙先：その他(印刷全般)：

コピーとファクス以外の、印刷全般での排紙先を設定します。（初期値は[フェイスダウン排紙トレイ]）

印刷言語：

USBまたはネットワーク接続時の印刷言語を選択します。（初期値は[Auto]）

外部機器(PC)印刷設定：

外部機器からプリンタードライバーを経由せずに印刷したときの設定をします。

上オフセット設定：

用紙の上側の余白を設定します。（初期値は[0.0]）

左オフセット設定：

用紙の左側の余白を設定します。（初期値は[0.0]）

裏面上オフセット設定：

両面印刷するときの用紙裏側の上側の余白を設定します。（初期値は[0.0]）

裏面左オフセット設定：

両面印刷するときの用紙裏側の左側の余白を設定します。（初期値は[0.0]）

白紙節約モード：

印刷データ内の白紙ページを無視して印刷します。（初期値は[オフ]）

ジョブ仕分け

[する] にすると、印刷物をジョブごとに交互にずらして排紙します。（初期値は[しない]）

90度回転

[する] にすると、複数部印刷時に、印刷した用紙を1部ずつ縦横交互に排紙します。（初期値は[しない]）

ユーザー間合紙設定

有効にすると、コンピューターから印刷するときに複数のジョブが続いた場合、送信元ごとに仕切りの紙を挿入します。仕切りの紙は指定した給紙装置から挿入されます。（初期値は[オフ]）

PDL印刷設定：

PostScript印刷時の設定ができます。

共通設定：

- 用紙サイズ
PostScript印刷時の用紙サイズを選択します。（初期値は[A4]）
- 用紙種類
PostScript印刷時の用紙種類を選択します。（初期値は[普通紙1]）
- 用紙方向
PostScript印刷時の印刷方向を選択します。（初期値は[縦]）

付録

- 印刷品質
PostScript印刷時の印刷品質を選択します。（初期値は〔標準品質〕）
- インクセーブモード
〔オン〕を選択すると、印刷濃度を薄くしてインクを節約します。（初期値は〔オフ〕）
- 印刷順序
正順印刷：
1ページ目から印刷します。（初期値は〔正順印刷〕）
逆順印刷：
最終ページから印刷します。
- コピー枚数設定
コピー枚数を選択します。（初期値は〔1〕）
- とじ位置
用紙のとじ位置を選択します。（初期値は〔左右開き〕）
- 自動排紙設定
〔オン〕を選択すると、途中で印刷が停止したページを自動で排紙します。（初期値は〔オフ〕）
- 両面印刷
〔オン〕を選択すると、用紙の表裏に印刷します。（初期値は〔オフ〕）

PS設定：

- PS3エラーシート
〔オン〕を選択すると、PostScript印刷またはPDF印刷時にエラーが発生したときに、エラー状態を記載したシートを印刷します。（初期値は〔オフ〕）
- Coloration
PostScript印刷のカラーモードを選択します。（初期値は〔カラー〕）
- Binary
バイナリー形式の画像が含まれるデータの印刷時に〔オン〕を選択します。ドライバーの設定がASCIIになっていてもアプリケーションがバイナリーデータを送ってしまうことがありますが、この設定を有効にすると印刷できます。（初期値は〔オフ〕）
- PDF印刷 用紙サイズ
PDFファイルを印刷するときの用紙サイズを選択します。〔自動〕を選択すると、印刷データの最初のページの用紙サイズに合わせて印刷します。（初期値は〔自動〕）

自動エラー解除：

両面印刷やメモリー不足のエラーが発生したときの動作を選択します。（初期値は〔オフ〕）

- オン
両面印刷でエラーが発生したときは、一定時間メッセージを表示してから自動で片面を印刷します。印刷中にプリンターのメモリー不足になったときは、メッセージを表示してからプリンターで処理できたところだけを印刷します。
- オフ
エラーメッセージを表示して印刷を中止します。

外部メモリー：

〔有効〕にすると、プリンターに挿入した外部メモリーに接続できるようになります。〔無効〕にすると、プリンターに挿入した外部メモリーへのデータ保存を禁止します。機密文書の不正スキャンによるデータの持ち出しを未然に防ぎます。（初期値は〔有効〕）

こすれ軽減：

有効にすると印刷時のこすれを軽減します。ただし、印刷速度が遅くなることがあるため、印刷結果にこすれがあるときだけ有効にしてください。この機能でこすれを軽減できない場合は、印刷濃度、コピー濃度を薄くしてみてください。（初期値は［オフ］）

動作音低減モード：

有効にすると、印刷時の動作音が低減されます。ただし、印刷速度が遅くなる場合があります。用紙種類や印刷品質の設定によっては、動作音が変わらないことがあります。（初期値は［オフ］）

フィニッシャー仕上げ改善：

有効にするとステープル、シフト(ずらし)時の用紙のぼらつきを軽減します。ただし、印刷に時間がかかります。（初期値は［オフ］）

印刷速度優先

［オフ］にすると、用紙種類や印刷データの条件に合わせ、印刷速度を下げた状態で印刷します。速度を下げて印刷することで、排紙の乱れや紙詰まりを軽減（改善）できる可能性があります。（初期値は［オン］）

コンピューターのUSB接続

有効にすると、USB接続されたコンピューターからのアクセスを許可します。
無効にすると、ネットワークを経由しない印刷を禁止できます。

USB I/Fタイムアウト時間設定：

USB接続したコンピューターからPostScriptプリンタードライバーを経由した印刷で、ジョブを受信してからUSB接続を切断するまでの時間を指定します。PostScriptプリンタードライバーを経由したジョブは、データの終わりが不明瞭のため、送信が終了してもUSB接続が切断されないことがあります。そのため、指定した時間が経過した後に自動で通信を遮断してジョブを終了させます。0（ゼロ）に設定すると通信の切断は行いません。（初期値は［60秒］）

本体設定-ネットワーク設定メニューの説明

無線LAN接続設定：

無線LANでプリンターをネットワークに接続します。接続方法を選択し、画面の指示に従って設定してください。

- ルーター
- Wi-Fi Direct

有線LAN接続設定：

LANケーブルでプリンターとハブを接続してネットワークに接続します。このとき、無線LAN接続は無効になります。

ネットワーク情報：

現在のネットワーク設定の内容を表示または印刷します。

接続診断：

プリンターのネットワーク接続状況を確認して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。接続に問題があるときは診断結果に従って対処してください。

詳細設定：

設定項目は次の通りです。

- デバイス名
- TCP/IP
- プロキシサーバー
- メールサーバー
- IPv6アドレス（初期値は [有効] ）
- MS Network共有（初期値は [有効] ）
- NFC（初期値は [有効] ）
- Link Speed & Duplex（初期値は [自動] ）
- HTTPをHTTPSにリダイレクト（初期値は [有効] ）
- IPsec/IPフィルタリングの無効化（初期値は [無効] ）
- IEEE802.1Xの無効化（初期値は [無効] ）

本体設定-Webサービス設定メニューの説明

Epson Connect設定：

Epson Connect サービスへの登録状態を表示します。

「登録する」を選択すると表示される画面の指示に従って登録します。
登録すると以下の設定ができます。

- サービスの一時停止/再開
- 登録削除

詳細は、以下のサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

Google クラウド プリント設定：

Google クラウド プリントにプリンターが登録や接続されているかを確認します。
登録すると以下の設定ができます。

- サービスの有効/無効
- 登録削除

Google サービスへの登録やサービス利用の詳細は、以下のサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

本体設定 - 管理者用設定メニューの説明

システム管理者としてプリンターを管理するときに使用します。オフィスなどでプリンターを共有する際に、個人が使用できる機能を制限できます。

アドレス帳管理：

以下の設定ができます。

アドレス帳登録・変更：

ファクス、 スキャン toEメール 機能、スキャン to フォルダー 機能機能で使うアドレスを登録、削除します。

常用管理：

頻繁に使うアドレスを登録して簡単にアクセスできるようにします。また、アドレスの並び順を変えることができます。

アドレス帳印刷：

アドレス帳を印刷します。

アドレス帳表示方法設定：

アドレス帳の表示方法を変更します。

アドレス帳検索設定：

アドレス帳の検索方法を変更します。

プリントヘッドのクリーニング設定：

プリントヘッドのクリーニングについて、以下の設定をします。

自動クリーニング：

印刷前または印刷後にプリントヘッドのノズルの目詰まりを確認します。
確認の結果、プリントヘッドのクリーニングが必要と判断された場合、自動でクリーニングをします。

定期クリーニング：

有効にすると、一定枚数印刷後の印刷ジョブ終了後にプリントヘッドのクリーニングをします。

カラーカウント：

カラーで送信されたデータのカウント方法を選択します。

自動判別：

カラーかモノクロのどちらでページ数をカウントするかを自動で判別します。

カラー固定:

必ずカラーでカウントします。

コピーカラー判定：

〔自動〕でコピーしたとき、原稿がモノクロかカラーかを判定する度合いを設定します。

〔モノクロより〕から〔カラーより〕の5段階で設定できます。

〔モノクロより〕に近づけるほどモノクロの原稿と認識しやすくなり、〔カラーより〕に近づけるほどカラーの原稿と認識しやすくなります。

内部メモリーデータ削除：

この項目はPCL、PostScript対応のプリンターのみ表示されます。

プリンターの内蔵メモリーにダウンロードしたPCL印刷用のフォントやマクロ、パスワード印刷ジョブを削除します。

HDD消去設定：

内蔵ハードディスクに保存されているデータの処理を設定します。

本機は認証印刷や大量のコピー、スキャン、印刷などのデータを扱うために、一時的にハードディスクにこれらのジョブを保存しています。これらのデータを安全に消去する設定をします。

メモリー自動消去設定：

有効にすると、印刷やスキャンが終了した場合など、対象のデータが不要になったときに逐次消去されます。有効にすると、印刷やスキャンが終了した場合など、対象のデータが不要になったときに逐次消去されます。

ハードディスクへのアクセスが必要なので省電力モードに入る時間が遅くなります。

メモリー全消去：

ハードディスク内の全データを消去します。実行中は他の操作や、プリンターの電源を切ることができません。

高速：専用の消去コマンドによって全データを消去します。

上書き：専用の消去コマンドで全データを消去し、さらに全領域に別データを上書きして全データを消去します。

セキュリティー設定：

以下の設定ができます。

機能制限：

パネルロックを有効にしたときに、以下の項目の設定変更を許可します。

- ジョブ履歴表示
- アドレス帳の登録・変更許可
- ファクスの宛先履歴表示
- ファクスの通信履歴表示

- ファクスのレポート印刷許可
- スキャン to フォルダー機能 保存履歴の印刷許可
- スキャン to メール機能 宛先履歴表示
- スキャン to メール機能 送信履歴表示
- スキャン to メール機能 送信履歴の印刷許可
- 言語選択の変更許可
- こすれ軽減の変更許可
- 動作音低減モードの変更許可
- 印刷速度優先の変更許可
- ADF重送検知の変更許可
- 宛先情報の保護
- コピー排紙先設定の変更許可
- 電源オフの許可

利用者制限：

有効にすると、使用できる機能をユーザーごとに制限します。利用者制限された機能は、ユーザー名とパスワードが要求され、操作パネルで入力してから使用します。

- 利用者情報がないジョブの許可設定
認証情報のないジョブの実行を許可するかどうかを設定します。
- パスワード印刷のみ受け付ける
パスワードが設定されたジョブのみ印刷するかどうかを設定します。
- 実行中ジョブへのアクセス制限
印刷したユーザー以外のユーザーがジョブを中止することを許可するかどうかを設定します。

管理者設定：

- 管理者パスワード
管理者パスワードの設定や変更、初期化をします。
- 管理者ロック
操作パネルの設定を変更できないように「管理者パスワード」でロックします。

パスワードポリシー：

有効にすると、以下のパスワードのルールを設定できます。

- パスワード最少文字数
- 英大文字を含める
- 英小文字を含める
- 数字を含める
- 記号を含める

監査ログ

有効にすると、監査ログが記録されます。

起動時のプログラム検証

有効にすると、プリンター起動時にプログラムを検証します。

初期設定に戻す：

以下のメニューの設定値を初期値に戻します。

- ネットワーク設定
- コピー設定
- スキャン設定
- ファクス設定
- 全て初期化

ファームウェアのアップデート：

プリンターのファームウェア情報を確認できます。

定期通知設定：

有効にすると、最新のファームウェアがあるかどうか定期的に確認してお知らせします。

印刷ページ数の確認メニューの説明

プリンター購入時からの総印刷ページ数、モノクロ印刷ページ数、カラー印刷ページ数を表示します。[シートを印刷] をタップすると印刷します。

[本体情報を送信] アイコンが表示される場合は、締日以降に印刷したページ（面）数を表示します。

消耗品情報メニューの説明

インク残量やメンテナンスボックス空き容量の目安が確認できます。

！マークは、インクの交換時期またはメンテナンスボックスの空き容量が限界に近づいていることを示します。x マークは、インク残量が限界値以下またはメンテナンスボックスの空き容量がない（交換が必要）ことを示しています。

プリンターのお手入れメニューの説明

印刷品質を保つためのプリントヘッドのお手入れができます。

プリントヘッドのノズルチェック：

プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっているかどうかを確認するために、チェックパターンを印刷します。

プリントヘッドのクリーニング：

プリントヘッドのノズルをクリーニングして、目詰まりを解消させます。

言語選択/Languageメニューの説明

画面に表示する言語を選択します。（初期値は「日本語」）

情報確認/印刷メニューの説明

本体ステータスシートの印刷：

プリンター情報シート：

プリンターの状態や設定を印刷します。

消耗品情報シート：

消耗品の情報を印刷します。

使用履歴シート：

プリンターの使用履歴を印刷します。

PS3フォントリスト：

PostScript印刷で使えるフォントリストを印刷します。

PCLフォントリスト：

PCL印刷で使用可能なフォントリストを印刷します。

ネットワーク：

有線・無線接続状態：

現在の接続状態を表示します。

Wi-Fi Direct接続状態：

現在の接続状態を表示します。

メールサーバー設定情報：

現在の設定状態を表示します。

ステータスシート印刷：

現在のネットワーク設定の内容を印刷します。

アドレス帳管理メニューの説明

アドレス帳登録・変更：

ファクス、スキャン toEメール 機能、スキャン to フォルダ 機能で使うアドレスを登録、削除します。

常用管理：

頻繁に使うアドレスを登録して簡単にアクセスできるようにします。また、アドレスの並び順を変えることができます。

アドレス帳印刷：

アドレス帳を印刷します。

アドレス帳表示方法設定：

アドレス帳の表示方法を変更します。（初期値は［タイトル表示］）

アドレス帳検索設定：

アドレス帳の検索方法を変更します。（初期値は［前方一致］）

ユーザー設定メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

［設定］ - ［ユーザー設定］

管理者によってロックされているメニューは、管理者以外は設定を変更できません。
以下のメニュー項目の初期値を用途に合わせて変更することができます。

- スキャン to フォルダー 機能
- スキャン toEメール 機能
- スキャン to 外部メモリー 機能
- スキャン to クラウド 機能
- コピー設定
- ファクス

認証システムメニューの説明

認証装置の状態や、Epson Open Platformの情報を確認できます。

認証装置ステータス

認証装置の状態を表示します。

Epson Open Platform情報

Epson Open Platformの情報を表示します。

ファクス設定編

ファクスを使う前に

ファクスを使うには以下の作業をします。

- プリンターと電話回線、外付け電話機（必要に応じて）の接続
- [ファクス設定ウィザード] で、必須の基本設定

その他、必要に応じた設定をします。

- ファクスの保存先や転送先、その設定で必要なネットワークやメールサーバーの設定
- アドレス帳の登録
- [ファクス] メニューの設定項目の初期値設定（[ユーザー設定]）
- レポートを印刷する設定（[レポート設定]）

関連情報

- ➔ [「電話回線に接続する」158ページ](#)
- ➔ [「ファクスを使えるようにする（ファクス設定ウィザード）」162ページ](#)
- ➔ [「項目を選んでファクスの機能を設定する」163ページ](#)
- ➔ [「ファクス設定メニューの説明」177ページ](#)
- ➔ [「ネットワーク接続編」18ページ](#)
- ➔ [「サーバーや共有フォルダーを設定する」41ページ](#)
- ➔ [「アドレス帳を使う」67ページ](#)
- ➔ [「ユーザー設定メニューの説明」156ページ](#)
- ➔ [「ユーザー設定メニュー」178ページ](#)
- ➔ [「レポート設定メニュー」186ページ](#)

電話回線に接続する

使用できる電話回線

一般加入電話回線（PSTN）や構内交換機（PBX）で使用できます。

以下の電話回線やシステムでは使用できないことがあります。

- ADSLや光ファイバーなどのIP電話回線
- デジタル回線（ISDN）
- 一部の構内交換機（PBX）
- キャッチホンなど各種サービスの提供を受けている電話回線
- 電話回線とプリンターとの間にターミナルアダプター、VoIPアダプター、スプリッター、ADSLモデムなどの各種アダプターを接続しているとき
- ドアホンやビジネスホン

プリンターを電話回線に接続する

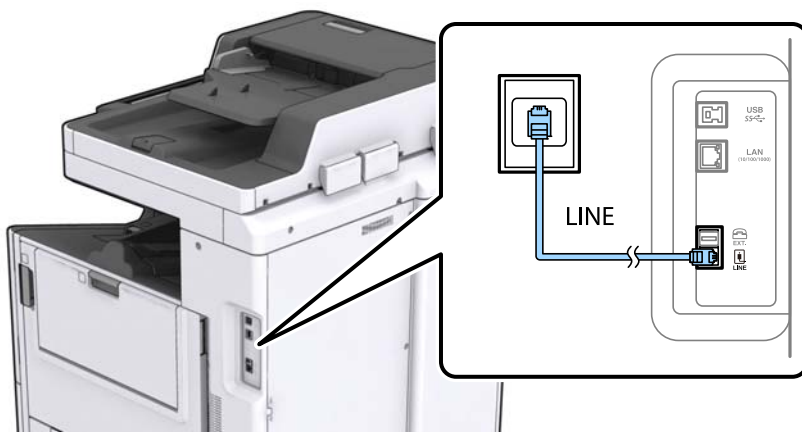
RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルで電話回線とプリンターを接続します。プリンターにお手持ちの電話機を接続するときも、RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルを使います。

参考 プリンターのEXT. ポートのキャップは、お手持ちの電話機を外付け電話機として接続するときに外します。電話機を接続しないときはキャップを外さないでください。

落雷が頻繁に発生する地域では、サージプロテクターのご使用をお勧めします。

一般回線または構内交換機（PBX）に接続する

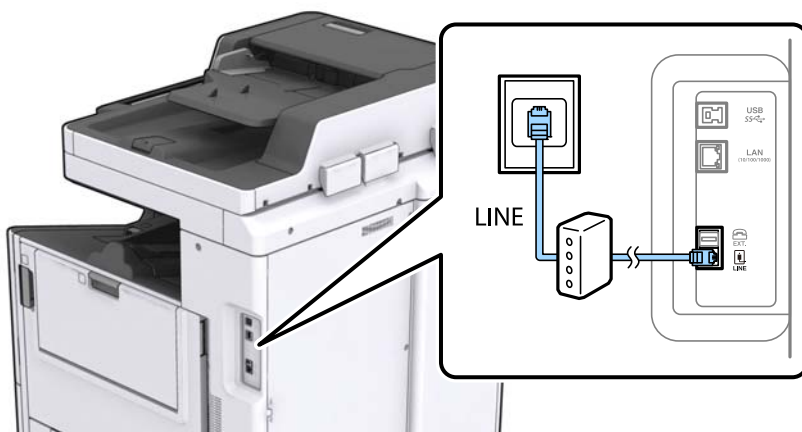
電話回線やPBXポートと、プリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。



ADSLまたはISDNに接続する

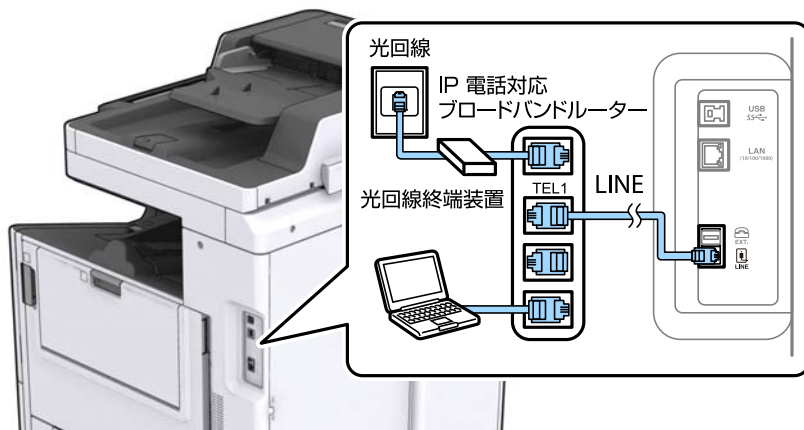
ADSLモデムまたはISDNターミナルアダプターと、プリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはモデムやターミナルアダプターのマニュアルをご覧ください。

参考 ADSLモデムにスプリッターが内蔵されていないときは、スプリッターを接続してください。



光回線に接続する

IP電話対応のブロードバンドルーターとプリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはご契約の回線事業者にお問い合わせください。



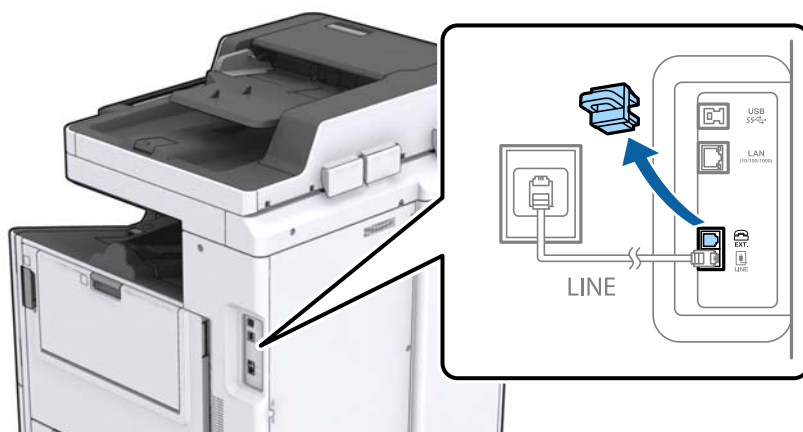
参考 2回線契約していないときは必ずルーターのTEL1（ポート名はルーターによって異なります。Aや1などの先頭の番号）に接続してください。

電話機とプリンターを接続する

1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、お手持ちの電話機を外付け電話機としてプリンターに接続します。

- 参考**
- ・ ファクス機能付き電話は、ファクス機能を無効にしてから接続してください。詳しくは電話機のマニュアルをご覧ください。
 - ・ 留守番電話機能を使うときは、ファクスを受信するまでの〔呼び出し回数〕を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。
 - ・ ナンバーディスプレイ機能を使うときは、プリンターの〔ナンバー・ディスプレイ対応〕設定を変更してください。

1. プリンター背面部のEXT.ポートからキャップを取り外します。



2. 電話機とEXT.ポートをモジュラーケーブルで接続します。



参考

1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、必ず外付け電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。同回線にプリンターと並列で接続すると（ブランチ接続）、プリンターも電話機も正常な動作ができなくなります。

3. ホーム画面で「ファクス」をタップします。

4. 受話器を上げます。

以下のように「送信」が有効になれば、接続が成功しています。



関連情報

- ➡ 「ファクスを使えるようにする（ファクス設定ウィザード）」 162ページ
- ➡ 「留守番機能付き電話機を使えるようにする」 166ページ
- ➡ 「外付け電話機の操作だけで受信できるようにする（リモート受信）」 167ページ
- ➡ 「受信モードを設定する」 163ページ

ファクスを使えるようにする（ファクス設定ウィザード）

〔ファクス設定ウィザード〕で基本設定が完了し、ファクス送受信が可能になります。
ウィザードは、初回電源投入時に自動で表示されます。手動でプリンターの操作パネルからも表示できます。初回電源投入時にスキップした場合や設置場所を変更した場合などは、手動で設定してください。

- ウィザードに従って設定する項目は以下です。
 - 〔発信元設定〕（〔発信元番号〕と〔発信元名〕）
 - 〔受信モード〕（〔自動〕、〔ファクス/電話自動切替〕または〔手動〕）
- 接続環境に応じて自動的に設定される項目は以下です。
 - 〔ダイヤル種別〕（〔プッシュ〕、〔ダイヤル(10PPS)〕など）
 - 〔接続回線〕（〔一般回線(PSTN)〕または〔構内交換機(PBX)〕）
 - 〔ダイヤルトーン検出〕
- その他の基本設定はウィザードでは変更されません。

画面の指示に従って〔ファクス設定ウィザード〕で基本設定をします。

1. プリンターが電話回線に接続されていることを確認します。

参考 最後に接続状態を確認するため、必ずプリンターを電話回線に接続してから始めてください。

2. ホーム画面から、〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔ファクス設定ウィザード〕の順に選択します。

3. 〔確認〕画面で、〔設定開始〕をタップします。

ウィザードが起動します。

4. 発信元名の入力画面で自局の名前（送信者の会社名など）を入力して、〔OK〕をタップします。

参考 発信元名と発信元番号は、送信文書のヘッダー情報になります。

5. 発信元番号の入力画面で自局（送信者）のファクス番号を入力して、〔OK〕をタップします。

6. 〔受信モード設定〕画面で、プリンターに電話機を接続して使うかどうかを選択します。

- 使う：〔はい〕を選択します。
- 使わない：〔いいえ〕を選択します。〔受信モード〕は〔自動〕に設定されます。

7. 〔受信モード設定〕画面で、自動受信するかどうか選択します。

- 自動受信する：〔はい〕を選択します。〔受信モード〕は〔ファクス/電話自動切替〕に設定されます。
- 自動受信しない：〔いいえ〕を選択します。〔受信モード〕は〔手動〕に設定されます。

8. 〔設定確認〕画面で設定内容を確認し、〔次へ〕をタップします。

修正するときは  をタップしてください。

9. 「機能診断実行」画面で「診断開始」を選択して、診断結果を印刷するメッセージが表示されたら「印刷開始」を選択します。

接続状態を確認できる ファクス機能診断レポート が印刷されます。

参考

- ・ レポートにエラーが表示されたら、レポートの指示に従って対処してください。
- ・ 「接続回線選択」画面が表示されたら接続回線を選択してください。
 - ・ 構内交換機（PBX）やターミナルアダプターに接続しているときは、「構内交換機(PBX)」を選択します。
 - ・ 一般加入電話回線（「一般回線(PSTN)」）に接続しているときは、「無効」画面で「確認」を選択します。
 ただし、「無効」にするとファクス番号の先頭の番号がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。

留守番機能付き電話機や、ナンバーディスプレイ電話機を接続したときは、他にも設定が必要です。外付け電話機接続時の設定を確認してください。下の関連情報を参照してください。

関連情報

- ➡ [「プリンターを電話回線に接続する」 159ページ](#)
- ➡ [「受信モードを設定する」 163ページ](#)
- ➡ [「留守番機能付き電話機を使えるようにする」 166ページ](#)
- ➡ [「発信元の電話番号を表示する設定にする（ナンバーディスプレイ機能）」 167ページ](#)
- ➡ [「外付け電話機の操作だけで受信できるようにする（リモート受信）」 167ページ](#)
- ➡ [「基本設定メニュー」 178ページ](#)

項目を選んでファクスの機能を設定する

プリンターの操作パネルを使って、プリンターのファクス機能を個別に設定できます。「ファクス設定ウィザード」を使って設定した項目も変更できます。詳しくは、「ファクス設定」メニューの説明ページをご覧ください。

参考

- ・ Web Configからプリンターのファクス機能を設定できます。
- ・ Web Configからの「ファクス設定」の表示や表示場所は、プリンターの操作パネルと異なることがあります。

関連情報

- ➡ [「ファクス設定メニューの説明」 177ページ](#)

受信モードを設定する

相手先から送られてきたファクスを受信する方法（受信モード）は3つあります。以下のメニューで設定します。

「設定」 - 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」 - 「受信モード」

受信モード	回線の使い方
手動	通話が主だが、ファクスにも使用する
自動	ファクス専用で使用する（外付け電話機は不要）
	ファクスと留守番電話機兼用で使用する

受信モード	回線の使い方
ファクス/電話自動切替	ファクスが主だが、通話にも使用する

関連情報

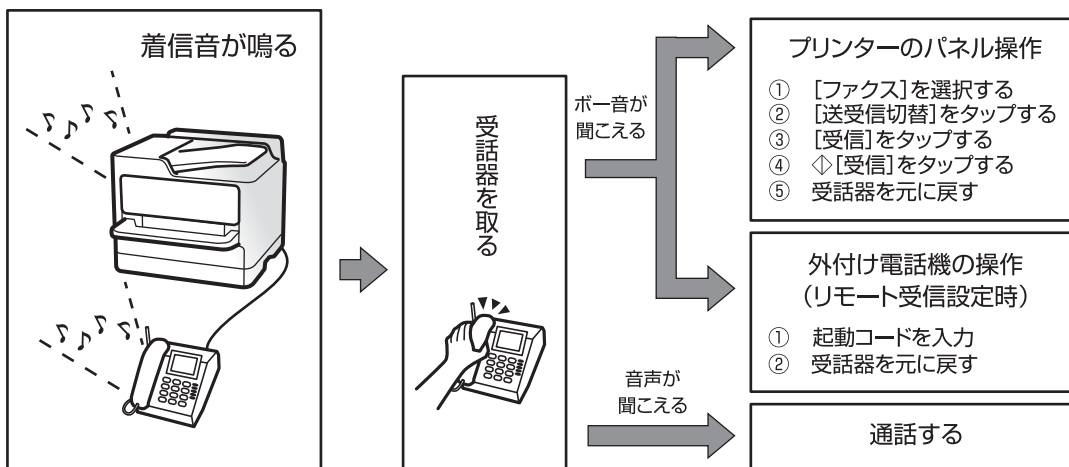
- ➡ 「自動モード」 165ページ
- ➡ 「ファクス/電話自動切替モード」 165ページ
- ➡ 「手動モード」 164ページ
- ➡ 「基本設定メニュー」 178ページ

手動モード

受信の仕方

外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。

- ファクス信号（ボー音）が聞こえたとき
ホーム画面で [ファクス] を選択し、[送受信切替] - [受信] - ◇ の順にタップして、受話器を元に戻す
- 通話の呼び出しだったとき
そのまま通話できる



外付け電話機の操作だけで受信する

[リモート受信] が設定してある場合、[起動コード] を入力するだけで受信できます。
外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。ファクス信号（ボー音）が聞こえたら、2桁の [起動コード] をダイヤルして受話器を元に戻します。

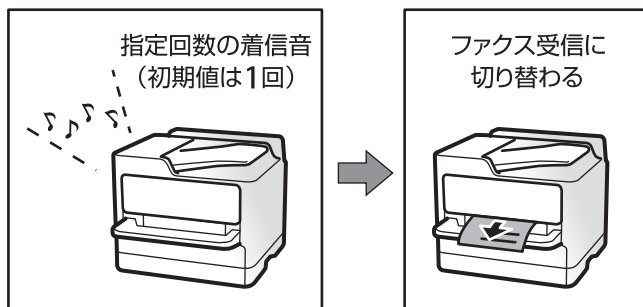
関連情報

- ➡ 「外付け電話機の操作だけで受信できるようにする (リモート受信)」 167ページ

自動モード

ファクス専用で回線を使用しているときの受信の仕方

【呼び出し回数】で指定した回数の着信音が鳴り終わると、自動でファクス受信に切り替わります。



参考 【呼び出し回数】を少なく設定するのがお勧めです。0回に設定すると、着信音を鳴らさずに受信できます。（無鳴動着信）

留守番電話機を接続しているときの受信の仕方

受信の仕方は以下です。

- 【呼び出し回数】で指定した回数の呼び出し中に留守番電話が応答したとき（留守番電話接続時）
 - ・ファクスの呼び出しだった：自動でファクス受信に切り替わる
 - ・通話の呼び出しだった：そのまま録音できる
- 呼び出し中に受話器を取ったとき
 - ・ファクスの呼び出しだった：【手動】モードと同じ手順で（ホーム画面から【ファクス】 - 【送受信切替】 - 【受信】 - ◀の順に選択して）受信する
 - ・通話の呼び出しだった：そのまま通話できる
- 呼び出しが終わり自動でファクス受信モードに切り替わった場合
 - ・ファクスの呼び出しだった：自動でファクス受信が開始される
 - ・通話の呼び出しだった：この段階で通話はできない。こちらから電話するか、発信元にかけて直しを依頼してください。

参考 プリンターの【呼び出し回数】は、留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。少ないと、留守番電話での録音や通話できません。留守番電話機の設定は、留守番電話機のマニュアルをご覧ください。

関連情報

- ➡ [「留守番機能付き電話機を使えるようにする」166ページ](#)
- ➡ [「手動モード」164ページ](#)

ファクス/電話自動切替モード

受信の仕方

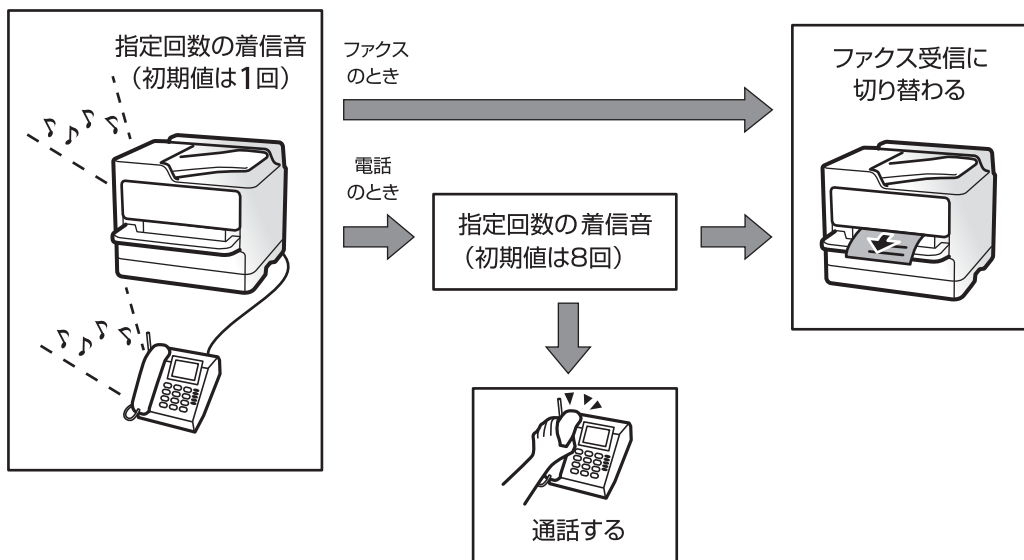
【呼び出し回数】で設定した回数（初期設定は1回）の着信音を鳴らしてから、ファクスか電話かを自動判別します。

- ファクス信号（ボー音）を検知したとき：自動的にファクス受信を開始する

- ファクス信号を検知できずに一定時間が経過したとき：プリンターと外付け電話機の着信音を、[電話呼び出し回数] で設定した回数（初期設定は8回）鳴らす

！重要

- 音声通話の呼び出し時は、通話しなくても発信者に課金されます。
- 外付け電話機のナンバーディスプレイ機能は使えません。



外付け電話機接続時の設定をする

留守番機能付き電話機を使えるようにする

留守番機能を使用するときの設定をします。

- ホーム画面で[設定]を選択します。
- [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定]の順に選択します。
- [受信モード]を[自動]に設定します。
- プリンターの[呼び出し回数]を留守番電話の呼び出し回数より多く設定します。

少ないと留守番電話への録音や通話ができません。留守番電話機の設定は、留守番電話機のマニュアルをご覧ください。

外付け電話機の留守番電話機能を使用しないときは、プリンターの[受信モード]を[ファクス/電話自動切替]に設定することをお勧めします。

関連情報

- ➡ [「自動モード」165ページ](#)
- ➡ [「基本設定メニュー」178ページ](#)

発信元の電話番号を表示する設定にする（ナンバーディスプレイ機能）

プリンターで以下を設定します。

参考 電話番号を表示するには、ナンバーディスプレイ回線の契約が必要です。

1. ホーム画面で **〔設定〕** を選択します。
2. **〔本体設定〕** - **〔ファクス設定〕** - **〔基本設定〕** - **〔ナンバー・ディスプレイ対応〕** の順に選択します。
3. 設定を選択します。
 - オン：プリンターだけに電話番号を表示します。プリンターのアドレス帳に登録されている相手先は登録名称で表示されます。
 - 外付け電話機優先：外付け電話とプリンターの両方に電話番号を表示します。

関連情報

➡ [「基本設定メニュー」178ページ](#)

外付け電話機の操作だけで受信できるようにする（リモート受信）

〔リモート受信〕を設定しておくと、外付け電話機の操作だけでファクス受信できます。
〔リモート受信〕はトーン信号（ピップポップ）に対応した電話機で使用できます。

1. ホーム画面で **〔設定〕** を選択します。
2. **〔本体設定〕** - **〔ファクス設定〕** - **〔基本設定〕** - **〔リモート受信〕** の順に選択します。
3. **〔リモート受信〕** をタップして **〔オン〕** にします。
4. **〔起動コード〕** を選択し、2桁のコード（0-9、*、#の組み合わせ）を入力して **〔OK〕** をタップします。
5. **〔OK〕** を選択して設定を保存します。

関連情報

➡ [「手動モード」164ページ](#)

➡ [「基本設定メニュー」178ページ](#)

受信ファクスの印刷設定をする

ファクス受信時の給紙装置を設定する（給紙装置が2つ以上ある場合）

ファクス受信文書やレポートを印刷するための給紙装置を指定できます。初期設定では、全ての給紙装置で印刷できます。ファクスで使用する給紙装置を限定するときに設定します。

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
2. 「本体設定」 - 「プリンター設定」 - 「給紙装置設定」 - 「給紙口自動選択」 - 「ファクス」の順に選択します。
3. ファクスの印刷では使用しない、給紙装置のボックスをタップします。
選択した給紙装置の設定は「オフ」に変更され、ファクスの印刷で使用できなくなります。

関連情報

➡ [「本体設定-プリンター設定メニューの説明」 146ページ](#)

受信ファクスの印刷設定（両面印刷など）をする

受信ファクスを両面印刷したり、用紙に収まるように縮小印刷したりできるので、用紙を節約できます。両面印刷を設定する手順を例に説明します。

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
2. 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「受信設定」の順に選択します。
3. 「印刷設定」を選択して「両面設定」を選択します。
4. 「両面印刷」をタップして「オン」にします。
5. 「とじ位置」で「短辺」または「長辺」を選択します。
6. 「OK」を選択します。

関連情報

➡ [「印刷設定メニュー」 185ページ](#)

受信ファクスの保存と転送を設定する

受信ファクスは印刷するように初期設定されています。印刷の他に、保存や転送をする設定ができます。設定方法は、条件の有無で異なります。

- 不特定の相手から受信したファクスを保存、転送する設定（条件なしで保存・転送する機能）
- 特定の相手や時間に受信したファクスを保存、転送する設定（条件付きで保存・転送する機能）

関連情報

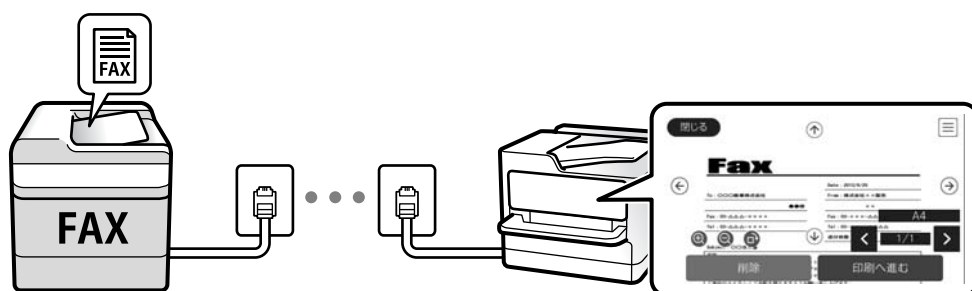
- ➡ [「条件なしで保存・転送する機能の概要」 169ページ](#)
- ➡ [「条件付きで保存・転送する機能の概要」 172ページ](#)

条件なしで保存・転送する機能の概要

不特定の相手から受信したファクス文書を、プリンターの受信ボックスや外部メモリー、メールアドレスなどへ保存・転送できます。これらは全て同時に処理（同じ文書が、保存先に保存され転送先に転送）されます。

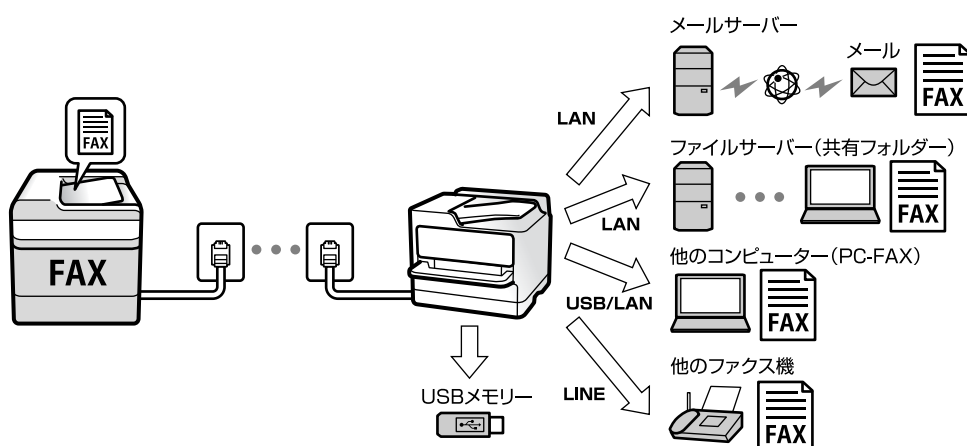
- プリンターの受信ボックス

受信したファクス文書は受信ボックスに保存できます。保存した文書はプリンターの画面で閲覧できます。必要な文書だけ印刷し、不要なものは削除できます。



- プリンター以外

- コンピューター（PC-FAX受信機能）
- 外部メモリー
- 転送先（最大5か所）
 - ・ メールアドレス
 - ・ ネットワーク上の共有フォルダー
 - ・ 他のファクス機



関連情報

- ➡ 「受信ファクスの保存と転送を設定する（条件なし保存・転送）」170ページ
- ➡ 「保存・転送設定メニュー」181ページ
- ➡ 「コンピューターからのファクス送受信を設定する」176ページ

受信ファクスの保存と転送を設定する（条件なし保存・転送）

不特定の相手から受信したファクスを保存または転送します。転送を設定するときは、事前にアドレス帳の登録が必要です。メールアドレスに転送するときは、メールサーバーの設定もしてください。

受信ファクスをコンピューターに保存する設定は、下の関連情報を参照してください。

1. ホーム画面で【設定】を選択します。
2. 【本体設定】 - 【ファクス設定】 - 【受信設定】 - 【保存・転送設定】 - 【条件なし保存・転送】の順に選択します。
メッセージが表示されたら確認して【OK】をタップします。
3. 受信ファクスの保存先や転送先に応じて以下を設定します。
以下は全て同時に処理することもできます。



- 受信ファクスの保存先に、受信ボックスを指定する場合
 - ① 【受信ボックスに保存】をタップして【オン】にする
 - ② メッセージが表示されたら確認して【OK】を選択する
- 受信ファクスの保存先に、外部メモリーを指定する場合
 - ① 外部メモリーをプリンターにセットする
 - ② 【外部メモリーに保存】を選択する
 - ③ 【オン】、または【オン(印刷もする)】（保存と同時に印刷もしたいとき）を選択する
 - ④ メッセージを確認して【作成開始】をタップする

セットした外部メモリーに、受信ファクス保存用のフォルダーが作成されます。

 - ⑤ メッセージを確認して【閉じる】をタップ（またはメッセージが消えたら）、【閉じる】をタップする
 - ⑥ 続いてメッセージが表示された場合は、確認して【OK】をタップする

！重要

受信したファクスは、外部メモリーに保存される前にプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、外部メモリーはプリンターにセットしておいてください。

- 受信ファクスの転送先に、メールアドレスや共有フォルダー、他のファクス機を指定する場合
 - ① [転送] を選択する
 - ② [オン]、または[オン(印刷もする)]（転送と同時に印刷もしたいとき）を選択する
 - ③ [宛先を追加] を選択して、アドレス帳から転送先（最大5件）を選択する
 - ④ [閉じる] をタップして転送先の指定を終えてから、[閉じる] をタップする
 - ⑤ [転送失敗時の動作] で、転送失敗文書を印刷するか受信ボックスに保存か選択する
 - ⑥ [OK] をタップする

！重要 受信ボックスがいっぱいになるとファクスを受信できません。速やかに転送失敗文書を確認して削除してください。

参考 転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてホーム画面の  に表示されます。

4. 必要に応じて、受信ファクスの処理結果を、電子メールで送信（1件のみ）する設定をします。

- ① [メール通知設定] を選択する
- ② 以下のボックスをタップして [オン] にする

以下は全て同時に処理することもできます。

- 受信終了通知：ファクス受信が完了したときに宛先にメールで通知します。
- 印刷終了通知：受信ファクスの印刷が完了したときに宛先にメールで通知します。
- 外部メモリー保存終了通知：受信ファクスがメモリーに保存されたときに宛先にメールで通知します。
- 転送終了通知：受信ファクスの転送が完了したときに宛先にメールで通知します。

- ③ [送信先] ボックスをタップし、アドレス帳から宛先を選択する
- ④ 宛先を選択したら、[閉じる] をタップする
- ⑤ [OK] をタップする

5. [閉じる] をタップして [条件なし保存・転送] の設定を完了します。

条件なしで保存・転送する機能の設定はここまでです。

6. 必要に応じて [共通設定] を設定します。

詳細は、[保存・転送設定] メニューの [共通設定] の説明をご覧ください。

参考 転送先を設定した場合で、ネットワーク上のフォルダーやメールアドレスを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかスキャンモードでテストすることをお勧めします。ホーム画面から [スキャン] - [メール]、または [スキャン] - [フォルダー] の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選択してスキャンすることでテストできます。

関連情報

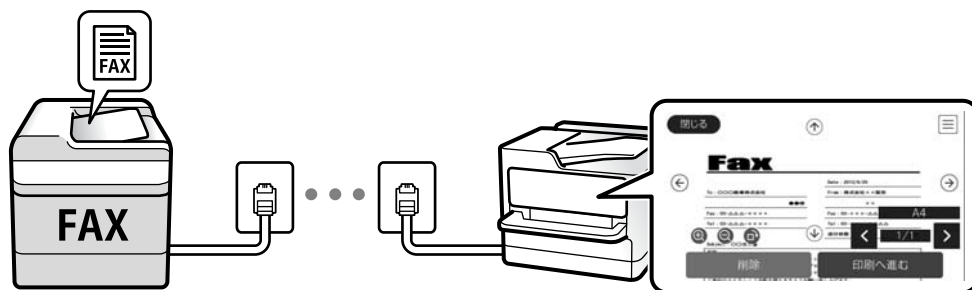
- ➔ [「ネットワーク接続編」18ページ](#)
- ➔ [「サーバーや共有フォルダーを設定する」41ページ](#)
- ➔ [「条件なしで保存・転送する機能の概要」169ページ](#)
- ➔ [「受信ファクスをコンピューターに保存する設定」177ページ](#)
- ➔ [「受信ファクスをコンピューターに保存してプリンターで印刷する設定」177ページ](#)
- ➔ [「コンピューターへの受信ファクスの保存をやめる設定」177ページ](#)
- ➔ [「保存・転送設定メニュー」181ページ](#)

条件付きで保存・転送する機能の概要

特定の相手や時間に受信したファクス文書を、プリンターの受信ボックスや親展ボックス、外部メモリー、メールアドレスなどへ保存・転送できます。これらは全て同時に処理できます。その場合、それぞれの保存先に同じ文書が保存され、転送先に同じ文書が転送されます。

- プリンターの受信ボックスや親展ボックス

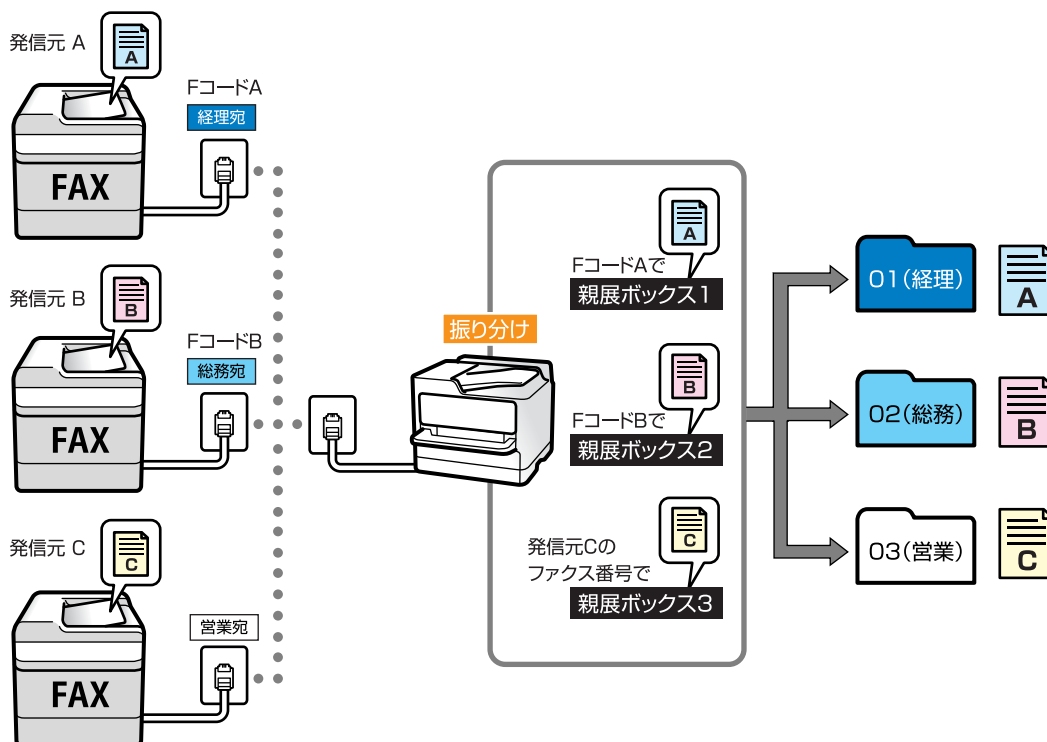
受信したファクス文書を条件に応じ振り分け、受信ボックスや親展ボックスに保存できます。保存したファクス文書はプリンターの画面で閲覧できます。必要なファクスだけ印刷し、不要なものは削除できます。



- プリンター以外

- 外部メモリー
- 転送先（1か所のみ）
 - ・ メールアドレス
 - ・ ネットワーク上の共有フォルダー
 - ・ 他のファクス機

以下は、受信したファクス文書を振り分けて保存・転送する例です。



関連情報

- ➡ [「受信ファクスの保存と転送を設定する（条件保存・転送）」173ページ](#)
- ➡ [「保存・転送設定メニュー」181ページ](#)

受信ファクスの保存と転送を設定する（条件保存・転送）

特定の相手や時間に受信したファクスを保存・転送できます。転送を設定するときは、事前にアドレス帳の登録が必要です。メールアドレスに転送するときは、メールサーバーの設定もしてください。

- 参考**
- カラー文書は他のファクス機に転送できません。転送失敗文書として処理されます。
 - 特定の時間にファクス受信するには、[日付/時刻] と [時差] が正しく設定されていることをプリンターの操作パネルで事前に確認してください。[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [日付/時刻設定] の順に選択します。

1. ホーム画面で[設定]を選択します。
2. [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定] の順に選択します。
3. [条件保存・転送] の下にある未登録ボックスの  をタップします。
4. [名称] を選択して、登録する名称を入力します。
5. [条件] のボックスを選択して、条件を設定します。設定後[閉じる]をタップします。
 - 相手先電話番号一致：送信者のファクス番号が一致した場合にファクスを受信します。
[番号] のボックスをタップして、ファクス番号（最大20桁）を入力します。
 - Fコード(SUB)完全一致：Fコードが完全一致した場合にファクスを受信します。
[Fコード(SUB)] のボックスを選択して、Fコードを入力します。
 - パスワード(SID)完全一致：パスワード（SID）が完全一致した場合にファクスを受信します。
[パスワード(SID)] のボックスを選択して、パスワードを入力します。
 - 受信時間の設定：指定した時間帯にファクスを受信します。
[適用開始時刻] と [適用終了時刻] に時刻を設定します。
6. [保存・転送先] のボックスを選択します。

7. 受信ファクスの保存先や転送先に応じて以下を設定します。

以下は全て同時に処理することもできます。



- 受信ファクスを印刷する場合：
[印刷] をタップして [オン] にする
- 受信ファクスの保存先に、受信ボックスまたは親展ボックスを指定する場合：
 - ① [ボックスに保存] を選択する
 - ② [ボックスに保存] をタップして [オン] にする
 - ③ 文書を保存するボックスを選択する
- 受信ファクスの保存先に、外部メモリーを指定する場合：
 - ① 外部メモリーをプリンターにセットする
 - ② [外部メモリーに保存] を選択する
 - ③ [外部メモリーに保存] をタップして [オン] にする
 - ④ メッセージを確認して [作成開始] をタップする

セットした外部メモリーに、受信ファクス保存用のフォルダーが作成されます。

！重要 受信したファクスは、外部メモリーに保存される前にプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、外部メモリーはプリンターにセットしておいてください。

- 受信ファクスの転送先に、メールアドレスや共有フォルダー、他のファクス機を指定する場合：
 - ① [転送] を選択する
 - ② [転送] をタップして [オン] にする
 - ③ [宛先を追加] を選択して、アドレス帳から転送先（1件のみ）を選択する
 - ④ 転送先を指定したら [閉じる] をタップする
 - ⑤ 転送先が正しいことを確認して [閉じる] を選択する
 - ⑥ [転送失敗時の動作] で、転送失敗文書を印刷するか受信ボックスに保存か選択し、[OK] をタップする

！重要 受信ボックスまたは親展ボックスがいっぱいになるとファクスを受信できません。速やかに転送失敗文書を確認して削除してください。

参考 転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてホーム画面の  に表示されます。

8. [OK] をタップして [保存・転送先] の設定を完了します。

9. 必要に応じて、受信ファクスの処理結果を、電子メールで送信（1件のみ）する設定をします。

- ① [メール通知設定] を選択する
- ② 以下のボックスをタップして [オン] にする
[オン] に設定した項目は、全て同時に処理できます。
 - 受信終了通知：ファクス受信が完了したときに宛先にメールで通知します。
 - 印刷終了通知：受信ファクスの印刷が完了したときに宛先にメールで通知します。
 - 外部メモリー保存終了通知：受信ファクスがメモリーに保存されたときに宛先にメールで通知します。
 - 転送終了通知：受信ファクスの転送が完了したときに宛先にメールで通知します。
- ③ [送信先] ボックスをタップし、アドレス帳から宛先を選択する
- ④ 宛先を選択したら、[閉じる] をタップする
- ⑤ [OK] をタップする

10. [条件保存・転送] 画面を完了する（[保存・転送設定] 画面に戻る）まで [OK] をタップします。

11. 条件を登録したボックスを選択して、[有効] を選択します。

条件付きで保存・転送する機能の設定はここまです。

12. 必要に応じて [共通設定] を設定します。

詳細は、[保存・転送設定] メニューの [共通設定] の説明をご覧ください。

参考

転送先を設定した場合で、ネットワーク上のフォルダーやメールアドレスを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかスキャンモードでテストすることをお勧めします。ホーム画面から [スキャン] - [メール]、または [スキャン] - [フォルダー] の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選択してスキャンすることでテストできます。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク接続編」18ページ](#)
- ➡ [「サーバーや共有フォルダーを設定する」41ページ](#)
- ➡ [「条件付きで保存・転送する機能の概要」172ページ](#)
- ➡ [「保存・転送設定メニュー」181ページ](#)

迷惑ファクスの受信拒否を設定する

プリンターで、迷惑ファクスを拒否する設定ができます。

- 着信拒否
ナンバーディスプレイ機能を使って、着信自体を拒否します。
[着信拒否] を利用するには、ナンバーディスプレイ回線の契約が必要です。
- ファクス受信拒否
着信後に発信元ファクス番号を確認して受信拒否します。

1. ホーム画面で [設定] を選択します。

2. [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [着信・ファクス受信拒否] の順に選択します。

3. 拒否条件を設定します。

- ナンバーディスプレイ機能を使って着信拒否する場合
 [着信拒否] を選択し、以下を設定します。
 - ・拒否番号リスト：拒否番号リストに載っている番号の着信を拒否します。
 - ・非通知：非通知番号の着信を拒否します。

参考 着信拒否の対象ファクスは呼び出しをせず、発信元に話し中を返します。

- 着信後に発信元ファクス番号をチェックして受信拒否する場合
 [ファクス受信拒否] を選択し、以下を設定します。
 - ・拒否番号リスト：拒否番号リストに載っている番号の受信を拒否します。
 - ・非通知：送信元情報が設定されていないファクスの受信を拒否します。
 - ・アドレス帳未登録：宛先帳に登録されていない番号の受信を拒否します。

4. をタップして [着信・ファクス受信拒否] 画面に戻ります。

5. [拒否番号リスト] を使う場合は、[拒否番号リスト編集] を選択して拒否番号リストを編集します。

関連情報

➡ [「基本設定メニュー」178ページ](#)

コンピューターからのファクス送受信を設定する

コンピューターでファクス送受信するには、ネットワークかUSBでプリンターに接続したクライアントのコンピューターにFAX Utilityをインストールしておく必要があります。

コンピューターからファクス送信する設定

Web Configで設定します。

1. Web Config画面から、[ファクス] タブ - [送信設定] - [基本] の順にクリックします。
2. [PC-FAX送信機能] で [使用する] を選択します。

参考 [PC-FAX送信機能] の初期値は [使用する] です。コンピューターから送信できないようにする場合は、[使用しない] を選択してください。

3. [設定] ボタンをクリックします。

関連情報

➡ [「送信設定メニュー」180ページ](#)

受信ファクスをコンピューターに保存する設定

FAX Utilityを使うと、受信ファクスをコンピューターに保存できます。クライアントのコンピューターにFAX Utilityをインストールして設定してください。設定方法は、FAX Utilityの「オンラインヘルプ」-「基本の操作」をご覧ください。

設定すると、プリンターの操作パネルにある以下の項目が「オン」になります。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔受信設定〕 - 〔保存・転送設定〕 - 〔条件なし保存・転送〕 - 〔PC-FAXで受信〕

関連情報

➡ [「保存・転送設定メニュー」 181ページ](#)

受信ファクスをコンピューターに保存してプリンターで印刷する設定

プリンターで以下を設定します。事前に、受信ファクスをコンピューターに保存する設定をしておいてください。

1. ホーム画面で〔設定〕を選択します。
2. 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔受信設定〕の順に選択します。
3. 〔保存・転送設定〕 - 〔条件なし保存・転送〕 - 〔PC-FAXで受信〕 - 〔オン(印刷もする)〕の順に選択します。

関連情報

➡ [「保存・転送設定メニュー」 181ページ](#)

コンピューターへの受信ファクスの保存をやめる設定

プリンターから設定変更します。

参考 FAX Utilityからも変更できますが、プリンターに、コンピューターに未保存の受信ファクスが残っているときは変更できません。

1. ホーム画面で〔設定〕を選択します。
2. 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔受信設定〕の順に選択します。
3. 〔保存・転送設定〕 - 〔条件なし保存・転送〕 - 〔PC-FAXで受信〕 - 〔オフ〕の順に選択します。

関連情報

➡ [「保存・転送設定メニュー」 181ページ](#)

ファクス設定メニューの説明

プリンターの操作パネルから、〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕の順に選択すると表示されます。

参考

- Web Config画面の「ファクス」タブからアクセスできるファクス設定 の設定項目もあります。
- Web Configからのファクス設定の表示や表示場所は、プリンターの操作パネルと異なることがあります。

ユーザー設定メニュー

プリンターの操作パネルから「設定」 - 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「ユーザー設定」の順に選択すると表示されます。

参考

Web Config画面からは診断できません。

項目	説明
初期表示	ファクスメニューのトップ画面で最初に表示したいタブを選択します。 初期設定：「常用」
クイック操作ボタン	ファクス送信時によく使う項目を4つまで登録できます。登録した項目は、「ファクス」メニューの「常用」タブと「ファクス設定」タブに表示されます。 初期設定は：「クイック操作ボタン1」は「通信履歴表示」、 「クイック操作ボタン2」は「原稿種類」、 「クイック操作ボタン3」は「画質」、 「クイック操作ボタン4」は「濃度」

基本設定メニュー

プリンターの操作パネルから「設定」 - 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」の順に選択すると表示されます。

参考

Web Config画面からは、以下の順に選択すると表示されます。

- 「ファクス」タブ - 「回線設定」
- 「ファクス」タブ - 「送信設定」 - 「基本」
- 「ファクス」タブ - 「受信設定」 - 「基本」
- 「ファクス」タブ - 「受信設定」 - 「迷惑ファクス防止設定」

項目	説明
通信モード	通信速度を設定します。通信エラーが頻繁に起きるときや海外と通信するとき、またはIP電話環境で通信するときは「9.6kbps(G3)」をお勧めします。 初期設定：「33.6Kbps(スーパーG3)」
エラー訂正(ECM)	回線トラブルによるデータ抜けなどのエラーを自動で修復します（ECM機能）。無効にすると、カラー文書の送受信はできません。 初期設定：「オン」
ダイヤルトーン検出	ダイヤルする前にダイヤルトーンを検出します。PBX（構内交換機）やIP電話などの環境ではダイヤルできないことがあります。その場合は「接続回線」を「構内交換機(PBX)」にしてください。それでも接続できないときは本機能を無効にしてください。ただし、無効にすると電話番号の先頭の数字がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。 初期設定：「オン」

ファクス設定編

項目	説明
ダイヤル種別	接続した電話回線のダイヤル種別を選択します。ダイヤルしたとき受話器から「ピッポッパ」と音がするときには、プッシュ回線です。「ジージー」または「カタカタカタ」と音がするときには、ダイヤル回線です。回線が分からないときは [プッシュ] → [ダイヤル(20PPS)] → [ダイヤル(10PPS)] の順に設定を変えてダイヤルできるかどうか試してください。 初期設定： [プッシュ]
ナンバー・ディスプレイ対応	ナンバーディスプレイサービスの契約をしている回線の使用時に、プリンターや外付け電話機に相手の電話番号を表示します。詳しくは、表下の関連情報をご覧ください。 初期設定： [オフ]
接続回線	プリンターを接続した回線を選択します。 初期設定： [一般回線 (PSTN)] 内線電話を利用しているオフィスなどで、「0」や「9」などの外線発信番号が必要な環境では、[構内交換機(PBX)] を選択して [外線発信番号] を登録します。登録後に外線番号にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに # を入力します。ADSLモデムやターミナルアダプターなどを使用している環境でも [構内交換機(PBX)] に設定することをお勧めします。 0や9などの外線発信番号付きで宛先をアドレス帳に登録した場合に、[外線発信番号] を [使用する] にすると、外線発信できません。[使用しない] に設定してください。
発信元設定	発信元名と発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。 • [発信元番号]：0～9 + または半角スペースを使用し、20文字以内で入力できます。Web Configでは、30文字以内で入力できます。 • [発信元名]：40文字以内で20件まで入力できます。Web Configでは、Unicode (UTF-8) で表せる40文字以内で入力できます。
受信モード	受信モードを選択します。詳細は、表下の関連情報をご覧ください。 初期設定： [自動]
呼び出し回数	着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数を選択します。0回に設定すると、着信音を鳴らさずに受信できます（無鳴動着信）。 初期設定： [1] 回
電話呼び出し回数	[受信モード] が [ファクス/電話自動切替] になっている場合、電話がかかってきたときに外付け電話機を何回呼び出すかを選択します。 初期設定： [8] 回
リモート受信	• リモート受信： 外付け電話機で応答した相手がファクスの場合は、電話機で起動コードを入力するだけでファクス受信を開始します。 初期設定： [オフ] • 起動コード： [リモート受信] の開始コードです。0～9 * # を使用し、2文字で入力します。 初期設定： [**]

ファクス設定編

項目	説明
着信・ファクス受信拒否	- 着信拒否：迷惑ファクスの着信拒否を設定します。ナンバーディスプレイ回線の契約が必要です。 - 拒否番号リスト：拒否番号リストに載っている番号の受信を拒否します。 - 非通知：送信元情報が設定されていないファクスの受信を拒否します。 - 初期設定：全て [オフ] - ファクス受信拒否：迷惑ファクス拒否の設定をします。 - 拒否番号リスト：拒否番号リストに載っている番号の着信を拒否します。 - 非通知：送信元情報が設定されていないファクスの着信を拒否します。 - アドレス帳未登録：アドレス帳に登録されていない番号の受信を拒否します。 - 初期設定：全て [オフ] - 拒否番号リスト編集：拒否番号リストに登録できるのは30件までです。0～9 * #または半角スペースを使用し、20文字以内で入力できます。
受信紙宣言	ファクス受信に使う最大の用紙サイズを選択します。 初期設定：[自動]

関連情報

- ➡ [「ファクスを使えるようにする（ファクス設定ウィザード）」162ページ](#)
- ➡ [「受信モードを設定する」163ページ](#)
- ➡ [「発信元の電話番号を表示する設定にする（ナンバーディスプレイ機能）」167ページ](#)
- ➡ [「外付け電話機の操作だけで受信できるようにする（リモート受信）」167ページ](#)
- ➡ [「迷惑ファクスの受信拒否を設定する」175ページ](#)

送信設定 メニュー

プリンターの操作パネルから [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [送信設定] の順に選択すると表示されます。

 Web Configの画面からは、[ファクス] タブ - [送信設定] - [基本] の順にクリックすると表示されます。

項目	説明
回転送信	ADFまたは原稿台に、A4サイズの前稿の長辺を左側にして縦置きにセットすると、通常はA3サイズの文書として送信されます。この設定を有効にすると、A4サイズの文書となるように回転して送信できます。 初期設定：[オン]
クイックメモリー送信	1ページ目の前稿のスキャンが完了した時点で、ファクス送信を開始します。通常はスキャンした文書をメモリーに保存してから送信しますが、クイックメモリー送信はスキャンとファクス送信を並行して行うため、スキャン開始からファクス送信完了までの時間を短縮できます。 初期設定：[オン]

ファクス設定編

項目	説明
バッチ送信	宛先が同じ複数の予約文書を、自動でまとめて送信できます。5文書（合計100ページ）まで送信できます。通信回数が減るため通信費が削減できます。 初期設定： [オフ]
自動リダイヤル回数	相手先にファクスが送れないときのリダイヤル回数を選択します。 初期設定： [3] 回
自動リダイヤル間隔	相手先にファクスが送れないときのリダイヤルする間隔を選択します。 初期設定： [5] 分
送信失敗文書保存	送信に失敗した文書をプリンターのメモリーに保存します。[ジョブ/状態] から再送信できます。 初期設定： [オフ]
PC-FAX送信機能	Web Config画面にだけ表示されます。クライアントコンピューターからのファクス送信を有効にします。 初期設定： [使用する]

関連情報

➡ [「コンピューターからファクス送信する設定」 176ページ](#)

受信設定メニュー

関連情報

➡ [「保存・転送設定メニュー」 181ページ](#)

➡ [「印刷設定メニュー」 185ページ](#)

保存・転送設定メニュー

プリンターの操作パネルから [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定] の順に選択すると表示されます。

条件なし保存・転送



Web Config画面からは、[ファクス] タブ - [受信設定] - [受信ファクスの処理] の順にクリックすると表示されます。

受信ファクスを、受信ボックスや外部メモリー、コンピューターに保存したり、メールや共有フォルダー、他のファクス機に転送したりする設定をします。これらは全て同時に使用できます。プリンターの操作パネル上で全て [オフ] に設定すると、受信ファクスは印刷されます。

ファクス設定編

項目	説明
受信ボックスに保存	受信ファクスをプリンターの受信ボックスに保存します。最大で200件保存できます。保存したファクスのファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、200文書まで保存できないことがあります。 この設定をオンにすると、受信ファクスは自動で印刷されません。プリンターの画面で確認して、必要なものだけ印刷できます。ただし、[条件なし保存・転送]の他の項目（[PC-FAXで受信]など）で[オン(印刷もする)]が選択されている場合は、自動で印刷されます。 初期設定：[オフ]
PC-FAXで受信	受信したファクスをPDFに変換してプリンターに接続されているコンピューターに保存します。FAX Utilityの受信設定で[オン]にできます。事前にコンピューターにFAX Utilityをインストールしてください。[オン(印刷もする)]は、FAX Utilityから[オン]に設定後に変更できます。 初期設定：[オフ]
外部メモリーに保存	受信ファクスをPDFに変換してプリンターにセットされている外部メモリーに保存します。[オン(印刷もする)]を選択すると、外部メモリーに保存と同時に印刷もします。 初期設定：[オフ] 受信したファクスは、外部メモリーに保存される前にプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、必ず空き容量に余裕のある外部メモリーをプリンターにセットしておいてください。
転送	受信ファクスを他のファクス機に転送したり、PDFに変換してネットワーク上のフォルダーに転送したりします。転送されたファクスデータはプリンターから削除されます。[オン(印刷もする)]を選択すると、転送と同時に印刷もします。事前にアドレス帳の登録が必要です。また、転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーを設定してください。 初期設定：[オフ] - 転送先：転送先をアドレス帳から選択します。 ネットワーク上のフォルダーやメールアドレスを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかスキャンモードでテストすることをお勧めします。ホーム画面から[スキャン] - [メール]、または[スキャン] - [フォルダー]の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンすることでテストできます。 - 転送失敗時の動作：転送に失敗したファクスを印刷するか受信ボックスに保存するか選択します。 受信ボックスがいっぱいになるとファクスを受信できません。転送失敗文書は速やかに受信ボックスから削除してください。転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてホーム画面のに表示されます。 初期設定：[印刷する]
メール通知設定	指定した処理が終わるとメールで通知します。以下の処理を指定できます。これらは全て同時に使用できます。 - 送信先：プロセスが終了したときのメールの送付先です。 - 受信終了通知：ファクス受信が完了するとメールで通知します。 - 印刷終了通知：受信ファクスの印刷が完了するとメールで通知します。 - 外部メモリー保存終了通知：受信ファクスが外部メモリーに保存されるとメールで通知します。 - 転送終了通知：ファクスの転送が完了するとメールで通知します。 初期設定：全て[オフ]

条件保存・転送

参考 Web Config画面からは、[ファクス] タブ - [受信設定] - [条件出力設定] の順にクリックすると表示されます。

ファクス設定編

受信ファクスを、受信ボックスや親展ボックス、外部メモリーに保存したり、メールや共有フォルダー、他のファクス機に転送したりする設定をします。

設定した条件を有効または無効にするには、ボックスの  以外の場所をタップします。初期設定は「無効」です。

項目	説明
名称	条件名を入力します。
条件	条件を選択して設定します。 - 相手先電話番号一致：相手先のファクス番号が一致した場合、受信ファクスを保存・転送します。 初期設定：「オフ」 - Fコード(SUB)完全一致：Fコードが完全に一致した場合、受信ファクスを保存・転送します。 初期設定：「オフ」 - パスワード(SID)完全一致：パスワードが完全に一致した場合、受信ファクスを保存・転送します。 初期設定：「オフ」 - 受信時間の設定：指定した時間帯にファクスを受信して保存・転送します。 初期設定：「オフ」
保存・転送先	条件に一致した受信ファクスを保存・転送するための保存先を選択します。これらは全て同時に使用できます。 - ボックスに保存：受信ファクスをプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに保存します。受信ファクスをプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに200件まで保存できます。保存したファクスのファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、200文書まで保存できないことがあります。 初期設定：「オフ」 - 外部メモリーに保存：受信ファクスをPDFに変換してプリンターにセットされている外部メモリーに保存します。 初期設定：「オフ」 受信したファクスは、外部メモリーに保存される前にプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、必ず空き容量に余裕のある外部メモリーをプリンターにセットしておいてください。 - 転送：受信ファクスを他のファクス機に転送したり、PDFに変換してネットワーク上のフォルダーに転送したりします。転送されたファクスデータはプリンターから削除されます。事前にアドレス帳の登録が必要です。また、転送先をメールアドレスにするとときは、メールサーバーの設定もしてください。 初期設定：「オフ」 - 転送先：転送先をアドレス帳から選択します。 ネットワーク上のフォルダーやメールアドレスを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかスキャンモードでテストすることをお勧めします。ホーム画面から「スキャン」 - 「メール」、または「スキャン」 - 「フォルダー」の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンすることでテストできます。 - 転送失敗時の動作：転送に失敗したファクスを印刷するか受信ボックスに保存するか選択します。 初期設定：「印刷する」 - 印刷：ファクスを受信したら印刷します。 初期設定：「オフ」

ファクス設定編

項目	説明
メール通知設定	指定した処理が終わるとメールで通知します。以下の処理を指定できます。これらは全て同時に使用できます。 - 送信先：プロセスが終了したときのメールの送付先です。 - 受信終了通知：ファクス受信が完了するとメールで通知します。 - 印刷終了通知：受信ファクスの印刷が完了するとメールで通知します。 - 外部メモリー保存終了通知：受信ファクスが外部メモリーに保存されるとメールで通知します。 - 転送終了通知：ファクスの転送が完了するとメールで通知します。 初期設定：全て [オフ]
結果レポート印刷	受信ファクスの保存や転送時に、結果レポートを印刷します。 [エラー時のみ] を選択すると、受信ファクスの保存や転送をしたときにエラーが起こると、結果レポートを印刷します。 初期設定：[エラー時のみ]

共通設定

参考 Web Config画面からは、以下の順に選択すると表示されます。

- ・ [ファクス] タブ - [受信設定] - [受信ボックス]
- ・ [ファクス] タブ - [受信設定] - [受信ファクスの処理]

項目	説明
受信ボックス設定	- 容量限界時の動作：受信ボックスがいっぱいのときに受信したファクスを印刷するか受信拒否するか選択します。 初期設定：[受信しない] - パスワード設定：誰でも簡単に受信ボックスを開いて見ることができないように受信ボックスにパスワードを設定します。設定したパスワードを変更するときは [変更] を、パスワード設定を解除するときは [設定クリア] を選択します。変更や初期化をするときも現在設定されているパスワードの入力が必要です。 [容量限界時の動作] で [受信して印刷する] を選んだときは、パスワードは設定できません。
転送設定	転送先をメールアドレスにしたときの、メールの件名を指定できます。

≡ (メニュー)

参考 Web Config画面からは印刷できません。

項目	説明
条件保存・転送リスト印刷	条件保存・転送リストを印刷します。

関連情報

- ➡ [「条件なしで保存・転送する機能の概要」 169ページ](#)
- ➡ [「受信ファクスの保存と転送を設定する（条件なし保存・転送）」 170ページ](#)
- ➡ [「条件付きで保存・転送する機能の概要」 172ページ](#)
- ➡ [「受信ファクスの保存と転送を設定する（条件保存・転送）」 173ページ](#)

印刷設定メニュー

プリンターの操作パネルから [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [印刷設定] の順に選択すると表示されます。

 Web Config画面からは、[ファクス] タブ - [受信設定] - [受信ファクスの処理] の順にクリックすると表示されます。

項目	説明
自動縮小印刷	受信ファクスの文書サイズがプリンターにセットされている用紙のサイズより大きいときに、用紙のサイズに合わせて縮小印刷します。データによっては縮小できないことがあります。無効にすると縮小されず、複数ページに印刷されたり、2枚目が白紙になったりすることがあります。 初期設定：[オン]
ページ分割設定	受信ファクスの文書サイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときのページ分割方法を設定します。 初期設定：[分割後の印刷破棄] が [下を破棄] 、[分割時の重ねあわせ] が [オン]
代行印刷	受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときの印刷方法を設定します。 [オン (分割して印刷)] を選択すると受信文書を長辺方向に分割して印刷します。[オン (縮小して印刷)] を選択すると最小で50%まで縮小して印刷します。 初期設定：[オフ]
自動回転印刷	A5 (B5、A4またはLetter) サイズの横長の文書を受信したときに、自動で回転してA5 (B5、A4またはLetter) サイズの用紙に印刷します。ファクスで使用する給紙装置いずれかの [用紙サイズ] がA5 (B5、A4またはLetter) のときに適用されます。 [オフ] を選択した場合、A5横長 (B5、A4またはLetter) の文書を受信すると、同じ横幅のA4 (B4、A3またはTabloid) サイズの文書を受信したとみなして印刷します。 初期設定：[オン] ファクス印刷に使用できる給紙装置と、その給紙装置の用紙サイズ設定は、[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [給紙装置設定] から以下を表示すると確認できます。 [給紙口自動選択] [用紙設定] - [用紙サイズ]
受信情報の付加	送信元がヘッダー情報を設定しない場合でも、受信ファクスに受信情報を印刷します。受信情報には受信日時、送信元番号、受付ID (#001など) やページ番号 (P1など) が含まれます。[ページ分割設定] を有効にしているときは、分割ページ番号も含まれます。 初期設定：[オフ]
両面設定	複数ページの受信ファクスを両面印刷します。 初期設定：[両面印刷] が [オフ] 、[印刷とじ位置] が [長辺]
印刷開始設定	受信したファクス文書の印刷を開始するタイミングを設定します。 - 全ページ受信後：全ページを受信後に印刷を開始します。印刷を最初のページからするか最後のページからするかは、[正順印刷] の設定に従います。[正順印刷] の説明をご覧ください。 - 最初のページ受信後：1ページ目を受信したところで印刷を開始します。他のジョブを印刷中などで印刷を開始できないときは、印刷可能になったところでまとめて印刷を開始します。 初期設定：[全ページ受信後]
正順印刷	受信したファクス文書を、最後のページから印刷します。1ページ目が最後に印刷されて、文書はページ順に並びます。メモリーの空き容量が少ないときはこの設定が適用されないことがあります。 初期設定：[オン]

ファクス設定編

項目	説明
印刷停止時間の設定	- 印刷停止時間の設定：指定の時間帯に受信したファクス文書を印刷せずにメモリーに保存します。夜間の騒音防止や不在時の機密漏洩防止などに活用できます。メモリーに十分な空き容量があることを確認してからお使いください。再開時刻前でも、[ジョブ/状態] から確認して個別に印刷できます。 - 初期設定：[オフ] - 停止する時刻：指定時刻になると印刷を中止します。 - 再開する時刻：指定時刻になると自動的に印刷を再開します。
動作音低減モード	ファクス印刷時の動作音が静かになります。印刷速度が遅くなることがあります。 初期設定：[オフ]

関連情報

➡ [「受信ファクスの印刷設定をする」167ページ](#)

レポート設定メニュー

プリンターの操作パネルから [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [レポート設定] の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは [ファクス] タブ - [レポート設定] の順にクリックすると表示されます。

項目	説明
転送結果レポート	受信ファクスが転送されたときのレポートを印刷します。[オン] を選択すると、転送のたびにレポートを印刷します。 初期設定：[エラー時のみ]
バックアップエラーレポート	ファクス送信した文書をバックアップできなかった（[バックアップ先] を指定したのに送れなかった）ときにレポートを印刷します。バックアップ先は、ファクス送信ごとに [ファクス] - [ファクス設定] - [バックアップ送信設定] で指定します。以下のときに使用できます。 - モノクロ（白黒）で送信する [時刻指定送信] で送信する [バッチ送信] で送信する [待機文書蓄積] で送信する 初期設定：[オン]
通信管理レポート	通信管理レポートを自動で印刷します。[オン(30件毎)] を選択すると、通信履歴が30件に達したときに印刷されます。[オン(指定時刻)] を選択すると、指定の時刻に印刷されます。ただし、通信履歴が30件に達すると指定時刻の前でも印刷されます。 初期設定：[オフ]
レポート内画像添付	[通信結果レポート印刷] に、送信文書の1ページ目のイメージ画像を入れて印刷します。[添付する(画像大)] を選択すると、ページの一部（冒頭部分）を縮小せずに印刷します。[添付する(画像小)] を選択すると、ページ全体を縮小して印刷します。 初期設定：[添付しない]

ファクス設定編

項目	説明
レポート形式	[ファクス] - [応用] - [ファクスレポート印刷] から印刷できる、[プロトコルログ] 以外のファクスレポートの表示形式を選択します。[詳細情報] にするとエラーコードも印刷されます。 初期設定：[簡易情報]
レポート出力先	[外部メモリーに保存] などの出力先を選択します。[転送] を選択したときは、アドレス帳から[転送先] を選択してください。 初期設定：[印刷]

セキュリティ設定メニュー

プリンターの操作パネルから [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [セキュリティ設定] の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは [ファクス] タブ- [セキュリティ設定] の順にクリックすると表示されます。

項目	説明
直接ダイヤル制限	[オン] にすると、ファクス番号を直接入力できません。アドレス帳か履歴から宛先を選択できます。 [2回入力] にすると、ファクス番号を直接入力したときに確認のための再入力が必要です。誤送信のリスクを軽減させられます。 [オフ] にすると、ファクス番号を直接入力できます。 初期設定：[オフ]
宛先一覧確認	[オン] にすると、送信開始前に宛先確認画面を表示します。 初期設定：[オフ]
バックアップデータ自動消去	[オン] にすると、送受信文書の処理が完了してバックアップが不要になると自動的に消去します。 [オフ] にすると、送受信文書のバックアップデータがメモリー内に一時保存されるので、停電や誤操作による電源オフの備えになります。 初期設定：[オフ]
バックアップデータを消去	メモリー内に一時保存されたバックアップデータを全て消去します。プリンターを譲渡または廃棄するときに実行してください。 Web Config画面からは設定できません。

ファクス診断

プリンターの操作パネルから [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [ファクス診断] の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは診断できません。

プリンターが電話回線に接続されていて送受信ができる状態かどうかを診断します。診断後、A4サイズの普通紙に結果レポートを印刷できます。

ファクス設定ウィザード

プリンターの操作パネルから〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔ファクス設定ウィザード〕の順に選択すると表示されます。

参考 Web Config画面からは設定できません。

ファクス送受信に必要な基本設定を画面に従って設定します。

関連情報

➡ [「ファクスを使えるようにする（ファクス設定ウィザード）」162ページ](#)

困ったときは

ファクス送受信のトラブル

関連情報

- ➡ [「ファクスの送信も受信もできない」188ページ](#)
- ➡ [「ファクスを送信できない」190ページ](#)
- ➡ [「特定送信先にファクスを送信できない」190ページ](#)
- ➡ [「指定時間にファクスを送信できない」190ページ](#)
- ➡ [「ファクスを受信できない」191ページ](#)
- ➡ [「外部メモリーに受信文書を保存できない」192ページ](#)
- ➡ [「メモリー不足のメッセージが表示された」192ページ](#)
- ➡ [「きれいに送信できない」192ページ](#)
- ➡ [「きれいに受信できない」193ページ](#)
- ➡ [「受信ファクスが印刷されない」193ページ](#)
- ➡ [「受信ファクスの2ページ目が白紙または数行だけ印刷される」193ページ](#)

ファクスの送信も受信もできない

- 操作パネルで〔ファクス診断〕を選択してください。電話回線との接続を自動でチェックしますので、結果レポートを印刷し、レポートに従って対処してください。
- 送受信ができなかったファクスジョブのエラーコードを確認し、エラーコード一覧にある対処方法をお試しください。
- 〔接続回線〕の設定を確認してください。〔構内交換機(PBX)〕に設定すると通信できることがあります。また、外線発信番号が必要な環境では外線発信番号をプリンターに登録して、電話番号の先頭に#を付けて送信してみてください。
- 通信エラー発生時は、操作パネルで〔通信モード〕を〔9.6kbps(G3)〕にしてみてください。
- 電話回線に直接電話機を接続して、電話の発着信ができるか確認してみてください。正常に動作しないときはご契約の回線事業者へ問い合わせてください。

ファクス設定編

- ADSL接続時は、スプリッター内蔵のADSLモデムをお使いになるか、内蔵されていない場合は別途スプリッターを取り付ける必要があります。ご契約のADSLの回線事業者にお問い合わせください。
- ADSL接続時は、プリンターを電話回線に直接接続して送信ができるか確認してください。正常に送信できれば、プリンターではなくスプリッターに問題がある可能性があります。ご契約のADSLの回線事業者にお問い合わせください。
- 構内交換機（PBX）タイプのISDN回線専用環境下では、ご契約の回線事業者へお問い合わせください。
- 電話回線の接続で、ブロードバンドルーターやターミナルアダプター使用時は、ルーターやアダプターの電源を入れ直してください。
- 操作パネルで「エラー訂正(ECM)」を有効にしてください。無効にするとカラーファクスの送受信ができません。
- コンピューターからのファクス送受信は、プリンターとコンピューターがUSBまたはネットワークで接続され、コンピューターにPC-FAXドライバーがインストールされていることを確認してください。PC-FAXドライバーは、FAX Utilityをインストールすると一緒にインストールされます。
- Windowsの場合、[デバイスとプリンター]（または[プリンタ]、[プリンタとFAX]）で、お使いのプリンター（ファクス）が表示されていることを確認してください。プリンター（ファクス）は「EPSON XXXXX (FAX)」と表示されます。表示されないときは、FAX Utilityをアンインストールして、再インストールしてください。[デバイスとプリンター]（または[プリンタ]、[プリンタとFAX]）フォルダーを表示させる手順は以下です。
 - Windows 10/Windows 2016
スタートボタンをクリックし、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] または [ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows 7
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] または [ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows Vista
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順に選択します。
 - Windows XP
スタートボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] の順に選択します。
- Mac OSの場合、以下を確認してください。
 -  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンター（ファクス）が表示されていることを確認します。プリンター（ファクス）は「FAX XXXX (USB)」または「FAX XXXX (IP)」と表示されます。表示されていないときは、[+] をクリックして、お使いのプリンター（ファクス）を登録してください。
 -  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンター（ファクス）をダブルクリックします。[一時停止] になっているときは、[再開] をクリックしてください。

関連情報

- ➡ [「ジョブ確認メニューのエラーコードを確認する」109ページ](#)
- ➡ [「プリンターを電話回線に接続する」159ページ](#)
- ➡ [「基本設定メニュー」178ページ](#)
- ➡ [「ファクス診断」187ページ](#)

ファクスを送信できない

- 利用者制限されているプリンターではユーザー名とパスワードの入力が要求されます。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。
- プリンターの利用者制限設定がされているときにコンピューターからファクスを送信すると、プリンタードライバーで設定してあるユーザー名とパスワードで認証が行われます。認証に失敗して送信ができないときは管理者に問い合わせてください。
- 操作パネルでダイヤル種別の設定が正しいか確認してください。
- 操作パネルで発信元番号を登録してください。送信先によっては発信元番号情報がないファクスを受け付けられないことがあります。
- 非通知設定を解除してください。送信先によっては電話番号を通知することで受信できることがあります。
- 送信先のファクス番号が正しいか、送信先のファクスが受信できる状態か、送信先に確認してください。
- 意図せずにFコードを使った送信になっていないか確認してください。アドレス帳でFコード設定した宛先を選ぶと、Fコードを使った送信になります。
- Fコードを使った送信の場合、送信先のファクスがFコード受信に対応しているかを確認してください。
- Fコードを使った送信の場合、Fコードおよびパスワードが正しいか確認してください。また、Fコードおよびパスワードが一致しているか、送信先に確認してください。

関連情報

- ➡ [「基本設定メニュー」 178ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送信も受信もできない」 188ページ](#)

特定送信先にファクスを送信できない

特定の送信先に送信できず、毎回エラーが表示されるときは以下を確認してください。

- ダイヤル終了後、送信先の応答に50秒以上かかるとエラーになります。（[オンフック]）機能を使うか、外付け電話機を使ってダイヤルし、ファクス信号（ピー音）が聞こえるまでの時間を確認してください。50秒以上かかる場合は、ファクス番号の後ろに続けてポーズを入力して送信してください。ポーズはをタップして入れます。タップするとポーズマークとしてハイフンが入力されます。1ポーズにつき約3秒、ファクスの送信開始が遅くなります。ポーズの数で調整してください。
- 送信先をアドレス帳から選択したときは、アドレス帳の登録内容が間違っていないか確認してください。間違っていないときはアドレス帳からその送信先を選択し、[編集] で[通信モード] を[9.6kbps(G3)] にして再送信してみてください。

関連情報

- ➡ [「アドレス帳を使う」 67ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送信も受信もできない」 188ページ](#)

指定時間にファクスを送信できない

操作パネルで日付と日時を正しく設定してください。

関連情報

- ➡ [「タイムサーバーと日付/時刻を同期する」 82ページ](#)
- ➡ [「本体設定-基本設定メニューの説明」 142ページ](#)

ファクスを受信できない

- ボイスワープなどの電話転送サービス利用時に受信できないことがあります。サービスを提供している業者に問い合わせてください。
- 外付け電話機をプリンターに接続して1回線を共有して使うときは、操作パネルで [受信モード] を [ファクス/電話自動切替] に設定してください。
- 外付け電話機を接続していないときは、操作パネルで [受信モード] を [自動] に設定してください。
- 呼び出し回数を少なく設定してください。呼び出し回数が多く設定されていると、送信側の設定によっては受信できないことがあります。
- 以下の状態ではプリンターのメモリー不足のため受信できません。メモリー不足のメッセージが表示されたときの対処方法をご覧ください。
 - 受信ボックスと親展ボックスの受信文書の合計が200件になっている
 - プリンターのメモリー使用率が100%になっている
- Fコードを使った受信の場合、Fコードおよびパスワードが正しいか確認してください。また、Fコードおよびパスワードが一致しているか、送信元に確認してください。
- 送信元のファクス番号が [拒否番号リスト] に載っていないか確認してください。 [ファクス受信拒否] の設定で [拒否番号リスト] を有効にしているときは、拒否番号リストに載っている番号からのファクスは受信拒否されます。
- 送信元のファクス番号がアドレス帳に登録されているか確認してください。 [ファクス受信拒否] の設定で [アドレス帳未登録] を有効にしているときは、アドレス帳に載っていない番号からのファクスは受信拒否されます。
- 発信元情報を付ける設定をファクス機にしてあるか、送信元に確認してください。 [ファクス受信拒否] の設定で [非通知] を有効にしているときは、発信元情報の付いていないファクスは受信拒否されます。
- 構内交換機 (PBX) 接続で、内線呼び出し (SIR) になっているときは、外線呼び出し (IR) に設定すると解決することがあります。ご契約の回線事業者にお問い合わせください。
- ダイヤルインやモデムダイヤルインには対応していません。該当する場合は、ご契約の回線事業者にお問い合わせください。
- Fネット (1300Hz呼び出し) には対応していません。該当する場合は、ご契約の回線事業者にお問い合わせください。
- 接続されている電話回線が不安定な場合は、受信ファクスがないにもかかわらず着信中の表示が続くことがあります。ご契約の回線事業者にお問い合わせください。

関連情報

- ➡ [「基本設定メニュー」 178ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送信も受信もできない」 188ページ](#)
- ➡ [「メモリー不足のメッセージが表示された」 192ページ](#)

外部メモリーに受信文書を保存できない

外部メモリーがプリンターに挿入されていることと、[受信設定]を確認してください。

関連情報

- ➡ [「受信ファクスの保存と転送を設定する」168ページ](#)
- ➡ [「保存・転送設定メニュー」181ページ](#)

メモリー不足のメッセージが表示された

- 受信文書を受信ボックスまたは親展ボックスに保存する設定にしているときは、既読などで不要になった文書を受信ボックスまたは親展ボックスから削除してください。
- 受信ファクスをコンピューターに保存する設定にしているときは、保存する設定にしているコンピューターを起動させてください。受信文書がコンピューターに保存されるとプリンターのメモリーからは削除されます。
- 受信ファクスを外部メモリーに保存する設定にしているときは、保存フォルダーを作成した外部メモリーをプリンターに挿入してください。受信文書が外部メモリーに保存されるとプリンターのメモリーからは削除されます。外部メモリーの空き容量が不足していないか、書き込み禁止になっていないかも確認してください。
- プリンターのメモリーが不足しているときでも以下の方法で送信できます。
 - モノクロファクス送信の場合は[ダイレクト送信]を有効にして送信する
 - 外付け電話からダイヤルして送信する
 - （[オンフック]）機能を使って送信する
 - 原稿を小分けして送信する
- 受信時に紙詰まりなどのエラーが発生していると、受信文書が印刷されないため、メモリー不足になることがあります。プリンターのエラーを解除してから送信元に再送信を依頼してください。

関連情報

- ➡ [「受信ファクスの保存と転送を設定する」168ページ](#)
- ➡ [「保存・転送設定メニュー」181ページ](#)
- ➡ [「コンピューターからのファクス送受信を設定する」176ページ](#)

きれいに送信できない

- 原稿台をクリーニングしてください。
- ADFをクリーニングしてください。
- 操作パネルで[原稿種類]を調整してください。文字と写真が混在した原稿は[写真]の設定で送信してください。
- 操作パネルで[濃度]を調整してください。
- 相手の性能が分からないときは、[ダイレクト送信]をするか、[画質]を[精細]にして送信してください。[高精細]や[超高精細]で、[ダイレクト送信]を無効にしてモノクロで送信すると、低い解像度に変更されて送信されることがあります。
- 操作パネルで[エラー訂正(ECM)]を有効にしてください。

関連情報

➡ [「基本設定メニュー」178ページ](#)

原稿サイズと違うサイズで送信された

- 原稿台からファクス送信するときは、原稿を原点マークに合わせて正しくセットしてください。操作パネルで原稿のサイズを正しく設定してください。
- 原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。ゴミや汚れがあると、その位置まで読み取り範囲が拡張されるため、位置が大きくずれたり、画像が小さくなったりします。

きれいに受信できない

- 操作パネルで[エラー訂正(ECM)]を有効にしてください。
- 送信元に、より画質の高いモードで送信できないか確認してください。
- 受信文書を再度印刷してみてください。[ジョブ/状態]の[履歴]から印刷できます。

関連情報

➡ [「基本設定メニュー」178ページ](#)

受信ファクスが印刷されない

- 紙詰まりなどでプリンターにエラーが発生していると印刷できません。プリンターを確認してください。
- 受信ボックスまたは親展ボックスに保存する設定になっていると受信ファクスの自動印刷はされません。[受信設定]を確認してください。

関連情報

➡ [「受信ファクスの保存と転送を設定する」168ページ](#)

➡ [「保存・転送設定メニュー」181ページ](#)

受信ファクスの2ページ目が白紙または数行だけ印刷される

[ページ分割設定]で[分割後の印刷破棄]をすると、印刷を1ページだけに抑えることができますようになります。
[分割後の印刷破棄]設定で、[上を破棄]または[下を破棄]を選択して[しきい値]を調整してください。しきい値を上げると、印刷領域が広がり1ページに収めて印刷できることがあります。

関連情報

➡ [「印刷設定メニュー」185ページ](#)

ファクス時のその他のトラブル

関連情報

- ➡ [「プリンターに接続した外付け電話機で通話できない」 194ページ](#)
- ➡ [「留守番電話が応答しない」 194ページ](#)
- ➡ [「ナンバーディスプレイ機能が働かない」 194ページ](#)

プリンターに接続した外付け電話機で通話できない

プリンターのEXT.ポートに外付け電話機を接続し、受話器を上げてダイヤルトーン（ツー音）が聞こえるかを確認してください。ダイヤルトーンが聞こえないときは、モジュラーケーブルを正しく接続してください。

関連情報

- ➡ [「電話機とプリンターを接続する」 160ページ](#)

留守番電話が応答しない

- 操作パネルで、ファクスを受信するまでの〔呼び出し回数〕を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。
- 〔受信モード〕が〔ファクス/電話自動切替〕になっているときは、〔自動〕に変更してください。

関連情報

- ➡ [「留守番機能付き電話機を使えるようにする」 166ページ](#)

ナンバーディスプレイ機能が働かない

- かかってきた相手先のファクス番号を外付け電話機やプリンターのパネルに表示させるには、ナンバーディスプレイサービスの契約をした回線が必要です。ご契約の回線事業者にお問い合わせください。
- 操作パネルで、〔ナンバー・ディスプレイ対応〕設定を変更してください。
- 1回線を電話機とプリンターで共有するときは、電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。並列接続（ブランチ接続）をしているとナンバーディスプレイ機能が使えません。

関連情報

- ➡ [「電話機とプリンターを接続する」 160ページ](#)
- ➡ [「発信元の電話番号を表示する設定にする（ナンバーディスプレイ機能）」 167ページ](#)

エンタープライズセキュリティー設定編

この章では、高度なセキュリティー機能を説明しています。

セキュリティ設定と防止できる脅威

ネットワークにプリンターを接続すると、離れた場所からアクセスして使用できます。また、プリンターを共有してたくさんの人が使用でき、業務効率や利便性の向上に役立ちます。反面、不正アクセスや不正使用、データの改ざんなどのリスクも高くなります。インターネットにアクセスできる環境の場合はさらにリスクが高まります。

外部からのアクセスの保護を施していないプリンターは、本体に記憶している印刷履歴などをインターネットから読み取ることができてしまいます。

リスクを回避するため、エプソン製プリンターにはさまざまなセキュリティ技術を搭載しています。

お客さまの情報環境での条件に合わせて、必要なセキュリティ設定をしてください。

機能名	どんな機能が	何を設定するのか	何を防止できるのか
SSL/TLS通信	ブラウザ経由でのコンピューターとの通信やEpson Connect、ファームウェアアップデートなどプリンターからインターネット上のエプソンサーバーにアクセスするような場合に通信内容がSSL/TLS通信で暗号化されます。	CA署名証明書をCA局から取得し、プリンターにインポートします。	CA署名証明書によってプリンターの身分が明確になることで、なりすましや不正アクセスを防げます。また、通信内容がSSL/TLSによって保護されるため、設定情報や印刷データ内容の漏えいが防げます。
プロトコルの制御	プリンターやコンピューター間の通信で使用するプロトコルやサービスを制御して、機能を有効、無効にします。	機能に対応したプロトコルやサービスを個別に許可、禁止します。	不要な機能を使用できなくすることで、意図されない利用によるセキュリティリスクを軽減できます。
IPsec/IPフィルタリング	特定のクライアントからのデータや、特定の種類のデータだけを通過、遮断する設定ができます。IPsecはIPパケット単位で保護(暗号化および認証)するため、セキュアでないプロトコルも安全に通信できます。	基本ポリシー、個別ポリシーを作成し、プリンターにアクセスできるクライアントやデータの種類を設定します。	プリンターへの不正アクセス、通信データの傍受や改ざんを防止できます。
IEEE802.1X	無線LAN や有線LAN へ認証された利用者だけに接続を許可します。許可された利用者だけがプリンターを使用できるようにします。	RADIUS サーバー（認証サーバー）への認証設定をします。	不正なプリンターへのアクセスや使用を防止できます。

関連情報

- ➡ [「プリンターとのSSL/TLS通信」 197ページ](#)
- ➡ [「利用するプロトコルを制御する」 206ページ](#)
- ➡ [「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」 210ページ](#)
- ➡ [「IEEE802.1X環境にプリンターを接続する」 224ページ](#)

セキュリティ機能の設定

IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xなどの設定は、改ざん、傍受などセキュリティのリスク低減のために、SSL/TLS通信でWeb Configにアクセスして設定することをお勧めします。

また、設定に使うコンピューターは、プリンターとLANケーブルで直結し、ブラウザでIPアドレスを入力してWeb Configを起動して設定できます。セキュリティ設定が完了してからプリンターをセキュアな環境へ接続できます。

プリンターとのSSL/TLS通信

SSL/TLS (Secure Sockets Layer/Transport Layer Security) 通信でプリンターにサーバー証明書を設定して、コンピューターとの通信経路を暗号化できます。なりすましや不正アクセスを防ぎたいときに設定してください。

使用できる電子証明書

- CA署名証明書
認証機関（CA局）によって署名された証明書です。CA局に申請して取得します。この証明書はプリンターの実在性を証明し、SSL/TLS通信に使用されるため、データ通信の安全が確保できます。
SSL/TLS通信に使用する場合は、サーバー証明書として利用されます。
IPsec/IPフィルタリング、IEEE802.1Xに設定する場合は、クライアント証明書として利用されます。
- CA証明書
CA署名証明書のチェーン内の証明書で、中間CA証明書とも呼ばれます。相手サーバーまたはWeb Configにアクセスするブラウザが、プリンターの証明書パスを検証するために使用されます。
相手サーバー検証用のCA証明書は、プリンターからアクセスするサーバーの証明書パスを検証する場合に設定します。プリンターでは、SSL/TLS通信用のCA署名証明書の証明書パスを証明するために設定します。
プリンターのCA証明書は、CA署名証明書を発行したCA局から入手できます。
また、相手サーバー検証に使用するCA署名証明書は、相手サーバーのCA署名証明書を発行したCA局から入手できます。
- 自己署名証明書
プリンター自らが署名し、発行した証明書です。ルート証明書とも呼ばれます。発行者が自分自身を証明しているので、証明書として信頼性がなく、なりすましは防げません。
セキュリティ設定をする際にCA署名証明書なしで簡易的にSSL/TLS通信を行う場合に使用してください。
ブラウザに証明書の登録がないために、SSL/TLS通信でプリンターにアクセスするとセキュリティ警告が出ることがあります。自己署名証明書はSSL通信のみで使用できます。

関連情報

- ➡ [「CA署名証明書の取得とインポート」 198ページ](#)
- ➡ [「CA署名証明書を削除する」 202ページ](#)
- ➡ [「自己署名証明書を更新する」 204ページ](#)

CA署名証明書の取得とインポート

CA署名証明書を取得する

CA署名証明書を取得するにはCSR（証明書発行要求）を生成し、CA局に申請します。CSRはWeb Configかコンピューターで生成してください。

ここではWeb Configから取得する方法を説明します。Web Configで生成したCSRの証明書はPEM/DER形式です。

1. Web Configで【ネットワークセキュリティ】タブを選択し、【SSL/TLS】 - 【証明書】または【IPsec/IPフィルタリング】 - 【クライアント証明書】または【IEEE802.1X】 - 【クライアント証明書】を選択します。

どれを選択しても同じ証明書が取得でき、共通で使用できます。

2. 【CSR】の【生成】をクリックします。

CSR生成画面が開きます。

3. 各項目を設定します。

参考 対応している公開鍵長や省略の可否はCA局によって異なる場合があります。申請するCA局のルールに従って記載してください。

4. 【設定】をクリックします。

インポートされると完了メッセージが表示されます。

5. 【ネットワークセキュリティ】タブを選択し、【SSL/TLS】 - 【証明書】または【IPsec/IPフィルタリング】 - 【クライアント証明書】または【IEEE802.1X】 - 【クライアント証明書】を選択します。

6. CA局規定のファイル形式に従い【CSR】のダウンロードボタンをクリックして、CSRをコンピューターにダウンロードします。

！重要 再度CSRを生成しないでください。交付されたCA署名証明書がインポートできなくなります。

7. 保存したCSRをCA局に送付し、CA署名証明書を入手します。

送付方法や送付形態は、CA局の規定に従ってください。

8. 入手したCA署名証明書を、プリンターに接続しているコンピューターに保存します。

指定場所にCA署名証明書ファイルが保存されたら完了です。

CSRの設定項目

EPSON

L3110 Series

情報確認印刷スキャン/コピーファクスネットワークネットワークセキュリティ本体セキュリティデバイス管理Epson Open Platform

プロトコル
相手サーバー検証用CA証明書
ルート証明書更新
SSL/TLS
 >基本
 >証明書
IPsecIPフィルタリング
 >基本
 >クライアント証明書
IEEE802.1X
 >基本
 >クライアント証明書

SSL/TLS > 証明書

公開鍵長:

RSA 2048bit - SHA-256

コモンネーム:

EPSON2000,EPSON2000@epson.com,192.0.2.123

組織名:

部署名:

市町村名:

都道府県名:

国コード:

設定

戻る

項目	設定値と説明
公開鍵長	CSRIに使用する公開鍵長を選択します。
コモンネーム	1～128文字以内で入力できます。IPアドレスを指定するときは、固定のIPアドレスを設定します。IPv4アドレス、IPv6アドレス、ホスト名、FQDNを「.」カンマで区切って1～5個入力できます。 先頭の要素がコモンネームに格納され、その他の要素は証明書のサブジェクトの別名フィールドに格納されます。 記入例： プリンターのIPアドレス：192.0.2.123、プリンター名：EPSONA1B2C3 コモンネーム：EPSONA1B2C3,EPSONA1B2C3.local,192.0.2.123
組織名/ 部署名/ 市町村名/ 都道府県名	ASCII (0x20-0x7E)で表せる0～64文字以内（部署名は55文字以内）で入力できます。識別名（CN）はカンマで分割できます。
国コード	ISO-3166で規定している2文字の国コードを入力します。

関連情報

➡ [「CA署名証明書を取得する」198ページ](#)

CA署名証明書をインポートする

取得したCA署名証明書をプリンターにインポートします。

！重要

- プリンターの日付と時刻が正しく設定されていることを確認してください。証明書が無効になる場合があります。
- Web Configで生成したCSRで証明書を取得した場合、証明書をインポートできるのは一度だけです。

1. Web Configで[ネットワークセキュリティ] タブを選択し、[SSL/TLS] - [証明書] または [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書] または [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。

2. [インポート] をクリックします。

証明書インポート設定画面が開きます。

3. 各項目を設定します。[CA証明書1]、[CA証明書2] はプリンターにアクセスするブラウザで証明書のパスを検証する場合に設定してください。

インポートの設定内容は、CSRの生成場所や証明書のファイル形式によって異なります。以下を参考にして入力が必要な項目を設定してください。

- Web Configから取得したPEM/DER形式の証明書
 - [秘密鍵]：プリンターで保持しているため設定しない
 - [パスワード]：設定しない
 - [CA証明書1] / [CA証明書2]：任意
- コンピューターから取得したPEM/DER形式の証明書
 - [秘密鍵]：設定する
 - [パスワード]：設定しない
 - [CA証明書1] / [CA証明書2]：任意
- コンピューターから取得したPKCS#12形式の証明書
 - [秘密鍵]：設定しない
 - [パスワード]：任意
 - [CA証明書1] / [CA証明書2]：設定しない

4. [設定] をクリックします。

インポートされると完了メッセージが表示されます。



[表示] をクリックするとインポートした証明書の情報が確認できます。

関連情報

- ➡ [\[Web Configの起動\] 31ページ](#)
- ➡ [\[CA署名証明書のインポート設定項目\] 201ページ](#)

CA署名証明書のインポート設定項目

EPSON LX-10000F Series

情報確認 印刷 スキャン/コピー ファクス ネットワーク ネットワークセキュリティ 本体セキュリティ デバイス管理 Epson Open Platform

SSL/TLS > 証明書

プロトコル
相手サーバー検証用CA証明書
ルート証明書更新
SSL/TLS
 >基本
 >証明書
IPsec/IPフィルタリング
 >基本
 >クライアント証明書
IEEE802.1X
 >基本
 >クライアント証明書

サーバー証明書: 証明書 (PEM/DER)
参照... 00_RootCert.crt

秘密鍵: 参照... key.pem

パスワード:

CA証明書1: 参照... 01_CAcert.pem

CA証明書2: 参照... 02_CAcert.pem

※証明書をインポートするときは、HTTPSで暗号化して送信することをお勧めします。

設定 戻る

項目	設定値と説明
サーバー証明書 または クライアント証明書	取得したCA署名証明書のファイル形式を選択し、ファイルを指定します。 SSL/TLSの場合、サーバー証明書になります。 IPsec/IP フィルタリング、IEEE802.1Xの場合はクライアント証明書になります。
秘密鍵	コンピュータで生成したCSRでPEM/DER形式の証明書を取得した場合、証明書と対になった秘密鍵ファイルを指定します。
パスワード	ファイル形式が「秘密鍵付き証明書 (PKCS#12)」の場合、証明書取得時に設定した秘密鍵暗号化のパスワードを入力します。
CA証明書1	ファイル形式が「証明書 (PEM/DER)」の場合、サーバー証明書として使うCA署名証明書を発行したCA局の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。
CA証明書2	ファイル形式が「証明書 (PEM/DER)」の場合、CA証明書1を発行した機関の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。

関連情報

➡ 「CA署名証明書をインポートする」 200ページ

CA署名証明書を削除する

サービスが無効になった証明書や使用していない証明書は削除できます。

！重要 Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除すると再インポートができません。必要な場合はCSRを再生成して取得し直してください。

1. Web Configで【ネットワークセキュリティ】タブを選択します。【SSL/TLS】 - 【証明書】または【IPsec/IPフィルタリング】 - 【クライアント証明書】または【IEEE802.1X】 - 【クライアント証明書】を選択します。
2. 【削除】をクリックします。
3. 確認のメッセージを確認して、削除します。

相手サーバー検証用CA証明書を設定する

相手サーバー検証用CA証明書を設定すると、プリンターがアクセスするサーバーの、CA証明書のパスを検証できます。これによってなりすましを防止できます。

相手サーバー検証用CA証明書は相手サーバーのCA署名証明書を発行したCA局から入手できます。

関連情報

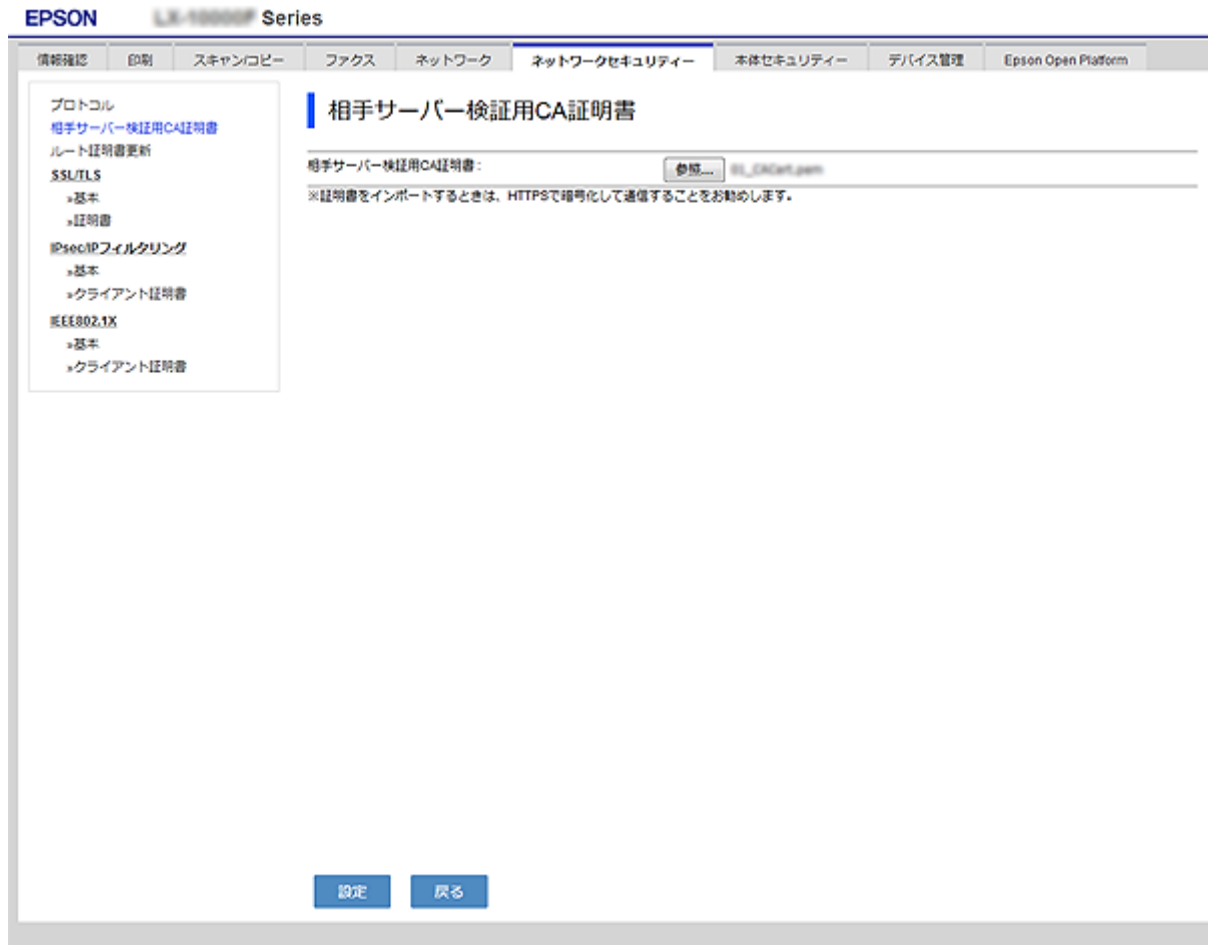
- ➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)
- ➡ [「CSRの設定項目」 199ページ](#)
- ➡ [「CA署名証明書をインポートする」 200ページ](#)

相手サーバー検証用CA証明書をインポートする

相手サーバー検証用CA証明書 をプリンターにインポートします。

1. Web Configで【ネットワークセキュリティ】タブ - 【相手サーバー検証用CA証明書】を選択します。
2. 【インポート】をクリックします。

3. インポートする相手サーバー検証用CA証明書ファイルを指定します。



4. 「設定」をクリックします。

インポートされると「相手サーバー検証用CA証明書」に戻り、インポートされた相手サーバー検証用CA証明書の情報が表示されます。

相手サーバー検証用CA証明書を削除する

インポート済みの相手サーバー検証用CA証明書を削除します。

1. Web Configで「ネットワークセキュリティ」タブ - 「相手サーバー検証用CA証明書」を選択します。

- 削除したい相手サーバー検証用CA証明書の「削除」をクリックします。



- 確認のメッセージを確認して、削除します。
- 「ネットワーク再起動」をクリックし、更新された画面で削除したCA証明書が一覧にないことを確認してください。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

自己署名証明書を更新する

自己署名証明書はプリンターが発行しているので、有効期限が切れた場合や記載している内容に変更があった場合などに更新できます。

- Web Configで「ネットワークセキュリティ」タブ - 「SSL/TLS」 - 「証明書」を選択します。
- 「更新」をクリックします。

3. 【コモンネーム】を入力します。

IPv4アドレス、IPv6アドレス、ホスト名、FQDNを「.」カンマで区切って5個まで、1～128文字以内で入力できます。先頭の要素がコモンネームに格納され、その他の要素は証明書のサブジェクトの別名フィールドに格納されます。

記入例：

プリンターのIPアドレス：192.0.2.123、プリンター名：EPSONA1B2C3

コモンネーム：EPSONA1B2C3,EPSONA1B2C3.local,192.0.2.123

4. 証明書の有効期間を選択します。

EPSON L3110 Series

情報確認 印刷 スキャン/コピー ファクス ネットワーク ネットワークセキュリティ 本体セキュリティ デバイス管理 Epson Open Platform

SSL/TLS > 証明書

公開鍵: RSA 2048bit - SHA-256

コモンネーム: EPSON2016-12-15 07:43:31 UTC

組織名: SEIKO EPSON CORP.

有効期限開始日時 (UTC): 2016-12-15 07:43:31 UTC

有効期間 (年): 10

次へ 戻る

5. 【次へ】をクリックします。

確認画面が表示されます。

6. 【設定】をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

参考 【ネットワークのセキュリティ設定】タブ - 【SSL/TLS】 - 【証明書】 - 【自己署名証明書】にある【表示】をクリックすると証明書の情報が確認できます。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

利用するプロトコルを制御する

プリンターに印刷する場合、いろいろな経路やプロトコルから印刷できます。
また、複合機であればネットワークスキャンやPC-FAXが不特定多数のコンピューターから利用可能になります。
使わない機能やプロトコル、サービスを無効にすることで意図しない経路からの不正なアクセスや印刷などのセキュリティリスクを軽減できます。

プロトコルを制御する

プリンターが対応している制御可能なプロトコルの設定をします。

1. Web Configで「ネットワークセキュリティ」タブ - 「プロトコル」を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. 「次へ」をクリックします。
4. 「設定」をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

有効・無効が設定可能なプロトコル

プロトコル	説明
Bonjour設定	Bonjourを使用するかを指定できます。Bonjourは機器の検索や印刷などに使われます。
SLP設定	SLP機能の有効・無効が設定できます。SLPはエプソンプリンターではブッシュスキャン機能やEpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。
WSD設定	WSD機能の有効・無効が設定できます。WSDデバイスの追加やWSDポートからの印刷ができるようになります。
LLTD設定	LLTDの有効・無効が設定できます。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。
LLMNR設定	LLMNRの有効・無効が設定できます。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。
LPR設定	LPR印刷を許可するかを指定できます。有効にするとLPRポートからの印刷ができるようになります。
RAW (Port9100) 設定	RAWポート (Port9100) からの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとRAWポート (Port9100) からの印刷ができるようになります。
IPP設定	IPPからの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとインターネット経由の印刷ができるようになります。
FTP設定	FTP印刷を許可するかを指定できます。有効にするとFTPサーバーからの印刷ができるようになります。

プロトコル	説明
SNMPv1/v2c設定	SNMPv1/v2cの有効・無効を指定できます。エプソンプリンターでは機器の設定や監視などに使われます。
SNMPv3設定	SNMPv3の有効・無効を指定できます。エプソンプリンターでは暗号化した機器の設定や監視などの通信で使われます。

プロトコルの設定項目

EPSON ネットワークセキュリティ

情報確認 印刷 スキャン/コピー ファクス ネットワーク ネットワークセキュリティ 本体セキュリティ デバイス管理 Epson Open Platform

プロトコル

※各プロトコルのデバイス名、Bonjour名を変更するには、ネットワーク基本のデバイス名を変更してください。
各プロトコルのロケーションを変更するには、ネットワーク基本のロケーションを変更してください。

Bonjour設定

☒ Bonjourを使用する

Bonjour名: EPSON local

Bonjourサービス名: EPSON

ロケーション:

最優先プロトコル: IPP

SLP設定

☒ SLP機能を有効にする

WSD設定

☒ WSDを有効にする

印刷タイムアウト(秒): 300

スキャンタイムアウト(秒): 300

デバイス名: EPSON

ロケーション:

LLTD設定

☒ LLTDを有効にする

デバイス名: EPSON

LLNMR設定

☒ LLNMRを有効にする

次へ

Bonjour設定

項目	設定値と説明
Bonjourを使用する	チェックを入れるとBonjourで機器を検索または使用することを許可します。
Bonjour名	Bonjour名が表示されます。
Bonjourサービス名	Bonjourサービス名が表示されます。
ロケーション	Bonjourのロケーションが表示されます。
最優先プロトコル	Bonjour印刷の最優先プロトコルを選択します。

エンタープライズセキュリティ設定編

項目	設定値と説明
Wide-Area Bonjour	Wide-Area Bonjourを使用するかどうか設定します。

SLP設定

項目	設定値と説明
SLP機能を有効にする	チェックを入れるとSLP機能が有効になります。 EpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。

WSD設定

項目	設定値と説明
WSDを有効にする	チェックを入れるとWSDによるデバイス追加が有効になります。
印刷タイムアウト (秒)	WSD印刷の通信タイムアウト時間を3～3600秒の範囲で入力します。
スキャンタイムアウト (秒)	WSDスキャンの通信タイムアウト時間を3～3600秒の範囲で入力します。
デバイス名	WSDのデバイス名が表示されます。
ロケーション	WSDのロケーションが表示されます。

LLTD設定

項目	設定値と説明
LLTDを有効にする	チェックを入れるとLLTDが有効になります。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。
デバイス名	LLTDのデバイス名が表示されます。

LLMNR設定

項目	設定値と説明
LLMNRを有効にする	チェックを入れるとLLMNRが有効になります。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。

LPR設定

項目	設定値と説明
LPRポートからの印刷を許可する	チェックを入れるとLPRポートからの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	LPR印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

RAW (Port9100) 設定

項目	設定値と説明
RAWポート(Port9100)からの印刷を許可する	チェックを入れるとRAWポート (Port9100) からの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	RAW (Port9100) 印刷の通信タイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

IPP設定

項目	設定値と説明
IPPを有効にする	チェックを入れるとIPP通信が有効になります。IPPをサポートしているプリンターのみ表示されます。
非セキュア通信を許可する	チェックを入れると非セキュア (IPP) で通信します。
通信タイムアウト (秒)	IPP印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。
URL (ネットワーク)	有線LAN、または無線LANで接続されている場合にIPPのURL (httpとhttps) が併記されます。URLはプリンターのIPアドレスとポート番号とIPPのプリンター名が組み合わされた値です。
URL (Wi-Fi Direct)	Wi-Fi Directで接続されている場合にIPPのURL (httpとhttps) が併記されます。URLはプリンターのIPアドレスとポート番号とIPPのプリンター名が組み合わされた値です。
プリンター名	IPPのプリンター名が表示されます。
ロケーション	IPPのロケーションが表示されます。

FTP設定

項目	設定値と説明
FTPサーバーを有効にする	チェックを入れるとFTP通信が有効になります。FTP印刷をサポートしているプリンターのみ表示されます。
通信タイムアウト (秒)	FTP印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

SNMPv1/v2c設定

項目	設定値と説明
SNMPv1/v2cを有効にする	チェックを入れるとSNMPv1/v2cを有効にします。SNMPv3をサポートしているスキャナーのみ表示されます。
アクセス権限	SNMPv1/v2cを有効にした場合にアクセス権限を設定します。[読み込み専用] または [読み書き可能] を選択します。

項目	設定値と説明
コミュニティ名 (読み込み専用)	ASCII (0x20～0x7E) で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
コミュニティ名 (読み書き可能)	ASCII (0x20～0x7E) で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。

SNMPv3設定

項目		設定値と説明
SNMPv3を有効にする		チェックを入れるとSNMPv3が有効になります。
ユーザー名		1バイト文字を使って1～32字以内で入力します。
認証設定		
	アルゴリズム	SNMPv3の認証用のアルゴリズムを選択します。
	パスワード	SNMPv3の認証パスワードを入力します。 ASCII (0x20-0x7E)で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
	パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
暗号化設定		
	アルゴリズム	暗号化アルゴリズムを選択します。
	パスワード	暗号化パスワードを入力します。 ASCII (0x20-0x7E)で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
	パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
コンテキスト名		Unicode (UTF-8) で表せる32文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。言語によって扱える文字数は異なります。

IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する

IPsec/IPフィルタリングの概要

IPsec/IPフィルタリング機能を使用すると、IPアドレス、サービスの種類、受信や送信ポートなどをフィルタリングできます。これらを組み合わせることによって、特定のクライアントからのデータや特定の種類のデータを通過させたり、遮断したりできます。IPsecと組み合わせることによってさらに強固なセキュリティ通信ができます。

 **参考** Windows Vista以降またはWindows Server 2008以降のWindowsは、IPsecに対応しています。

基本ポリシーを設定する

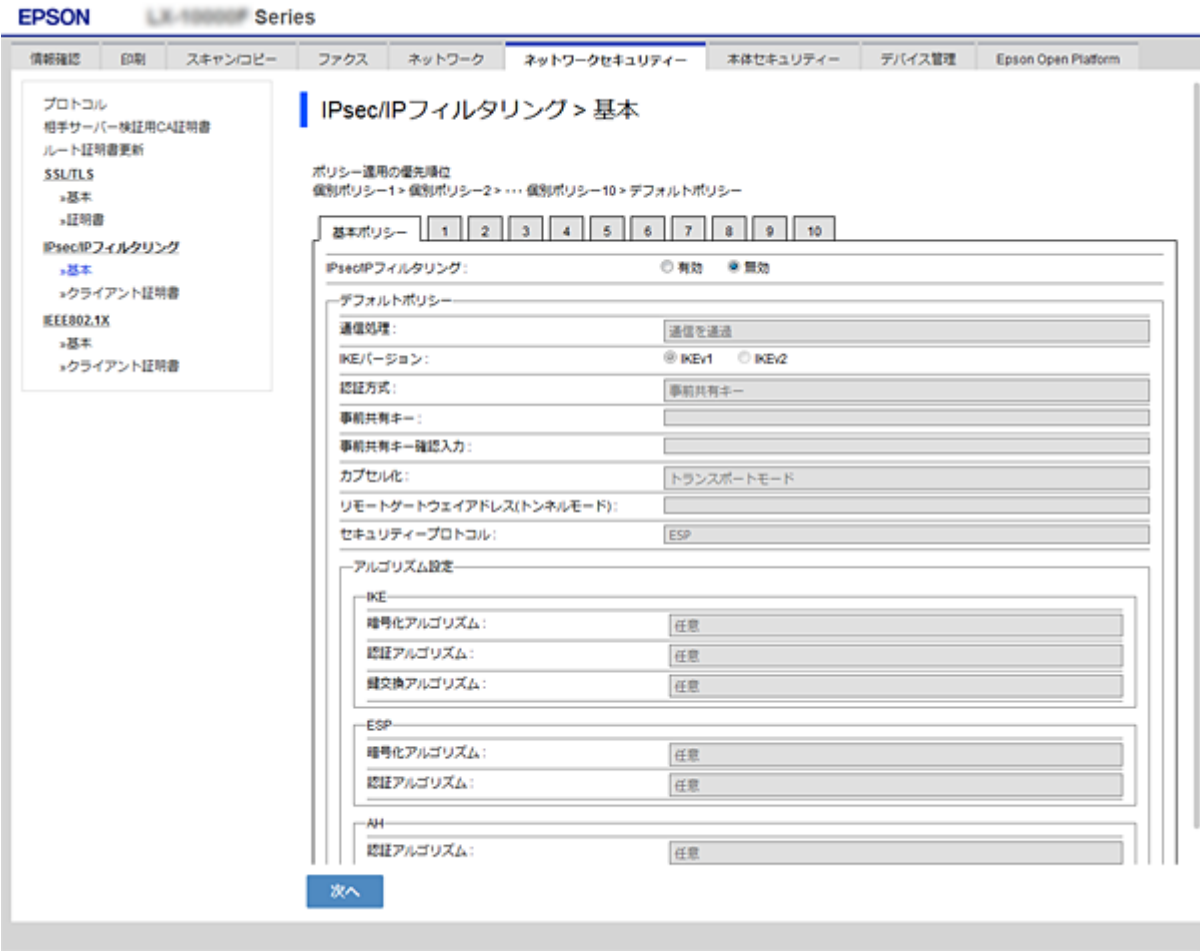
フィルタリングのために基本ポリシーを設定します。基本ポリシーはプリンターにアクセスする全てのクライアントに影響します。より細かくアクセスを制御するには、個別ポリシーを設定します。

1. Web Configで「ネットワークセキュリティ」タブ - 「IPsec/IPフィルタリング」 - 「基本」を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. 「次へ」をクリックします。
確認画面が表示されます。
4. 「設定」をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)
- ➡ [「基本ポリシーの設定項目」 212ページ](#)

基本ポリシーの設定項目



[基本ポリシー]

項目	設定値と説明
IPsec/IPフィルタリング	IPsec/IPフィルタリング機能を有効または無効にします。

- [通信処理]
IP通信の制御方法を設定します。

項目	設定値と説明
通信を通過	IPパケットの通過を許可するときに選択します。
通信を遮断	IPパケットを遮断したいときに選択します。
IPsecの使用	IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。

- [IKEバージョン]
[IKEバージョン] で [IKEv1] または [IKEv2] を選択します。プリンターを接続する機器に合わせて選択してください。
- IKEv1
[IKEバージョン] で [IKEv1] を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明
認証方式	CA署名証明書をインポートすると[証明書] が選択できるようになります。
事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- IKEv2

項目		設定値と説明
ローカル認証	認証方式	CA署名証明書をインポートすると[証明書] が選択できるようになります。
	IDの種類	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、プリンターを何のIDで認証させるか選択します。
	ID	IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 [識別名] : ASCII (1 x 20～0x7E) で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。=を含めてください。 [IPアドレス] : IPv4またはIPv6形式で入力します。 [FQDN] : 半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 [メールアドレス] : ASCII (1 x 20～0x7E) で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。@を含めてください。 [任意の文字列] : ASCII (1 x 20～0x7E) で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。
	事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

エンタープライズセキュリティ設定編

項目		設定値と説明
リモート認証	認証方式	CA署名証明書をインポートすると「証明書」が選択できるようになります。
	IDの種類	「認証方式」で「事前共有キー」を選択した場合、認証相手を表すIDの種類を選択します。
	ID	IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 「識別名」：ASCII（1 x 20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。=を含めてください。 「IPアドレス」：IPv4またはIPv6形式で入力します。 「FQDN」：半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 「メールアドレス」：ASCII（1 x 20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。@を含めてください。 「任意の文字列」：ASCII（1 x 20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。
	事前共有キー	「認証方式」で「事前共有キー」を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

- 「カプセル化」
「通信処理」で「IPsecの使用」を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
トランスポートモード	主に同じLAN内だけでプリンターとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。
トンネルモード	主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでプリンターを接続するときに選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。 「リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)」：「カプセル化」で「トンネルモード」を選択した場合、1～39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。

- 「セキュリティプロトコル」
「通信処理」で「IPsecの使用」を選択した場合、IPsecのセキュリティプロトコルを選択します。

項目	設定値と説明
ESP	認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。
AH	認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。

• [アルゴリズム設定]

全ての設定で[任意]を選択するか、全て個別に選択することをお勧めします。一部のアルゴリズム設定を[任意]にして一部を選択した場合、相手の設定によっては通信ができない場合があります。

項目		設定値と説明
IKE	暗号化アルゴリズム	IKEで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
	認証アルゴリズム	IKEで利用する認証アルゴリズムを選択します。
	鍵交換アルゴリズム	IKEで利用する鍵交換アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
ESP	暗号化アルゴリズム	ESPで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 [セキュリティプロトコル] が [ESP] のときに選択できます。
	認証アルゴリズム	ESPで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティプロトコル] が [ESP] のときに選択できます。
AH	認証アルゴリズム	AHで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティプロトコル] が [AH] のときに選択できます。

関連情報

➡ [「基本ポリシーを設定する」 211ページ](#)

個別ポリシーを設定する

個別ポリシーは、プリンターへの各アクセスに適用されるルールです。IPパケットを受け取ったプリンターはポリシーを参照し、IPパケットを制御します。ポリシーは、個別ポリシー1、個別ポリシー2と順に適用され、最後に基本ポリシーが適用されます。

1. Web Configで[ネットワークセキュリティ] タブ - [IPsec/IPフィルタリング] - [基本] を選択します。
2. 設定したい番号のタブをクリックします。
3. 各項目を設定します。
4. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
5. [設定] をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)
- ➡ [「個別ポリシーの設定項目」 216ページ](#)

個別ポリシーの設定項目



項目	設定値と説明
この個別ポリシーを有効にする	選択している個別ポリシーを有効または無効にします。

〔通信処理〕
IP通信の制御方法を設定します。

項目	設定値と説明
通信を通過	IPパケットの通過を許可するときに選択します。
通信を遮断	IPパケットを遮断したいときに選択します。
IPsecの使用	IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。

〔ローカルアドレス（プリンター）〕
お使いの環境に合ったIPv4アドレスまたはIPv6アドレスを選択します。IPアドレスの取得方法が自動の場合は、「自動取得したIPv4アドレスを使用する」が選択できます。

参考 IPv6アドレスが自動取得の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定のIPv6アドレスを設定してください。

〔リモートアドレス（ホスト）〕

通信を制御する機器のIPアドレスを入力します。IPアドレスは43文字以内で入力してください。何も入力しないと、全てのIPアドレスが制御の対象になります。

参考 IPアドレスがDHCPや自動取得（IPv6）の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定のIPアドレスを設定してください。

〔ポート指定方法〕

ポートの指定方法を設定します。

- サービス名
〔ポート指定方法〕で〔サービス名〕を選択した場合、IPsecのセキュリティプロトコルを選択します。
- トランスポートプロトコル
〔ポート指定方法〕で〔ポート番号〕を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

項目	設定値と説明
全てのプロトコル	全てのプロトコルタイプを制御したい場合に選択します。
TCP	ユニキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
UDP	ブロードキャストやマルチキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
ICMPv4	pingコマンドを制御したい場合などに選択します。

- ローカルポート番号
〔ポート指定方法〕で〔ポート番号〕を選択し、かつ〔トランスポートプロトコル〕で〔TCP〕または〔UDP〕を選択した場合は、受信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。
記入例：20,80,119,5220
何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。
- リモートポート番号
〔ポート指定方法〕で〔ポート番号〕を選択し、かつ〔トランスポートプロトコル〕で〔TCP〕または〔UDP〕を選択した場合は、送信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。
記入例：25,80,143,5220
何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。

〔IKEバージョン〕

〔IKEバージョン〕で〔IKEv1〕または〔IKEv2〕を選択します。プリンターを接続する機器に合わせて選択してください。

- IKEv1
〔IKEバージョン〕で〔IKEv1〕を選択すると表示されます。

項目	設定値と説明
認証方式	〔通信処理〕で〔IPsecの使用〕を選択した場合、IPsecのセキュリティプロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
事前共有キー	〔認証方式〕で〔事前共有キー〕を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

• IKEv2

項目		設定値と説明
ローカル認証	認証方式	〔通信処理〕で〔IPsecの使用〕を選択した場合、IPsecのセキュリティプロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
	IDの種類	〔認証方式〕で〔事前共有キー〕を選択した場合、プリンターを何のIDで認証させるか選択します。
	ID	IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 〔識別名〕：ASCII（1 x 20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。=を含めてください。 〔IPアドレス〕：IPv4またはIPv6形式で入力します。 〔FQDN〕：半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 〔メールアドレス〕：ASCII（1 x 20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。@を含めてください。 〔任意の文字列〕：ASCII（1 x 20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。
	事前共有キー	〔認証方式〕で〔事前共有キー〕を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。
リモート認証	認証方式	〔通信処理〕で〔IPsecの使用〕を選択した場合、IPsecのセキュリティプロトコルを選択します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。
	IDの種類	〔認証方式〕で〔事前共有キー〕を選択した場合、認証相手を表すIDの種類を選択します。
	ID	IDの種類に合わせてプリンターのIDを入力します。 いずれの場合も先頭に@#=は使用できません。 〔識別名〕：ASCII（1 x 20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。=を含めてください。 〔IPアドレス〕：IPv4またはIPv6形式で入力します。 〔FQDN〕：半角英数字、ドット、ハイフンを組み合わせて1～255文字以内で入力します。 〔メールアドレス〕：ASCII（1 x 20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。@を含めてください。 〔任意の文字列〕：ASCII（1 x 20～0x7E）で表せる1バイト文字で0～128文字以内で入力します。
	事前共有キー	〔認証方式〕で〔事前共有キー〕を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーを設定します。
	事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。

〔カプセル化〕

〔通信処理〕で〔IPsecの使用〕を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。

エンタープライズセキュリティ設定編

項目	設定値と説明
トランスポートモード	主に同じLAN内だけでプリンターとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。
トンネルモード	主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでプリンターを接続するときを選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。 [リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)] : [カプセル化] で [トンネルモード] を選択した場合、1～39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。

[セキュリティプロトコル]

[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティプロトコルを選択します。

項目	設定値と説明
ESP	認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。
AH	認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。

[アルゴリズム設定]

全ての設定で [任意] を選択するか、全て個別に選択することをお勧めします。一部のアルゴリズム設定を [任意] にして一部を選択した場合、相手の設定によっては通信ができない場合があります。

項目		設定値と説明
IKE	暗号化アルゴリズム	IKEで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
	認証アルゴリズム	IKEで利用する認証アルゴリズムを選択します。
	鍵交換アルゴリズム	IKEで利用する鍵交換アルゴリズムを選択します。 IKEのバージョンで選択できる項目が異なります。
ESP	暗号化アルゴリズム	ESPで利用する暗号化アルゴリズムを選択します。 [セキュリティプロトコル] が [ESP] のときに選択できます。
	認証アルゴリズム	ESPで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティプロトコル] が [ESP] のときに選択できます。
AH	認証アルゴリズム	AHで利用する認証アルゴリズムを選択します。 [セキュリティプロトコル] が [AH] のときに選択できます。

関連情報

- ➡ [「個別ポリシーを設定する」 215ページ](#)
- ➡ [「ローカルアドレス（プリンター）とリモートアドレス（ホスト）の組合せ」 220ページ](#)
- ➡ [「個別ポリシーのサービス名一覧」 220ページ](#)

ローカルアドレス（プリンター）とリモートアドレス（ホスト）の組合せ

		ローカルアドレス（プリンター）の設定値		
		IPv4	IPv6* ²	使用可能な全てのアドレス* ³
リモートアドレス（ホスト）の設定値	IPv4* ¹	○	×	○
	IPv6* ¹ * ²	×	○	○
	空白	○	○	○

*1 [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、範囲指定はできません。

*2 [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合リンクローカルアドレス（fe80::）は選択できますが、個別ポリシーは無効になります。

*3 IPv6リンクローカルアドレスは除きます。

個別ポリシーのサービス名一覧

参考 非対応のサービスは表示されますが、選択できません。

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
全て	-	-	-	全てのサービス
ENPC	UDP	3289	任意	Epson Device Adminなどのアプリケーションソフト、プリンタードライバ、スキャナードライバからのプリンター探索
SNMP	UDP	161	任意	Epson Device Adminなどのアプリケーションソフト、エプソンのプリンタードライバ、スキャナードライバからのプリンターMIB情報の取得と設定
LPR	TCP	515	任意	LPRデータの転送
RAW (Port9100)	TCP	9100	任意	RAWデータの転送
WSD	TCP	任意	5357	WSDの制御
WS-Discovery	UDP	3702	任意	WSDのプリンター探索
Network Scan	TCP	1865	任意	Document Capture Proからのスキャンデータの転送
Network Push Scan	TCP	任意	2968	Document Capture Proからのプッシュスキャン時のジョブ情報取得

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
Network Push Scan Discovery	UDP	2968	任意	Document Capture Proからのブッシュスキャン時のコンピューター探索
FTP データ (ローカル)	TCP	20	任意	FTPサーバー (FTP印刷のデータ転送)
FTP 制御 (ローカル)	TCP	21	任意	FTPサーバー (FTP印刷の制御)
FTP データ (リモート)	TCP	任意	20	FTPクライアント (スキャンデータまたは受信ファクスのFTP転送) ただし、制御できるのは20番のリモートポート番号を使用するFTPサーバーとのみ
FTP 制御 (リモート)	TCP	任意	21	FTPクライアント (スキャンデータや受信ファクスのFTP転送の制御)
CIFS (ローカル)	TCP	445	任意	CIFSサーバー (ネットワークフォルダー共有)
CIFS (リモート)	TCP	任意	445	CIFSクライアント (スキャンデータや受信ファクスのフォルダー転送)
NetBIOS Name Service (ローカル)	UDP	137	任意	CIFSサーバー (ネットワークフォルダー共有)
NetBIOS Datagram Service (ローカル)	UDP	138	任意	
NetBIOS Session Service (ローカル)	TCP	139	任意	
NetBIOS Name Service (リモート)	UDP	任意	137	CIFSクライアント (スキャンデータや受信ファクスのフォルダー転送)
NetBIOS Datagram Service (リモート)	UDP	任意	138	
NetBIOS Session Service (リモート)	TCP	任意	139	
HTTP (ローカル)	TCP	80	任意	HTTP(S)サーバー (Web ConfigやWSDのデータ転送)
HTTPS (ローカル)	TCP	443	任意	

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
HTTP (リモート)	TCP	任意	80	HTTP(S)クライアント (Epson ConnectやGoogleクラウドプリントの通信、ファームウェアアップデートやルート証明書の更新)
HTTPS (リモート)	TCP	任意	443	

IPsec/IPフィルタリングの設定例

IPsecで保護されたパケットだけを受け付ける

個別ポリシーを設定しない場合は、基本ポリシーだけが使われます。

〔基本ポリシー〕：

- 〔IPsec/IPフィルタリング〕：〔有効〕
- 〔通信処理〕：〔IPsecの使用〕
- 〔認証方式〕：〔事前共有キー〕
- 〔事前共有キー〕：1～127文字以内の任意文字

〔個別ポリシー〕：設定しない

印刷データとプリンター設定を受け付ける

指定したサービスからの印刷データとプリンター設定の通信を受け付ける場合の例です。

〔基本ポリシー〕：

- 〔IPsec/IPフィルタリング〕：〔有効〕
- 〔通信処理〕：〔通信を遮断〕

〔個別ポリシー〕：

- 〔この個別ポリシーを有効にする〕：チェックを入れる
- 〔通信処理〕：〔通信を通過〕
- 〔リモートアドレス (ホスト)〕：印刷クライアントのIPアドレス
- 〔ポート指定方法〕：〔サービス名〕
- 〔サービス名〕：〔ENPC〕、〔SNMP〕、〔HTTP (ローカル)〕、〔HTTPS (ローカル)〕、〔RAW (Port9100)〕にチェックを入れる

特定のIPアドレスからの通信のみ受け付ける

管理者など特定のコンピューターからの通信のみを受け付ける場合の例です。

〔基本ポリシー〕：

- 〔IPsec/IPフィルタリング〕：〔有効〕
- 〔通信処理〕：〔通信を遮断〕

〔個別ポリシー〕：

- 〔この個別ポリシーを有効にする〕：チェックを入れる
- 〔通信処理〕：〔通信を通過〕
- 〔リモートアドレス (ホスト)〕：管理者用クライアントのIPアドレス

参考 ポリシーの設定に関わらず、プリンターの検索や設定を行うためのプロトコルは使用できます。

IPsec/IPフィルタリングで使用する証明書を設定する

IPsec/IPフィルタリングで使用するクライアント証明書を設定します。設定すると、IPsec/IPフィルタリングの認証方式で証明書を使用できるようになります。なお、相手サーバー検証用の証明書を設定する場合は、[相手サーバー検証用CA証明書]で行います。

1. Web Configで[ネットワークセキュリティ] タブ - [IPsec/IPフィルタリング] - [クライアント証明書] を選択します。
2. [クライアント証明書] 画面で証明書をインポートします。

IEEE802.1XまたはSSL/TLSで、CA局が発行した証明書をインポートしている場合は証明書をコピーしてIPsec/IPフィルタリングで使用できます。コピーする場合は、[コピー元] からどの証明書を使うか選択して[コピー] をクリックしてください。



関連情報

- ➡ [Web Configの起動] 31ページ
- ➡ [CA署名証明書を取得する] 198ページ

IEEE802.1X環境にプリンターを接続する

IEEE802.1Xを設定する

プリンターにIEEE802.1Xを設定すると、RADIUSサーバーと認証機能を持ったLANスイッチやアクセスポイントに接続されたネットワークで使用できます。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ - [IEEE802.1X] - [基本] を選択します。

2. 各項目を設定します。

無線LANで使う場合は [無線LAN設定] をクリックしてSSIDを選択するか、入力してください。

 ここでの設定値は有線LANと無線LANで共通に使えます。

3. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➡ [\[Web Configの起動\] 31ページ](#)
- ➡ [\[IEEE802.1Xの設定項目\] 225ページ](#)
- ➡ [\[IEEE802.1Xを設定したのにつながらない\] 231ページ](#)

IEEE802.1Xの設定項目

EPSON **Series**

情報確認 印刷 スキャンコピー ファクス ネットワーク ネットワークセキュリティ 本体セキュリティ デバイス管理 Epson Open Platform

プロトコル
相手サーバー検証用CA証明書
ルート証明書更新
SSL/TLS
 >基本
 >証明書
IPsecIPフィルタリング
 >基本
 >クライアント証明書
IEEE802.1X
 >基本
 >クライアント証明書

IEEE802.1X > 基本

IEEE802.1X (有線LAN): ☐ 有効 ☒ 無効

IEEE802.1X (無線LAN): ☐ 有効 ☒ 無効

接続方法: 無線LAN

認証方式: PEAP/MSCHAPv2

ユーザーID:

パスワード:

パスワード確認入力:

サーバーID:

証明書の検証: ☒ 有効 ☐ 無効

Anonymous名:

暗号強度: 標準

次へ 無線LAN設定

アイテム	設定値と説明	
IEEE802.1X (有線LAN)	[IEEE802.1X] - [基本] 画面で設定した値をIEEE802.1X (有線LAN) に対して有効または無効にするかを選択します。	
IEEE802.1X (無線LAN)	IEEE802.1X (無線LAN) の接続状態が表示されます。	
接続方法	現在のネットワーク接続方法が表示されます。	
認証方式	プリンターとRADIUSサーバーとの認証方式を設定します。	
	EAP-TLS	CA署名証明書を取得してインポートする必要があります。
	PEAP-TLS	
	PEAP/MSCHAPv2	パスワードを設定する必要があります。
ユーザーID	RADIUSサーバーの認証に使うIDを設定します。 ASCII (1 x 20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~128文字以内で入力します。	
パスワード	プリンターを認証するためのパスワードを設定します。 ASCII (1 x 20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~128文字以内で入力します。WindowsサーバーをRADIUSサーバーとして使用する場合は、最大127文字になります。	

アイテム	設定値と説明	
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。	
サーバーID	特定のRADIUSサーバーで認証したいときに使用します。設定した文字列が、RADIUSサーバーから送信されるサーバー証明書のsubjectフィールドまたはsubjectAltNameフィールドに含まれているかを検証します。 ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~128文字以内で入力します。	
証明書の検証	相手サーバー証明書の検証を設定します。認証方式に関わらず設定ができます。[相手サーバー検証用CA証明書] 画面で証明書をインポートしてください。	
Anonymous名	[認証方式] が [PEAP-TLS] または [PEAP/MSCHAPv2] の場合、PEAP認証のフェーズ1において、ユーザーIDの代わりに匿名を使用したいときに設定します。 ASCII (0x20~0x7E) で表せる1バイト文字で0~128文字以内で入力します。	
暗号強度	以下のいずれかを選択します。	
	高い	AES256/3DES
	標準	AES256/3DES/AES128/RC4

関連情報

➡ [「IEEE802.1Xを設定する」 224ページ](#)

IEEE802.1Xで使用する証明書を設定する

IEEE802.1Xで使用するクライアント証明書を設定します。設定すると、IEEE802.1Xの認証方式で [EAP-TLS] と [PEAP-TLS] が使用できるようになります。なお、相手サーバー検証用の証明書を設定する場合は、[相手サーバー検証用CA証明書]で行います。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ - [IEEE802.1X] - [クライアント証明書] を選択します。

2. 「クライアント証明書」に使用する電子証明書を設定します。

CA局が発行した証明書をインポートした場合はコピーできます。コピーする場合は、「[コピー元]」からどの証明書を使うか選択して「[コピー]」をクリックしてください。



関連情報

- ➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)
- ➡ [「CA署名証明書の取得とインポート」 198ページ](#)

プリンターのIEEE802.1X状態表示

IEEE802.1Xの動作状態はネットワークステータスシートを印刷し、「IEEE802.1X」の項目で確認できます。ネットワークステータスシートの印刷方法はプリンターのマニュアルをご覧ください。

ステータス表示	IEEE802.1Xの動作状態
Disable	IEEE802.1X機能が無効になっています。
EAP Success	IEEE802.1X認証が成功し、ネットワークに接続されています。
Authenticating	IEEE802.1Xの認証中です。

ステータス表示	IEEE802.1Xの動作状態
Config Error	ユーザーIDが設定されていないため、認証に失敗しました。
Client Certificate Error	クライアント証明書の有効期限が切れているため、認証に失敗しました。
Timeout Error	RADIUSサーバーや認証ハブからの応答がないため、認証に失敗しました。
User ID Error	プリンターのユーザーIDまたは認証プロトコルに不備があるため、認証に失敗しました。
Server ID Error	サーバーの証明書に記載されているサーバーIDと通信しているサーバーIDが一致しないため、認証に失敗しました。
Server Certificate Error	サーバーの証明書に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 • 証明書の有効期限切れ • 証明書のチェーンの異常
CA Certificate Error	CA証明書に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 • CA証明書の指定が間違っている • 正しいCA証明書がインポートされていない • CA証明書の有効期限切れ
EAP Failure	プリンターの設定に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 • クライアント証明書に何らかの不備がある（〔認証方式〕が〔EAP-TLS〕または〔PEAP-TLS〕の場合） • ユーザーIDまたはパスワードの間違い（〔認証方式〕が〔PEAP/MSCHAPv2〕の場合）

トラブルを解決する

セキュリティ設定の初期化

IPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xなど高度なセキュア環境を構築している場合、設定ミスや機器、サーバーのトラブルなどでデバイスと通信できなくなる可能性があります。この場合、セキュリティ機能を初期化してデバイスの設定をやり直したり、一時的に使用できるようにしたりします。

操作パネルからセキュリティ機能を無効にする

操作パネルを使ってIPsec/IPフィルタリングやIEEE802.1Xを無効に設定します。

1. 〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕の順に選択します。
2. 〔詳細設定〕を選択します。

3. 無効にしたい機能を選択します。
 - [IPsec/IPフィルタリングの無効化]
 - [IEEE802.1Xの無効化]
4. 確認画面で「設定開始」を選択します。
5. 設定完了のメッセージが表示されたら「閉じる」を選択します。
 「閉じる」を選択しなくても、一定時間を経過すると次の画面に進みます。

セキュア環境への接続時のトラブル

事前共有キーを忘れてしまった

事前共有キーを再設定する

Web Configの「ネットワークセキュリティ」タブ - 「IPsec/IPフィルタリング」 - 「基本」 - 「基本ポリシー」または「個別ポリシー」の画面でキーを変更します。

事前共有キーを変更したら、相手先コンピュータの事前共有キーの設定もやり直してください。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

IPsec通信ができない

プリンターまたはコンピュータがサポートしていないアルゴリズムを指定している

プリンターがサポートするアルゴリズムは以下の通りです。コンピュータの設定を確認してください。

セキュリティメソッド	アルゴリズム
IKE暗号化アルゴリズム	AES-CBC-128、AES-CBC-192、AES-CBC-256、AES-GCM-128*、AES-GCM-192*、AES-GCM-256*、3DES
IKE認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5
IKE鍵交換アルゴリズム	DH Group1、DH Group2、DH Group5、DH Group14、DH Group15、DH Group16、DH Group17、DH Group18、DH Group19、DH Group20、DH Group21、DH Group22、DH Group23、DH Group24、DH Group25、DH Group26、DH Group27*、DH Group28*、DH Group29*、DH Group30*
ESP暗号化アルゴリズム	AES-CBC-128、AES-CBC-192、AES-CBC-256、AES-GCM-128、AES-GCM-192、AES-GCM-256、3DES
ESP認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5

セキュリティメソッド	アルゴリズム
AH認証アルゴリズム	SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512、MD5

*：IKEv2のみ対応

関連情報

➡ [「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」 210ページ](#)

突然通信ができなくなった

プリンターのIPアドレスが変更された、または使用できなくなった

個別ポリシーのローカルアドレスに登録されているIPアドレスが変更や使用できなくなった場合、IPsecでは通信できなくなります。プリンターの操作パネルでIPsecを無効にしてください。

Web Configの[ネットワークセキュリティ] タブー [IPsec/IPフィルタリング] – [基本] – [個別ポリシー] – [ローカルアドレス (プリンター)] に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。

IPアドレスは、固定のIPアドレスを使用してください。

コンピューターのIPアドレスが変更された、または使用できなくなった

個別ポリシーのリモートアドレスに登録されているIPアドレスが変更や使用できなくなった場合、IPsecでは通信できなくなります。

プリンターの操作パネルでIPsecを無効にしてください。

Web Configの[ネットワークセキュリティ] タブー [IPsec/IPフィルタリング] – [基本] – [個別ポリシー] – [リモートアドレス (ホスト)] に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。

IPアドレスは、固定のIPアドレスを使用してください。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 31ページ](#)

➡ [「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」 210ページ](#)

セキュアIPP印刷のポートが作成できない

SSL/TLS通信のサーバー証明書に正しい証明書が指定されていない

正しい証明書が指定されていないとポート作成に失敗する場合があります。証明書が正しいか確認してください。

プリンターを使用するコンピューターにCA証明書がインポートされていない

コンピューターにCA証明書がインポートされていないと、ポート作成に失敗する場合があります。CA証明書がインポートされているか確認してください。

関連情報

➡ [「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」 210ページ](#)

IPsec/IPフィルタリング設定したのに繋がらない

IPsec/IPフィルタリングの設定が間違っている

プリンターの操作パネルからIPsec/IPフィルタリングを無効にしてください。プリンターとコンピューターを接続して、IPsec/IPフィルタリングの設定をやり直してください。

関連情報

➡ [「IPsec/IPフィルタリングで暗号化通信する」 210ページ](#)

IEEE802.1Xを設定したのに繋がらない

IEEE802.1Xの設定が間違っている

プリンターの操作パネルから無線LANとIEEE802.1Xを無効にしてください。プリンターとコンピューターを接続して、IEEE802.1Xの設定をやり直してください。

関連情報

➡ [「IEEE802.1Xを設定する」 224ページ](#)

電子証明書使用時のトラブル

CA署名証明書のインポートができない

入手したCA署名証明書と作成したCSRの情報が一致していない

CA署名証明書とCSRは、同一の情報である必要があります。以下の点を確認してください。

- 同時に複数の機器でCSRを作成した場合、一致しない機器に証明書をインポートしようとしたか
情報を確認して、一致する機器にインポートしてください
- CA局にCSRを送付した後、プリンターに保存されているCSRを再生成したか
再生成したCSRでCA署名証明書を取得し直してください。

入手したCA署名証明書のファイル容量が5KBを超えている

5KBを超えるCA署名証明書は、インポートできません。

証明書をインポートする際のパスワードが正しくない

正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れた場合、証明書をインポートできません。CA署名証明書を取得し直してください。

関連情報

➡ [「CA署名証明書をインポートする」 200ページ](#)

自己署名証明書が更新できない

コモンネームが入力されていない

〔コモンネーム〕は必ず入力してください。

コモンネームに不正な文字が使用されている

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる1～128文字以内で指定します。

〔コモンネーム〕にカンマやスペースが使われている

カンマが入力されると〔コモンネーム〕はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

➡ [「自己署名証明書を更新する」204ページ](#)

CSRが作成できない

コモンネームが入力されていない

〔コモンネーム〕は必ず入力してください。

コモンネーム、組織名、部署名、市町村名、都道府県名に不正な文字が使用されている

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる文字で指定します。

コモンネームにカンマやスペースが使われている

カンマが入力されると〔コモンネーム〕はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

➡ [「CA署名証明書を取得する」198ページ](#)

証明書に関する警告が表示された

メッセージ	原因と対処
サーバー証明書を指定してください。	原因： インポートするファイルが指定されていません。 対処： ファイルを選択してから〔インポート〕をクリックしてください。
CA証明書1の参照先を入力してください。	原因： CA証明書1が未入力で、CA証明書2が入力されています。 対処： 先にCA証明書1をインポートしてください。

メッセージ	原因と対処
以下の入力値が正しくありません。	原因： ファイルパスやパスワードに不正な文字が含まれています。 対処： 表示された項目に入力した文字が正しいか確認してください。
日付/時刻が設定されていません。	原因： プリンターに日付や時刻が設定されていません。 対処： Web ConfigやEpsonNet Configまたはプリンターの操作パネルから日付や時刻を設定してください。
パスワードが正しくありません。	原因： CA証明書に設定されているパスワードと入力したパスワードが一致しません。 対処： 正しいパスワードを入力してください。
不正なファイルです。	原因： インポートしようとしたファイルがX509形式の証明書ではありません。 対処： 信頼されたCA局から送付された証明書ファイルを選択しているか確認してください。
	原因： インポートできるファイルサイズを超えています。インポートできるファイルサイズは5KBです。 対処： ファイルが正しい場合、証明書が破損していたり改ざんされていたりする可能性があります。
	原因： 証明書に含まれるチェーンが不正です。 対処： 証明書の詳細はCA局のWebサイトをご覧ください。
3つ以上のCA証明書が含まれたサーバー証明書は使用できません。	原因： PKCS#12形式の証明書ファイルに3つ以上のCA証明書が含まれています。 対処： PKCS#12形式から複数のPEM形式に変換して個別にインポートするか、2つ以下のCA証明書でPKCS#12形式ファイルを再作成してインポートしてください。
有効期間外の証明書です。証明書の有効期間、またはプリンターの日付/時刻設定を確認してください。	原因： 証明書の有効期限が切れています。 対処： - 証明書の有効期限が切れている場合、新しい証明書をCA局から取得してインポートしてください。 - 証明書の有効期限が切れていない場合、プリンターの日付や時刻の設定が正しいか確認してください。

メッセージ	原因と対処
秘密鍵が必要な証明書ファイルです。	原因： 証明書と対になった秘密鍵がありません。 対処： • コンピューターで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書の場合、秘密鍵ファイルを指定してください。 • コンピューターで生成したCSRで取得したPKCS#12形式の証明書の場合、秘密鍵を含めたファイルを作成してください。
	原因： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書を再度インポートしようとした。 対処： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書は、一度しかインポートできません。
設定に失敗しました。	原因： プリンターとコンピューターの通信が遮断された、何らかの原因でファイルが読み取りできない、などの原因で正しく設定できませんでした。 対処： 指定しているファイルや通信状況を確認して、再度インポートしてください。

関連情報

➡ [「使用できる電子証明書」 197ページ](#)

CA署名証明書を誤って削除した

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがない

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがあれば、それを使って再度インポートしてください。
 Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。CSRを再生成して証明書を取得し直してください。

関連情報

➡ [「CA署名証明書を削除する」 202ページ](#)

➡ [「CA署名証明書をインポートする」 200ページ](#)